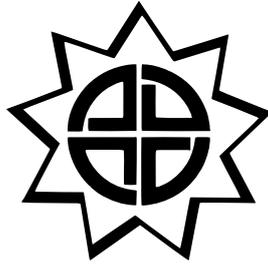


水道事業統計年報

平成 25 年 度

福 島 市 水 道 局



～ 福 島 市 民 憲 章 ～

わたくしたちは、みどりにつつまれた信夫山と清い流れの阿武隈川をもつ
福島市民です。

福島市は、地味豊かなしのぶの里に古くから開けた人情の美しいまちです。

わたくしたちは、平和で、さらに住みよく希望にみちたまちをつくるため、
この市民憲章をさだめます。

- 1 空も水もきれいな みどりのまちをつくりましょう。
- 1 教育と文化を尊び 希望に輝くまちをつくりましょう。
- 1 親切で愛情あふれるまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、力をあわせて 楽しく働けるまちをつくりましょう。
- 1 子どもからおとしよりまで安全で健康なまちをつくりましょう。

水道のあゆみ

－水道のはじまり－

福島市は、広大な土地を有する福島県中通り北部に位置し、市街地の東部を「母なる川」阿武隈川が流れ、吾妻・安達太良などの山々に囲まれた自然環境に恵まれた街です。

当市の水道は、明治11年に初めて、当時の泉村（現在の南沢又）柳清水の湧水を「箱樋」で引き水し、その後、松の「くりぬき管」に改め、更に「陶管」に改良し簡易水道としてはじまりました。

－上水道創設－

しかし、年々人口の増加と商工業の発展に伴い、水の需要がにわかに増加し、水不足をきたすことがしばしばでしたので、この水不足を解消するため、上水道創設の機運が高まり、大正11年、当時の市街地（旧市内）を給水区域とし、計画給水人口50,000人、1日最大給水量5,550㎥と定め、阿武隈川を水源として工事に着工、同14年3月末1,500,000円の工費で完成したのです。

－拡張事業－

その後20余年の間は、創設当時の施設で給水してまいりましたが、市勢の進展と数次に及ぶ隣接町村の合併、生活様式の変化等により水需要は年々増大し、昭和22年の第1次拡張事業をはじめとして、7次にわたり福島上水道の拡張事業を行い、安定的な供給に努めてきました。

さらには、平成元年度から第8次拡張事業に着手し、摺上川ダムを水源とする福島地方水道用水供給企業団からの受水に向けた受水施設及び送・配水施設の整備を図るとともに、未給水区域解消のための給水区域の拡張と、組合営簡易水道事業等との統合整備を進めてきました。そして、本事業は、鳥川配水池の完成により、平成21年度をもって完了いたしました。

－これからの水道事業－

長年の念願であった、摺上川ダムの完成により将来にわたり安定で、良質な水源を確保することができました。

しかし、東日本大震災による甚大な被害の経験や、今後訪れる人口減少による水需要の減少などから、更に災害に強い水道施設の整備と共に、事業運営の健全化がもとめられています。

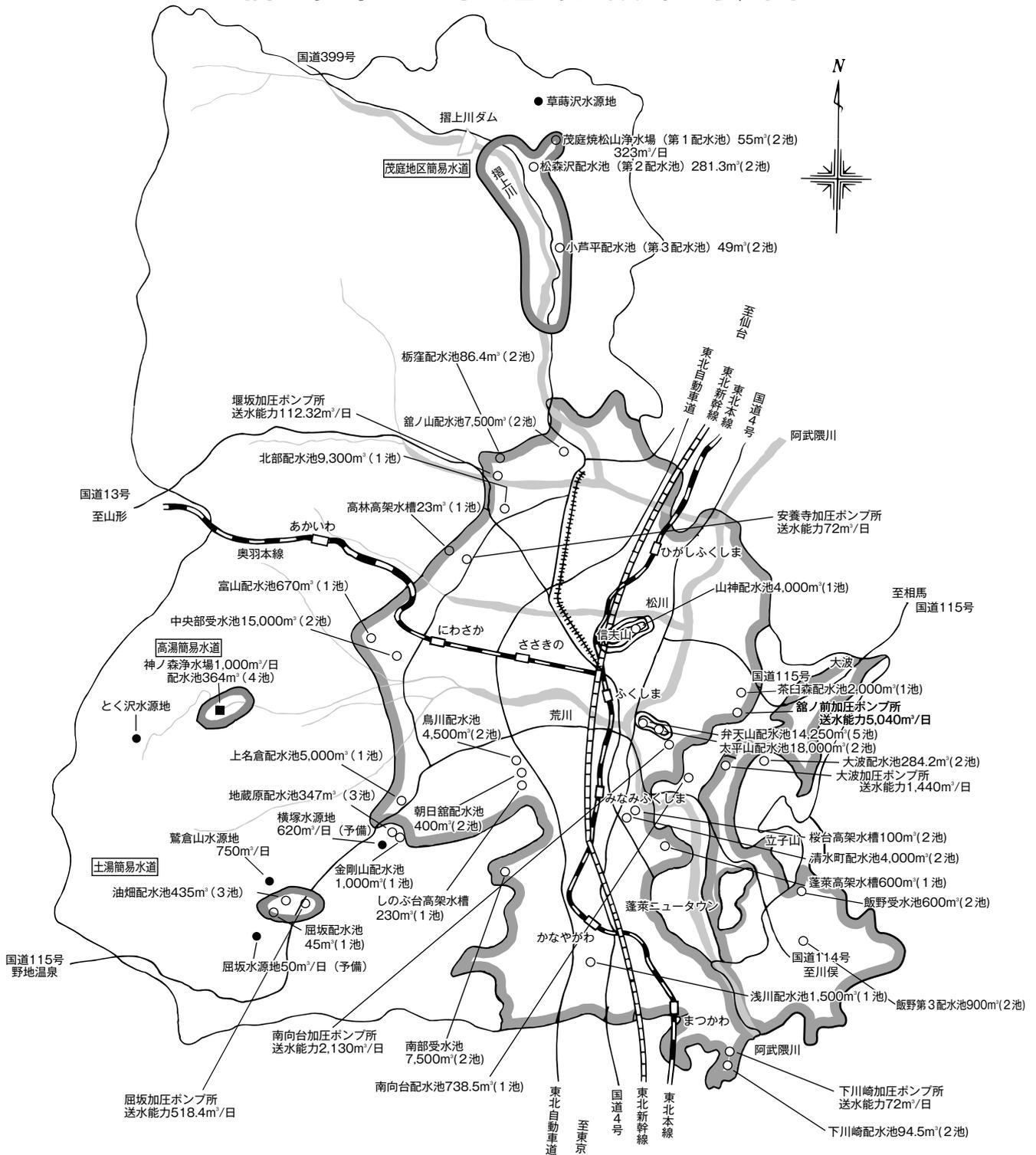
私たちは今後も、市民の皆さまと協働して水環境を守りながら、安定供給の確保を図り、「快適でうるおいのある市民生活の実現」を目指します。

基本計画

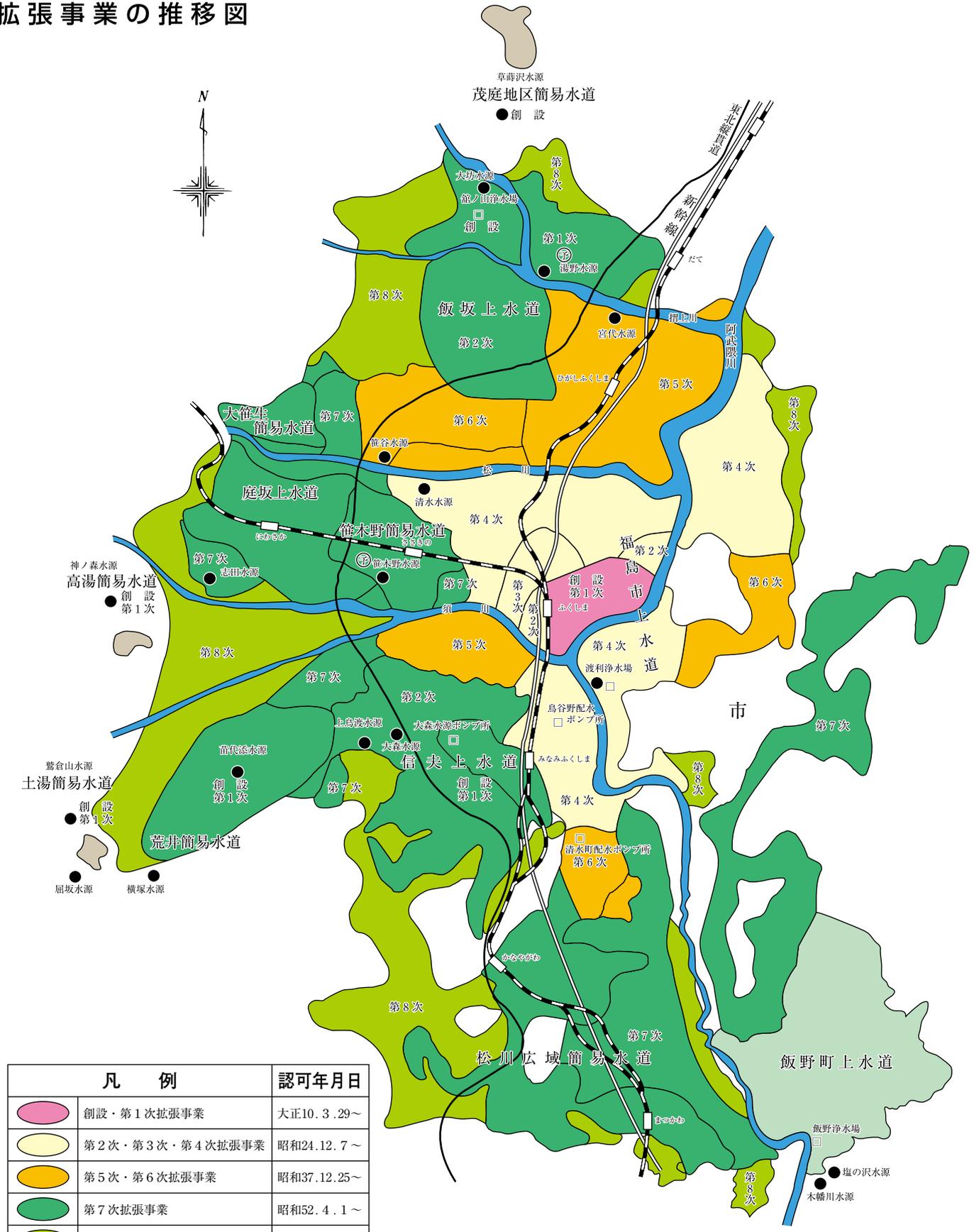
名称	計画給水人口	計画一日最大給水量	計画一人一日最大給水量
福島市上水道事業	292,300人 299,900人(届出値)	141,100m ³ 144,290m ³ (届出値)	483ℓ 481ℓ(届出値)
福島市土湯簡易水道事業	550人	750m ³	1,364ℓ
福島市高湯簡易水道事業	500人	1,000m ³	2,000ℓ (一般住民 450ℓ)
福島市茂庭地区簡易水道事業	870人	323m ³	371m ³
計	294,220人	143,173m ³	

※基本計画につきましては、認可の内容を記載しております。

福島市上水道施設概要図



拡張事業の推移図



凡 例		認可年月日
	創設・第1次拡張事業	大正10.3.29～
	第2次・第3次・第4次拡張事業	昭和24.12.7～
	第5次・第6次拡張事業	昭和37.12.25～
	第7次拡張事業	昭和52.4.1～
	第8次拡張事業	平成元.4.5～

	飯野町上水道の全部譲り受け	平成20.7.1～
	土湯簡易水道事業	昭和27.12.20～
	高湯簡易水道事業	昭和37.8.25～
	茂庭地区簡易水道事業	平成5.1.4～

目 次

福 島 市 民 憲 章 水 道 の あ ゆ み 福島市上水道施設概要図 拡張事業の推移図

1. 事業の沿革

- (1) 創設から第8次拡張事業まで.....2

2. 事業の概要

- (1) 基本理念.....12
(2) 基本方針.....12
(3) 平成25年度水道事業の概要.....13
(4) 主要事業.....16

3. 施設の概要

- (1) 現有施設能力.....20
(2) 系統別施設の概要.....27

4. 浄水の状況

- (1) 月別取水量.....40
(2) 月別配水量.....41
(3) 電力消費量推移（グラフ）.....43
(4) 電力使用量及び本体料金.....44
(5) 電力使用量及び電気料金（動力費）.....46
(6) 水質検査成績.....47
(7) 月別浄水薬品使用量.....64

5. 給水工事の状況

- (1) 給水装置工事推移（グラフ）.....66
(2) 給水装置工事件数.....67
(3) 月別給水装置工事件数.....67
(4) 量水器設置状況.....68
(5) 配・給水管修繕等件数.....69
(6) しゅん工検査件数.....70
(7) 道路・河川等の占用・掘削・更新申請件数.....70
(8) 届出・諸願等の処理件数.....70
(9) 配水管布設延長.....72
(10) 管種別配水管布設延長.....74

6. 業務の状況

(1) 業務実績	78
(2) 配水量及び給水人口推移（グラフ）	80
(3) 用途別及び口径別、給水戸数（延戸数）並びに使用水量	81
(4) 業態別給水戸数（延戸数）及び使用水量	82
(5) 給水使用及び休・廃止件数推移（グラフ）	83
(6) 業態別給水戸数及び使用水量（グラフ）	84
(7) 水道料金徴収区分別調定件数（グラフ）	84

7. 経理の状況

(1) 決算諸表	86
(2) 財務分析	94
(3) 水道料金原価計算表	98
(4) 給水原価の推移	99

8. その他

(1) 組織・機構図	102
(2) 職員配置表	103
(3) 本年度の主たる事項	104
(4) 歴代管理者・局長	105
(5) 平成25年度イベント	106
(6) 「水道事業ガイドライン」に基づく業務指標の試算結果	107

参 考 資 料

水道料金変遷表	120
加入金変遷表	122
摺上川ダム	123

1. 事業の沿革

(1) 創設から第8次拡張事業まで……………2

1. 事業の沿革

(1) 創設から第8次拡張事業まで

種別 区分	事業別	認可年月日	認可番号	着工・竣工	計画年次	計画 行政区域 内人口 (人)	計画 給水人口 (人)	1人1日 最大給水量 (ℓ)	1日 最大給水量 (m ³)
福	創設 (渡利浄水場)	大正 10. 3. 29	福衛 第52号	大正 11. 4. 1 大正 14. 3. 31	-	35,762	50,000	111	5,550
	第1次拡張 (渡利浄水場)	昭和 22. 7. 22	島予 第30号	昭和 22. 5. 5 昭和 24. 3. 31	-	86,539	50,000	111	5,500
	第2次拡張	昭和 24. 12. 7	島衛 第229号	昭和 23. 6. 1 昭和 23. 9. 30	-	89,284	57,500	140	8,050
	第3次拡張 (清水水源 ポンプ所)	昭和 26. 3. 22	島衛 第60号	昭和 25. 7. 1 昭和 28. 12. 31	昭和35年度	114,185	80,000	200	16,000
	第4次拡張 (渡利浄水場)	昭和 33. 3. 31	島衛 第262号	昭和 33. 11. 5 昭和 38. 12. 31	昭和37年度	115,749	85,400	340	29,000
	第5次拡張 (宮代水源 ポンプ所)	昭和 37. 12. 25	島環 第382号	昭和 39. 1. 25 昭和 43. 3. 31	昭和47年度	142,652	125,400	350	44,000
島	第5次拡張 (変更)	昭和 40. 12. 27		昭和 41. 4. 1 昭和 43. 3. 31	昭和47年度	-	125,400	350	44,000
	清水源地取水及 び浄水方法の変更	昭和 43. 9. 17	厚生省環 第636号	昭和 43. 4. 10 昭和 44. 3. 10	昭和47年度	144,428	125,400	350	44,000
	第6次拡張 (渡利浄水場)	昭和 45. 2. 19	厚生省環 第101号	昭和 45. 4. 1 昭和 51. 3. 31	昭和55年度	242,346	185,000	420	77,700
	第6次拡張 (変更)	昭和 48. 3. 3	厚生省環 第132号	昭和 48. 4. 1 昭和 50. 3. 31	昭和55年度	258,000	185,000	420	77,700
	第6次拡張 (変更)	昭和 49. 9. 21	厚生省環 第661号	昭和 49. 10. 1 昭和 51. 3. 31	昭和51年度	241,883	167,000	465	77,700

水源	工費 (万円)	摘 要
阿武隈川 表流水	149	1. 給水区域 旧福島市 2. 主な施設 取水塔、導水管、砂だめ、取水ポンプ井、取水ポンプ沈でん池、緩速ろ過池、浄水池、配水池、取水ポンプ室、管理事務所 取水ポンプφ125mm×15HP×3台 送水ポンプφ175mm×50HP×3台
〃	370	1. 渡利浄水場第4号ろ過池を増設 2. 取水ポンプφ125mm×15HP×1台を増設 3. 送水ポンプφ175mm×50HP×1台を増設 4. 塩素滅菌室を増設
伏流水	98	1. 八島田地内旧簡易水道の水源を改良 2. 市内三河北町に加圧ポンプ室を設け、φ150mm×7.5HP×1台ポンプ設置 3. 本拡張工事は、応急対策で昭和27年度末に使用を廃止
松川系 伏流水	5,143	1. 本拡張による計画取水量は1日9,000m ³ 2. 主な施設 浅井戸、送水ポンプ、配水池、送水ポンプ所 3. 森合配水池の新設 4. 配水管の布設延長
表流水	25,868	1. 給水区域 清水、野田の全域、渡利、杉妻、岡山、鎌田の一部を含めた 2. 主として、渡利浄水場の施設の改良拡張 3. 主な施設 強制沈でん池、急速ろ過池、送水ポンプ、配水池 送水ポンプφ175mm×100HP×3台
摺上川系 伏流水 地下水	44,000	1. 給水区域 余目、瀬上、笹谷、吉井田、鎌田各地区の一部に拡張 2. 水源を宮代地区内に求め、摺上川の伏流水を取水し市内北部及び南部の新市域に給水し併せて旧区域の需要増に対処 3. 主な施設 浅井戸、導水管、浄水池、送水ポンプ、送水管、配水池、送水ポンプ所 送水ポンプφ180mm×75kW×3台 4. 山神配水池の新設
地下水		1. 給水区域 小倉寺、大巻、清水町、笹谷の一部に拡張 2. 宮代水源 除鉄、除マンガン装置設置
地下水	5,454	1. 清水水源 深井戸 2井
阿武隈川 表流水	380,620	1. 給水区域 既給水区域に笹谷全域及び蓬萊団地の一部に拡張 2. 主として渡利浄水場の改良拡張 3. 渡利浄水場の水利権増量 32,000m ³ /日 4. 主な施設 取水口、導水管、沈砂池、取水ポンプ井、取水ポンプ、薬品沈でん池、急速ろ過池、活性炭ろ過槽、浄水池、送水ポンプ、配水池、管理本館
地下水	380,620	1. 笹谷水源 深井戸5,000m ³ /日 新設に伴い宮代水源 浅井戸5,000m ³ /日を廃止
阿武隈川 表流水	380,620	1. 渡利、岡山地区の未給水区域の編入

種別 区分	事業別	認可年月日	認可番号	着工・竣工	計画年次	計画 行政区域 内人口 (人)	計画 給水人口 (人)	1人1日 最大給水量 (ℓ)	1日 最大給水量 (m ³)
福 島	第7次拡張 (渡利浄水場)	昭和 52. 4. 1	厚生省環 第285号	昭和 52. 5. 4 . 昭和 58. 3. 31	昭和58年度	280,800	265,500	500	132,950
	第7次拡張 (変更)	昭和 58. 7. 11	厚生省環 第370号	昭和 58. 4. 1 . 平成 元. 3. 31	平成元年度	287,900	268,000	496	132,950
	第8次拡張	平成 元. 4. 5	厚生省生衛 第356号	平成 元. 4. 1 . 平成 12. 3. 31	平成12年度	293,800	292,300	483	141,100
	第8次拡張 (変更) 10. 4. 1			平成 元. 4. 1 . 平成 16. 3. 31	平成19年度	293,800	292,300	483	141,100
	第8次拡張 (変更) 16. 3. 25			平成 元. 4. 1 . 平成 22. 3. 31	平成21年度	293,800	284,700	423	141,100
	第8次拡張 (変更) 18. 10. 11			平成 元. 4. 1 . 平成 22. 3. 31	平成21年度	293,800	279,130	373	104,000
	飯野町合併 (上水道全部譲り受け) 20. 7. 1	平成 20. 6. 30	健水収第 0630001号	平成 20. 7. 1 . 平成 22. 3. 31	平成30年度	301,365	299,800	481	144,260
	給水区域の拡張 (松川町水原)	平成 23. 3. 7	健水収0307 第3号	平成 24. 4. 1 . 平成 28. 3. 31	平成30年度	301,365	299,900	481	144,290
飯 坂	創設 (館ノ山浄水場)	昭和 24. 5. 21	島衛 第88号	昭和 24. 12. 1 . 昭和 29. 3. 31	-	14,300	17,500	180	3,280
	第1次拡張 (湯野水源 ポンプ所)	昭和 38. 3. 19	島指令公 第270号	昭和 38. 3. 31 . 昭和 40. 3. 31	昭和52年度	26,107	19,000	340	8,560
	第2次拡張 (館ノ山浄水場 湯野水源ポンプ所)	昭和 41. 12. 24	県指令環 第470号	昭和 42. 4. 1 . 昭和 46. 3. 31	昭和52年度	26,605	19,500	340	9,700
	昭和52. 4. 1 厚生省環境第285号を以って福島上水道に統合								

水 源	工 費 (万円)	摘 要
阿武隈川 表流水 摺上川 地下水	1,464,491	<ol style="list-style-type: none"> 飯坂、信夫、庭坂上水道、荒井、笹木野、松川、大笹生簡易水道を福島上水道に統合 給水区域 清水町、水原、蓬萊町、沼袋、大笹生、下川崎、仁井田、永井川、佐倉下、大森、上名倉、成川、荒井、下鳥渡、飯坂町、上鳥渡、平野、山田、中野、小田、湯野、平石、東湯野、笹木野、松川町、上野寺、関谷、浅川、金沢、八島田に拡張 水源 鳥谷野4,370m³/日及び阿武隈川表流水35,000m³/日を新たに確保し、併せて渡利第2取水口築造し渡利浄水場を拡張する 宮代水源 深井戸3井 6,000m³/日を新設 主な施設 取水口、導水管、沈砂池、取水ポンプ井、取水ポンプ、薬品沈でん池、急速ろ過池、活性炭ろ過池、浄水池、送水ポンプ、配水池
地下水 湧水		<ol style="list-style-type: none"> 給水区域 大波、立子山、田沢、二子塚、在庭坂に拡張 水源 下野寺水源 10,000m³/日を新設 宮代水源を7,000m³/日に減量、横塚水源を620m³/日に増量、大笹生水源300m³/日を再利用、志田水源を予備水源とする。 主な施設 取水ポンプ、加圧ポンプ、配水池
広域水道 より受水	1,845,000	<ol style="list-style-type: none"> 給水区域 大笹生、在庭坂、土船、庄野、桜本、佐原、松川町水原、松川町下川崎及び民営簡易水道の統合により拡張 水源 福島地方水道用水供給事業より受水（1日最大受水量109,830m³/日） 主な施設 受水池、配水池の新設及び送・配水管幹線の整備
〃	2,489,000	<ol style="list-style-type: none"> ダム建設計画の遅れにより、工期を平成12年度から平成19年度に変更 主に第8次拡張（認可）にて区域拡張した地域の未給水解消及び民営簡易水道組合統合にかかる事業等により事業費を184億5千万円から248億9千万円に変更
〃	2,748,600	<ol style="list-style-type: none"> 市民からの水源一元化の要望や水需要の低迷により、渡利浄水場稼働の必要性が薄れ、代替施設となる鳥川配水池の築造を事業に追加したことにより、工期を平成19年度から平成21年度に変更 事業費を248億9千万円から274億8千6百万円に変更
〃	2,713,600 (2,690,953)	<ol style="list-style-type: none"> 水需要の低迷を受け、鳥川配水池の規模縮小（容量6,000m³から4,500m³）により、事業費を274億8千6百万円から271億3千6百万円に変更 事業費精算により変更
広域水道 より受水 木幡川 表流水 湧水	28,351,831	<ol style="list-style-type: none"> 給水区域 飯野町、飯野町明治、飯野町大久保、飯野町青木の編入 水源 福島地方水道用水供給事業より受水（1日最大受水量110,900m³/日）
〃	534,091	<ol style="list-style-type: none"> 給水区域 松川町水原に拡張 主な施設 配水池加圧ポンプの新設及び送・配水管の整備
摺上川 表流水	6,772	<ol style="list-style-type: none"> 給水区域 飯坂、湯野 取水口 沈砂池、ポンプ井 取水ポンプ27HP×3台 導水管φ250mm 980m 沈でん池 2池、ろ過池 3池、配水池 1池
摺上川 地下水	6,488	<ol style="list-style-type: none"> 湯野水源 深井戸φ300mm×65m×4井 取水ポンプφ125mm×10kW×4台 配水ポンプφ160mm×55kW×3台 調整池1池
摺上川 表流水 摺上川系 伏流水	32,007	<ol style="list-style-type: none"> 給水区域 飯坂、湯野、平野、穴原、天王寺 水源は摺上川系伏流水を取水 浅井戸2井（湯野） 取水井（大坊） 沈でん池改良、急速ろ過池、浄水池、配水池（館ノ山）

種別 区分	事業別	認可年月日	認可番号	着工・竣工	計画年次	計画 行政区 内人口 (人)	計画 給水人口 (人)	1人1日 最大給水量 (ℓ)	1日 最大給水量 (m ³)
信 夫	創設 (大森水源 ポンプ所)	昭和 34. 8. 15	県指令公 第1499号	昭和 34. 11. 1 ・ 昭和 36. 3. 31	昭和43年度	-	3,350	150	555
	第1次拡張	昭和 39. 2. 13	県指令公 第39号	昭和 39. 3. 1 ・ 昭和 39. 3. 1	昭和48年度	-	4,180	150	679.5
	第2次拡張 (上鳥渡水源 ポンプ所)	昭和 42. 6. 30	県指令環 第315号	昭和 41. 4. 1 ・ 昭和 44. 3. 31	昭和52年度	10,708	9,500	150	1,547.5
昭和52. 4. 1 厚生省環境第285号を以って福島上水道に統合									
庭 坂	創設	昭和 43. 7. 1	県指令環 第448号	昭和 43. 11. 25 ・ 昭和 46. 3. 31	昭和52年度	-	7,000	225	1,700
	昭和52. 4. 1 厚生省環境第285号を以って福島上水道に統合								
荒 井	創設 (横塚水源地)	昭和 35. 8. 12	県指令公 第1344号	昭和 35. 9. 15 ・ 昭和 36. 2. 20	昭和45年度	-	4,500	150	720
	第1次拡張 (苗代添水源地)	昭和 46. 5. 20	県指令環 第157号	昭和 46. 4. 1 ・ 昭和 48. 3. 31	昭和50年度	4,800	4,500	150	720
	昭和52. 4. 1 厚生省環境第285号を以って福島上水道に統合								
笹 木 野	創設	昭和 43. 7. 1	県指令環 第249号	昭和 39. 8. 10 ・ 昭和 40. 3. 31	昭和49年度	-	4,300	150	717
	昭和52. 4. 1 厚生省環境第285号を以って福島上水道に統合								
松 川	創設	昭和 42. 3. 30	県指令環 第100号	昭和 42. 4. 1 ・ 昭和 46. 3. 31	昭和54年度	13,082	19,250	200	4,270
	昭和52. 4. 1 厚生省環境第285号を以って福島上水道に統合								
飯 野	創設	昭和 39. 2. 13	県指令 第1477号	昭和 39. 6 ・ 昭和 40. 11	昭和 40. 4	-	4,200	172	723
	第1次拡張	昭和 59. 5. 9	県指令環衛 第24号	昭和 59. 7 ・ 昭和 62. 3	昭和 62. 3	-	4,900	352	1,723

水 源	工 費 (万円)	摘 要
旧 荒 川 伏 流 水	1,939	1. 給水区域 大森、永井川、成川 2. 集水埋きよ、取水井、緩速ろ過池、送水ポンプ、配水池
〃	321	
〃	10,934	1. 給水区域 上鳥渡、下鳥渡、成川、小田、山田、平石の各地区に拡張 2. 上鳥渡水源 浅井戸φ2,000mm×7m×1井 集水埋きよφ600m×24.30m 送水ポンプφ80mm×19kW×2台 配水池2池
地 下 水	21,010	1. 深井戸φ350mm×100~200m×2井、取水ポンプφ125mm×30kW×2台、導水管、配水池
山 腹 湧 水	1,754	1. 給水区域 荒井、上名倉の一部 2. 集水桝、送水管、配水池
湧 地 地 下 水	4,551	陸上自衛隊の爆破演習等により水源が枯渇したための復旧事業
地 下 水	2,308	1. 給水区域 笹木野 2. 深井戸φ300mm×150m×1井 取水ポンプφ100mm×11kW×1台 浄水池、圧力水槽
阿武隈川 表 流 水	37,468	1. 給水区域 松川、金谷川、水原、下川崎、箒松団地
木 幡 川 表 流 水	5,203	1. 給水区域 飯野、大久保、明治各地区の一部 2. 浄水方法 普通沈でん・緩速ろ過方式、塩素滅菌
木 幡 川 表 流 水 ・ 川俣町より 浄水受水 ・ 湧 水	95,593	1. 拡張区域 飯野、大久保、明治各地区の一部 2. 浄水方法 薬品沈でん・急速ろ過方式

種別 区分	事業別	認可年月日	認可番号	着工・竣工	計画年次	計画区域 内人口 (人)	計画 給水人口 (人)	1人1日 最大給水量 (ℓ)	1日 最大給水量 (m ³)
飯 野	第2次拡張	平成 12. 3. 31	県指令生 第202号	平成 12. 9 . 平成 21. 3	平成 13. 4		7,500	421	3,160
	平成20. 7. 1 福島市・飯野町合併を以って飯野町上水道全部譲り受け								
土 湯	創設	昭和 27. 12. 20	県指令計観 第603号	昭和 28. 9. 1 . 昭和 28. 12. 31	-	-	2,000	200	400
	創設	昭和 29. 11. 9	県指令公衛 第1238号	昭和 29. 9. 1 . 昭和 29. 11. 20	-	-	600	150	90
	第1次拡張	昭和 47. 4. 11	県指令環 第74号	昭和 47. 9. 5 . 昭和 48. 3. 20	昭和49年度	-	1,000	950 (一般住民 200)	950
	浄水方法の変更	平成 21. 3. 6	県指令健 第6781号	平成 22. 7. 1 . 平成 23. 3. 31	平成30年度	-	550	1,364	750
高 湯	創設	昭和 37. 8. 25	県指令 第829号	昭和 37. 9. 1 . 昭和 38. 3. 31	昭和47年度	-	300	170	245
	第1次拡張	昭和 47. 4. 18	県指令環 第75号	昭和 47. 5. 20 . 昭和 48. 3. 25	昭和56年度	-	500	2,000 (一般住民 450)	1,000
茂 庭	創設 (所管換え) 22. 4. 1	平成 5. 1. 4	県指令環衛 第779号	平成 5. 4. 1 . 平成 7. 3. 31	平成13年度	-	870	371	323

水 源	工 費 (万円)	摘 要
木 幡 川 表 流 水 ・ 湧 水 ・ 広域水道 より受水	121,583	1. 給水区域 飯野町全域
梅の森沢 湧 水	664	1. 第一水源
山 腹 湧 水	2,425	1. 第二水源
山 腹 湧 水	2,425	1. 水源 屈坂系 50m ³ /日(予備) 鷺倉山系 900m ³ /日 2. 第一及び第二簡易水道の統合をはかり給水地区を一本化 3. 温泉の開発に伴い、水源及び配水地の拡張
		1. 水源 屈坂系 50m ³ /日(予備) 鷺倉山系 750m ³ /日 2. 紫外線照射装置 750m ³ /日(1基)
と く 沢 表 流 水	905	
々	3,273	1. 給水量の増加に伴い、ろ過池及び配水池の施設能力の増強
草 蒔 沢 表 流 水	78,783	1. 給水区域 飯坂町茂庭

2. 事業の概要

(1) 基本理念	12
(2) 基本方針	12
(3) 平成 25 年度水道事業の概要	13
(4) 主要事業	16

2. 事業の概要

福島市の水道事業

本市の水道は、明治11年湧水を利用した簡易水道として市民の日常の用水を供給してきたが、水源地の水量不足と衛生面から上水道布設の要望が高まり、大正14年4月阿武隈川を水源とする計画給水人口50,000人、計画1日最大給水量5,550m³の規模で供給を開始した。

その後、市政の進展と近隣町村の合併、生活様式の変化等に対応するため、昭和22年の第1次拡張事業から7次にわたる拡張事業を実施し、主要水源施設である渡利浄水場の増補改良工事をはじめとした新たな水源開発を行い、供給量の増加と給水区域の拡大を図ってきた。

しかし、第1次から第7次にわたる拡張事業の間に開発した水源は地下水等が主であり、小規模水源では将来の水需要を賄うことができないため、長期的な展望に立ち、摺上川ダムにおける水源の確保に取り組むとともに、福島地方水道用水供給企業団からの受水を基本とした第8次拡張事業を平成元年から実施してきた。

第8次拡張事業では受・配水池や送・配水管等の整備を進め、その結果、平成19年度に本格受水を迎えることとなった。同時に創設から本市の主要施設であった渡利浄水場を廃止した。

平成20年7月には飯野町との合併、平成21年度には、鳥川配水池の完成をもって、創設から8次にわたる拡張事業が完了した。

これにより、本市の水道水は現在、摺上川を水源とする福島地方水道用水供給企業団（すりかみ浄水場）で適切に処理された浄水を5つの施設（北部配水池、中央部受水池、南部受水池、鳥川配水池、飯野受水池）で受水し、供給している。

(1) 基本理念

わたしたちは、最高のサービスに挑戦し、「快適でうるおいのある市民生活の実現」をめざします。

(2) 基本方針

① 市民から信頼される水道を創る

将来にわたり、安全で良質な水を安定して供給するために、水質管理体制の強化、施設の更新や耐震化を進め、平常時はもとより非常時でも供給できる水道を構築します。

② 市民満足度の向上を図る

市民の視点に立ち、情報公開を積極的に推進し、水道事業に対する関心や参画意識を高めます。多様化するニーズや社会情勢に対応し、提供するサービスの質及び利便性を向上させることにより、市民の満足度を高めていきます。

③ 経営の健全化を図る

経営環境の変化等を踏まえ、中長期的な視点に立った経営計画を策定し、より一層計画性、透明性の高い水道事業経営の推進を図ります。選択と集中により事業を推進し、コスト縮減に努め、PDCAサイクル（計画→実施→評価→改善）により、適切な計画の見直しを実施します。

④ 人材の育成と活用を図る

職員の技術・能力の強化を図るとともに、常に職員間で目標を共有し、組織が一丸となって変革に取り組める風土をつくります。

(3) 平成25年度水道事業の概要

平成25年度の水道事業は、福島市水道事業基本計画の「基本理念」である「快適でうるおいのある市民生活の実現」をめざし、水道水の安全、安心、安定供給を図るため、健全経営に努めるとともに、施設整備事業を推進した。

災害に強い施設整備としては、国庫補助を活用し重要拠点への安定供給に向けた耐震化を行う緊急時給水拠点確保等事業や老朽管の早期解消のための老朽管更新事業、さらには、災害時でも最少限必要な機能を維持し、市民や都市機能に対する給水の確保をするため、平成25年度から2か年継続事業として市内中心部への給水拠点である弁天山配水池耐震化事業に着手した。

また、平成23年度より進めていた庭塚北部簡易水道組合の上水道への統合に向けた配水管布設整備が完了し供給を開始、松川町水原地区の水道未普及地域解消事業では、加圧ポンプ所・配水池電機計装設備等を実施した。

そのほか、東日本大震災の経験を踏まえた災害時における迅速な給水活動として、地域との連携で行った平和通り飲料水兼用耐震貯水槽応急給水訓練をはじめ、11月には、ふくしまのすいどう特集号「水道水の安全・安心・安定供給に向けて」を発刊するなど市民への広報の充実に努めた。

経営状況については、水道事業の主たる財源である水道料金収入は、少子高齢化等による給水人口減少が続く中、東日本大震災以前の水準まで概ね回復し、加えて原子力発電所事故による損害賠償請求として、平成23年度分逸失利益についての和解合意や公的資金補償金免除繰上償還による借換に伴う支払利息軽減等により、純利益を計上することができた。

なお、今後においても市民の重要なライフラインである水道水の安定供給を図るため、計画的事業と企業努力に意を用いながら、市民サービスの向上に努めて参りたい。

① 予算の執行状況

イ. 収益的収入及び支出

(収入)

(単位 円)

予 算 額	決 算 額	予算に対する増減	執行率 (%)
7,449,883,000	7,781,657,724	331,774,724	104.5

(支出)

(単位 円)

予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率 (%)
6,909,436,000	6,836,321,849	73,114,151	98.9

予算の執行については、水道料金、加入金などの回復により増収となったことから予算額を上回る収入となった。また、支出においては、効率的な事業執行に努めた結果、主に営業費用に不用額が生じたものである。

ロ. 資本的収入及び支出

(収入)

(単位 円)

予 算 額	決 算 額	予算に対する増減	執行率 (%)
1,465,154,000	1,378,588,327	△ 86,565,673	94.1

(支 出) (単位 円)

予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率 (%)
3,495,546,000	3,287,893,320	80,694,000	126,958,680	94.1

収入の主な財源は、企業債及び補助金等であり、この財源と繰越し財源をもとに建設改良工事を実施した。

また、翌年度繰越額は、弁天山配水池耐震化事業等である。

② 業務の状況

イ. 給水人口及び戸数

区 分	25 年 度 末	24 年 度 末	対前年度増減	増減率 (%)
給水人口 (人)	275,062	275,132	△70	△0.03
給水戸数 (戸)	116,157	114,701	1,456	1.3
普及率 (%)	97.6	97.5	0.1	-

ロ. 配 水 量 (単位 m³)

区 分	25 年 度 末	24 年 度 末	対前年度増減	増減率 (%)
年間総配水量	31,528,476	31,563,051	△34,575	△0.1
1日最大配水量	96,662	98,190	△1,528	△1.6
1日平均配水量	86,379	86,474	△95	△0.1

ハ. 有 収 率 (単位 %)

25 年 度 末	24 年 度 末	対前年度増減
89.0	88.4	0.6

有収率が向上したのは、配水量に占める無効水量となる配水管等の漏水量及び調定減額水量の減少によるものである。

③ 建設改良事業

建設改良事業の総額1,107,449,550円の内訳は、建設改良費468,638,353円、緊急時給水拠点確保等事業費170,657,776円、老朽管更新事業費216,901,371円、水道未普及地域解消事業費182,512,050円、弁天山配水池耐震化事業費68,740,000円である。

導送配水管延長は下記のとおりである。

(単位 m)

25 年 度 末	24 年 度 末	対前年度増減	増減率 (%)
1,593,631	1,585,102	8,529	0.5

④ 財政状況

イ. 収益的収支の状況

本年度決算において、経常利益768,744,096円、純利益927,384,731円となった。
 経常収支比率は次のとおりである。

(単位 %)

25年度	24年度
111.9	107.8

ロ. 資本的収支の状況

収入が1,378,588,327円、支出が3,287,893,320円となり、不足する額1,909,304,993円は、損益勘定留保資金等で補てんした。

ハ. 費用の構成等

○費用の構成等総費用（6,479,045,287円）に占める費用の比率で、受水費は40.3%を占めている。

(税抜)

区 分	受 水 費	減価償却費	職員給与費	支払利息	そ の 他
金額(円)	2,611,543,920	1,482,973,875	809,571,062	420,692,401	1,154,264,029
比率(%)	40.3	22.9	12.5	6.5	17.8

(受託工事費及び特別損失を除く)

○料金収入に対する元利償還金比率

(税抜)

区 分	料 金 収 入	元 利 償 還 金		
		元 金	利 息	計
金額(円)	6,731,390,433	1,412,581,814	420,692,401	1,833,274,215
比率(%)	100.0	21.0	6.2	27.2

(元金は、公的資金補償金免除繰上償還額 767,861,956円を除く)

○供給単価と給水原価

(単位 円)

供 給 単 価	給 水 原 価	差 引
239.94	230.94	9.00

(有収水量 1 m³あたり)

(4) 主要事業

1 緊急時給水拠点確保等事業（重要給水施設配水管）

本事業は、福島市地域防災計画等に基づき、災害時に重要な医療救護活動の拠点となる病院、慢性患者への継続した供給水確保が不可欠な人工透析施設病院、介護や援助を必要とする災害時要援護者の避難拠点施設等、人命の安全確保を図る上で給水優先度が特に高い施設への安定供給を図るため、国庫補助を導入し耐震機能を有する配水管の整備を実施するものである。

総事業費	1,359,280千円
事業期間	平成20～29年度（10年間）
事業内容	配水管布設 ダクタイル鋳鉄管（NS・K）φ100～400mm 9,660m 実施設計（推進工ほか）

24年度までの 実施内容	事業費	723,232千円
	事業内容	配水管布設 ダクタイル鋳鉄管（NS）φ100～400mm 5,416m 実施設計（推進工ほか）
25年度実施内容	事業費	170,658千円
	事業内容	配水管布設 ダクタイル鋳鉄管（NS）φ100～400mm 1,406m
今後の実施見込 （～29年度）	事業費	465,390千円
	事業内容	配水管布設 ダクタイル鋳鉄管（NS・K）φ100～400mm 2,838m 実施設計（推進工ほか）

2 緊急時給水拠点確保等事業（基幹水道構造物の耐震化事業）

本事業は、市内中心部への供給拠点である弁天山配水池の耐震化を図り、災害時でも最小限必要な機能を維持し、市民や都市機能に対する給水を確保するため、国庫補助を導入し実施するものである。

総事業費	660,640千円
事業期間	平成25～26年度（2年間）
事業内容	配水池築造工 RC造 7,000㎡ 既設配水池取壊し工 1式 電気設備更新 1式 場内配管工 φ250～500mm 178m

25年度実施内容	事業費	68,740千円
	事業内容	既設配水池取壊し工 1式 場内配管工（仮設を含む一部）
今後の実施見込 （～26年度）	事業費	591,900千円
	事業内容	配水池築造工 RC造 7,000㎡ 電気設備更新 1式 場内配管工 φ250～500mm 178m

3 老朽管更新事業

市内中心部に多く現存する、創設時から昭和30年代に整備した鑄鉄管は、衝撃に弱く耐震性に乏しいため、破損による被害の拡大が懸念される。

本事業は、早期更新に着手することで、耐震性の向上と安定供給を維持することを目的として、国庫補助を導入し実施するものである。

総事業費	1,378,113千円
事業期間	平成22～30年度（9年間）
事業内容	配水管布設 ダクタイル鑄鉄管（NS・K）φ75～400mm 13,285m 実施設計（推進工ほか）

24年度までの実施内容	事業費	532,223千円
	事業内容	配水管布設 ダクタイル鑄鉄管（NS・K）φ75～300mm 5,503m 実施設計（推進工）
25年度実施内容	事業費	117,360千円
	事業内容	配水管布設 ダクタイル鑄鉄管（NS・K）φ75～400mm 1,411m
今後の実施見込（～30年度）	事業費	728,530千円
	事業内容	配水管布設 ダクタイル鑄鉄管（NS・K）φ75～300mm 6,371m 実施設計（推進工ほか）

4 老朽管更新事業（ダクタイル鑄鉄管）

本事業では、市内中心部の強度、耐震性の劣る基幹管路（布設後30年以上経過したダクタイル鑄鉄管）を対象に国庫補助を導入し更新を行うものである。

また、同じく市内中心部で実施している、老朽管更新事業と整合を図り、同時に事業を展開することで、市内中心部の面的整備を図ることができる。

総事業費	328,183千円
事業期間	平成25～27年度（3年間）
事業内容	配水管布設 ダクタイル鑄鉄管（NS）φ300～400mm 1,550m 実施設計（推進工）

25年度実施内容	事業費	99,541千円
	事業内容	配水管布設 ダクタイル鑄鉄管(NS) φ300mm 669m 実施設計（推進工）
今後の実施見込（～27年度）	事業費	228,642千円
	事業内容	配水管布設 ダクタイル鑄鉄管(NS) φ300～400mm 881m

5 水道未普及地域解消事業

福島市上水道給水区域内の未給水地域である松川町水原地区において、現在、飲料水や生活用水を井戸水や裏山からの引き水に頼っており、渇水期の水不足や衛生面での不安を抱えていることから、公衆衛生の向上と公共の福祉の観点から、国庫補助を導入し上水道施設の整備を実施するものである。

当地区は、標高が高く急峻で入り組んだ地形で、供給元となる南部受水池から直接供給が困難であるため、一部を除き加圧ポンプ所で増圧して高台に新たに配水池を設けて供給する。また、新設配水池水系について、適正な水圧を確保するため、低区には減圧施設を、高区には直結加圧ポンプを整備する。

総事業費	574,758千円
事業期間	平成23～27年度（5年間）
事業内容	配水池整備 RC造 130m ³ 、加圧ポンプ所 φ40 3.7kw×2 直結加圧ポンプ φ20 0.75kw、減圧施設 φ50 送配水管布設 ダクタイル鋳鉄管（NS） φ75～150mm 6,218m ポリエチレン管 φ50mm 5,959m 配水用ポリエチレン管 φ150mm 25m

24年度までの実施内容	事業費	115,778千円
	事業内容	実施設計・測量業務・地質調査業務 用地買収・不動産鑑定評価 2ヶ所 所有権移転登記業務委託 2件 配水池整備 RC造 130m ³ 、加圧ポンプ所 φ40 3.7kw×2 送配水管布設 ダクタイル鋳鉄管(NS) φ75～150mm 238m ポリエチレン管 φ50mm 1,586m
25年度実施内容	事業費	182,512千円
	事業内容	配水池・加圧ポンプ所 電気機械設備1式 送配水管布設 ダクタイル鋳鉄管（NS） φ75～150mm 3,212m ポリエチレン管 φ50mm 50m
今後の実施見込（～27年度）	事業費	276,468千円
	事業内容	直結加圧ポンプ φ20 0.75kw、減圧施設 φ50 送配水管布設 ダクタイル鋳鉄管（NS） φ75～150mm 2,768m ポリエチレン管 φ50mm 4,323m 配水用ポリエチレン管 φ150mm 25m

6 漏水調査事業

配・給水管路を路面及び戸別に漏水音聴調査を実施し、漏水の早期発見と迅速な対処に努めている。

区分 \ 年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度計画
漏水調査距離（km）	1,554	680	850	860	840	886
漏水発見件数（件）	416	265	311	269	249	—
推定漏水量（m ³ /年）	1,547,000	1,056,000	1,232,000	972,000	952,000	—

3. 施設の概要

(1) 現有施設能力	20
(2) 系統別施設の概要	27

3. 施設の概要

(1) 現有施設能力

平成26年3月31日現在 (単位：m³/d)

福島市上水道事業			
施設名	水源種別	水利権	施設能力
自己水	横塚水源地	湧水	※1
	飯野第一水源地	木幡川表流水	725 (0.008m ³ /s)
	自己水計		725 (0.008m ³ /s)
※3 受水	北部配水池	浄水受水	109,830
	中央部受水池	〃	
	南部受水池	〃	
	鳥川配水池	〃	
	飯野受水池	〃	1,070
	受水計		110,900
計		725 (0.008m ³ /s)	110,900
福島市土湯簡易水道事業			
施設名	水源種別	水利権	施設能力
鷲倉山水源地	湧水		750
屈坂水源地	〃		※4
計			750
福島市高湯簡易水道事業			
施設名	水源種別	水利権	施設能力
神ノ森浄水場	とく沢表流水		1,000
計			1,000
福島市茂庭地区簡易水道事業			
施設名	水源種別	水利権	施設能力
焼松山浄水場	草蒔沢表流水		323
計			323
合計		725 (0.008m ³ /s)	112,973

※1 平成20年1月31日で休止。(予備水源としての能力は620m³/d)

※2 平成20年11月30日で廃止。(水利権は平成28年3月31日まで許可)

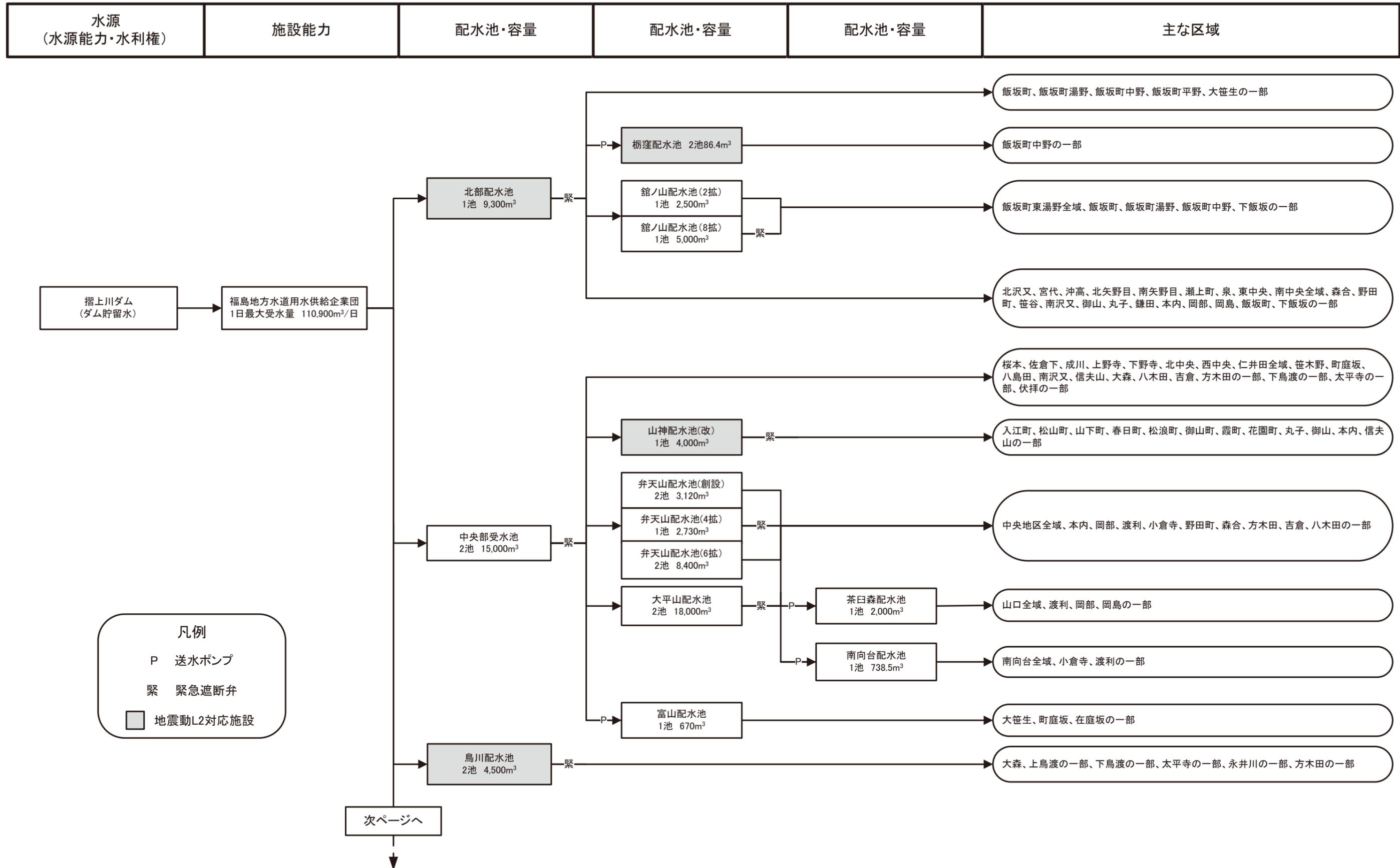
※3 受水は、福島地方水道用水供給事業からの浄水受水であり、水量は計画最大受水量を示す。

※4 平成21年3月6日認可変更において、予備水源扱いとしている。(能力50m³/d)

配水池一覽表

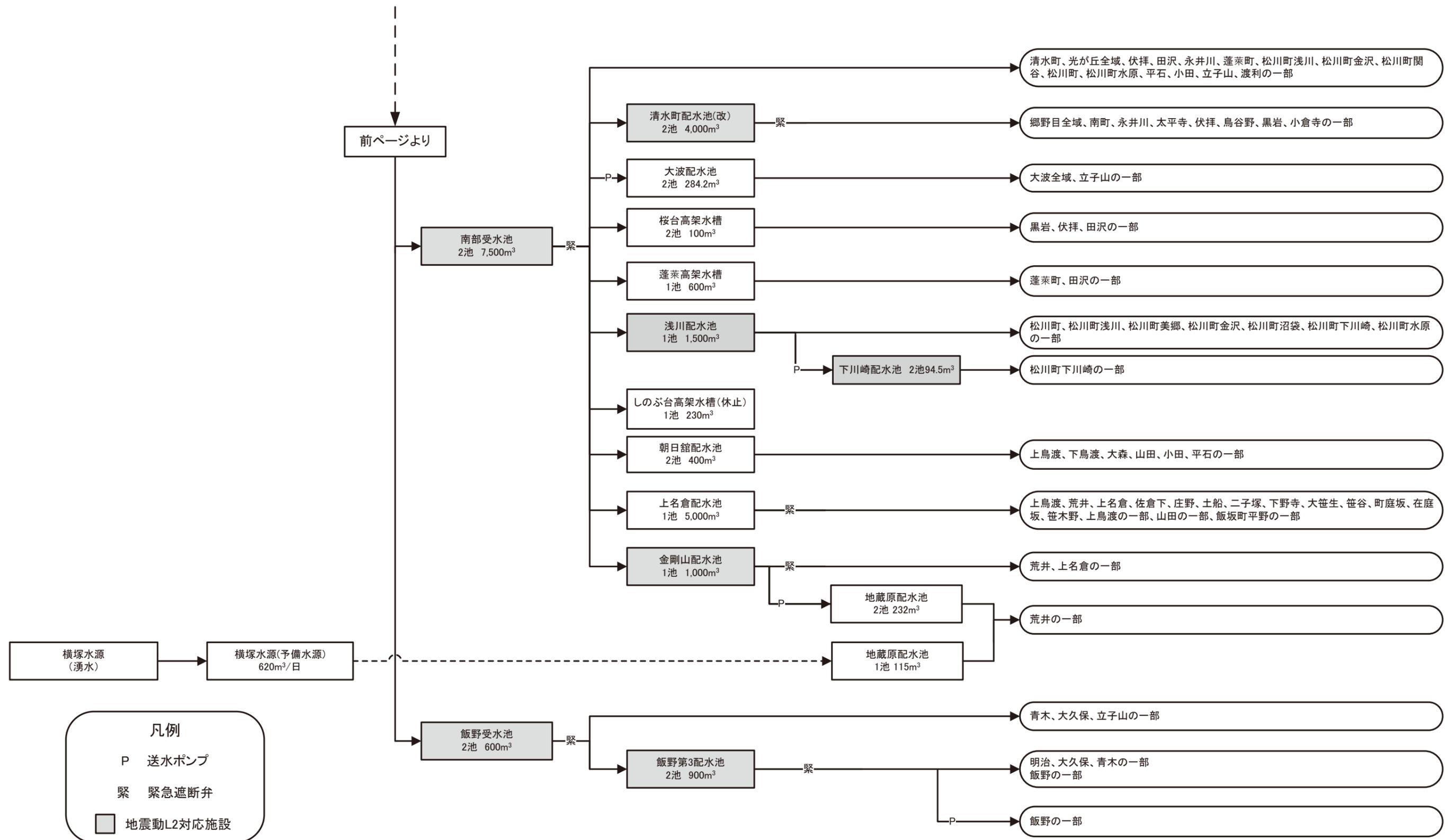
番号	施設名	容量 (m ³)	池数	計	構造	H.W.L (m)	L.W.L (m)	有効水深 (m)	竣工年月
1	弁天山配水池	1,560	2	3,120	C	118.04	114.66	3.38	T. 14. 3
		2,730	1	2,730	RC	118.16	114.66	3.50	S. 38. 12
		4,200	2	8,400	RC	118.16	114.66	3.50	S. 48. 4
2	大平山配水池	9,000	2	18,000	RC	118.32	113.72	4.60	S. 55. 1
3	茶臼森配水池	2,000	1	2,000	PC	220.00	216.00	4.00	S. 49. 7
4	清水町配水池	2,000	2	4,000	RC	154.95	149.65	5.30	S. 52. 9
5	大波配水池	142.1	2	284.2	RC	350.00	347.10	2.90	S. 60. 1
6	南向台配水池	738.5	1	738.5	PC	199.80	195.00	4.80	S. 60. 8
7	山神配水池	4,000	1	4,000	PC	120.00	114.00	6.00	S. 42. 3
8	館ノ山配水池	2,500	1	2,500	PC	156.00	148.00	8.00	S. 45. 3
		5,000	1	5,000	PC	156.00	148.00	8.00	H. 5. 3
9	富山配水池	670	1	670	PC	216.50	212.00	4.50	S. 46. 3
10	上名倉配水池	5,000	1	5,000	PC	201.00	195.00	6.00	S. 56. 3
11	地藏原配水池	115	2	230	RC	286.00	283.00	3.00	S. 36. 2
		117	1	117	RC	286.00	283.00	3.00	H. 1. 2
12	しのぶ台高架水槽	230	1	230	PC	186.00	182.00	4.00	S. 59.
13	朝日館配水池	200	2	400	RC	175.00	171.00	4.00	S. 43. 3
14	蓬萊高架水槽	600	1	600	PC	227.30	222.30	5.00	S. 49. 6
15	浅川配水池	1,500	1	1,500	PC	247.00	241.00	6.00	S. 58. 3
16	桜台高架水槽	50	2	100	SUS	209.10	206.50	2.60	S. 55. 1
17	信夫山高区配水槽	10	1	10	SUS	266.10	263.60	2.50	H. 16. 3
18	信夫山低区配水槽	18.7	1	18.7	FRP	212.30	210.00	2.30	S. 49. 1
19	御山配水槽	22.5	1	22.5	RC	132.30	130.00	2.30	S. 45. 7
20	絵馬平配水槽	37.5	2	75	SUS	250.75	248.25	2.50	H. 16. 3
21	三本木配水槽	15	1	15	FRP	115.00	113.50	1.50	S. 45.
22	北部配水池	9,300	1	9,300	PC	138.00	130.00	8.00	H. 12. 3
23	中央部受水池	7,500	2	15,000	RC	160.00	155.00	5.00	H. 15. 3
24	南部受水池	(外) 3,880	1	7,500	PC	275.00	267.00	8.00	H. 14. 12
		(内) 3,620	1						
25	金剛山配水池	1,000	1	1,000	PC	257.00	252.00	5.00	H. 13. 3
26	下川崎配水池	47.25	2	94.5	RC	254.20	250.00	4.20	H. 13. 3
27	高林高架水槽	23	1	23	SUS	255.55	253.00	2.55	H. 13. 12
28	栃窪配水池	43.2	2	86.4	RC	229.00	226.00	3.00	H. 18. 3
29	飯野受水池	300	2	600	PC	280.00	277.00	3.00	H. 14. 9
30	飯野第3配水池	450	2	900	PC	243.50	238.50	5.00	H. 16. 2
31	千貫森配水槽	9	2	18	FRP	346.97	345.47	1.50	S. 63.
32	鳥川配水池	2,250	2	4,500	PC	131.00	123.00	8.00	H. 22. 3
33	油畑配水池	135	1	135	RC	487.60	484.50	3.10	S. 27. 12
		150	2	300	RC	487.60	484.50	3.10	S. 48. 3
34	屈坂配水池	45	1	45	RC	512.00	509.00	3.00	S. 29. 11
35	神ノ森配水池	65	2	130	RC	824.90	822.40	2.50	S. 38. 3
		130	1	130	RC	824.90	822.40	2.50	S. 48. 3
		104	1	104	RC	824.90	822.40	2.50	S. 48. 3
36	茂庭第1配水池	27.5	2	55	RC	320.00	318.00	2.00	H. 7. 3
37	茂庭第2配水池	140.65	2	281.3	RC	269.50	266.00	3.50	H. 7. 3
38	茂庭第3配水池	24.5	2	49	RC	235.00	232.00	3.00	H. 7. 3

上水道配水系統図



上水道配水系統図

水源 (水源能力・水利権)	施設能力	配水池・容量	配水池・容量	配水池・容量	主な区域
------------------	------	--------	--------	--------	------



凡例

- P 送水ポンプ
- 緊 緊急遮断弁
- 地震動L2対応施設

(2) 系統別施設の概要

名称等		概 要	
施設管理センター	管理施設 管理本館	鉄筋コンクリート造り	構造 ラーメン構造 建築面積 714.00㎡ (18.00m×39.00m) 延床面積 1,974.474㎡ B F 528.771㎡ 1 F 516.840㎡ 電気室 事務室 2 F 515.380㎡ 事務室 会議室 3 F 413.483㎡ 中央管理室 会議室

ア. 福島市上水道

a. 北部系

名称等		概 要	
北部配水池	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り 構造 円筒型球型ドーム式 内径 38.50m 池数 1池 有効容量 9,300㎡ H.W.L + 138.00m L.W.L + 130.00m (有効水深 8.00m)
		薬液・電気設備室	鉄筋コンクリート平屋造り 1棟 床面積 54.0㎡
		緊急遮断弁	φ600mm 異常流量感知式 電動復帰型 1基
		次亜塩素酸ナトリウム注入機	型式 液中ピストンポンプ 注入能力 2.08~208cc/min 台数 2台 (内1台予備) 薬液貯留槽 容量 8.0㎡ 1槽 薬液小出槽 容量 200ℓ 1槽
館ノ山配水池	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り 内径 20.00m 池数 1池 有効容量 2,500㎡ H.W.L + 156.00m L.W.L + 148.00m (有効水深 8.00m)
		配水池	プレストレストコンクリート造り (8 拡) 内径 29.00m 池数 1池 有効容量 5,000㎡ H.W.L + 156.00m L.W.L + 148.00m (有効水深 8.00m)
		薬液・電気設備室	鉄筋コンクリート平屋造り 1棟 床面積 40.94㎡
		緊急遮断弁	φ250mm 異常流量感知式 電動復帰型 1基
堰坂加圧ポンプ所	配水施設	加圧ポンプ	型式 横軸多段渦巻ポンプ 口径 40mm 揚水量 0.078㎡/min 揚程 62m 出力 3.7kW 台数 2台 (内1台予備)
		次亜塩素酸ナトリウム注入機	型式 液中ピストンポンプ 注入能力 0.035~3.5cc/min 台数 2台 (内1台予備) 薬液小出槽 容量 50ℓ 1槽

名称等		概要			
枋窪配水池	配水施設 配水池	鉄筋コンクリート造り	内法池数	3.6m×4.0m×3.8m 2池	H.W.L + 229.00m L.W.L + 226.00m (有効水深 3.00m)
			有効容量	86.4m ³	

b. 中央部系

名称等		概要				
中央部 受水池	受水施設	受水池	鉄筋コンクリート造り	構造内法池数 有効容量	フラットスラブ構造 全長 64.0m 全幅 24.0m 2池 15,000m ³ (7,500m ³ ×2池)	H.W.L + 160.00m L.W.L + 155.00m (有効水深 5.00m)
		緊急遮断弁		φ800mm	異常流量感知式 電動復帰型	1基
		受水池棟上屋	鉄筋コンクリート造り	地下1階	4棟 (1棟当たり)	延床面積 14.0m ²
	送水施設	次亜塩素酸ナトリウム注入機	薬液貯留槽 薬液小出槽	型式	液中ピストンポンプ	
				注入能力 台数 容量 容 量	2.08~208cc/min 2台 (内1台予備) 4.0m ³ 2槽 500ℓ 1槽	
送水ポンプ			型式 口径 揚水量 揚程 出力 台数	横軸多段渦巻ポンプ 65mm 0.35m ³ /min 65m 7.5kW 3台 (内1台予備)		
施管理	管 理 棟	鉄筋コンクリート造り	地上1階、地下2階	延床面積	537.79m ²	
富山配水池	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り (創設)	内径池数 有効容量	13.80m 1池 670m ³	H.W.L + 216.50m L.W.L + 212.00m (有効水深 4.50m)
安養寺 加圧ポンプ所	配水施設	加圧ポンプ		形式 口径 揚水量 揚程 出力 台数	縦型渦巻ポンプ 40mm 0.05m ³ /min 72m 2.5kW 2台 (内1台予備)	
		次亜塩素酸ナトリウム注入機	薬液小出槽	形式 注入能力 台数 容量	液中ピストンポンプ 0.25~7.5cc/min 2台 (内1台予備) PVC製容量 50ℓ 1槽	
	管理施設	管 理 棟	鉄筋コンクリート造り	建築面積 延床面積 1 F	5.10m×3.50m = 17.85m ² 17.85m ² 17.85m ²	ポンプ設備 電気計装設備 薬注設備
高林高架水槽	配水施設	高架水槽	ステンレス製パネルタンク	内法有効容量	3.00m×3.00m×3.00m 23m ³	H.W.L + 255.55m L.W.L + 253.00m (有効水深 2.55m)
弁天山配水池	配水施設	配水池	無筋コンクリート造り (創設)	内法池数 有効容量	21.36m×21.66m×3.64m 2池 3,120m ³ (1,560m ³ ×2池)	H.W.L + 118.04m L.W.L + 114.66m (有効水深 3.38m)

名 称 等		概 要					
弁 天 山 配 水 池	配 水 池	鉄筋コンクリート造り (4 拡)	構 造 内 法 池 数 有効容量	扶壁 T 型梁式 28.00m×28.00m×4.00m 1 池 2,730m ³	H.W.L + 118.16m L.W.L + 114.66m (有効水深 3.50m)		
		鉄筋コンクリート造り (6 拡)	構 造 内 法 池 数 有効容量	扶壁 T 型梁式 30.80m×39.60m×4.35m 隔壁で 2 分割 8,400m ³ (4,200m ³ ×2 池)	H.W.L + 118.16m L.W.L + 114.66m (有効水深 3.50m)		
	薬液・電気設備室	鉄筋コンクリート平屋造り	1 棟	延面積	76.94m ²		
	緊急遮断弁		φ400mm	異常流量感知式	電動復帰型 1 基		
	次亜塩素酸 ナトリウム 注 入 機	薬 液 貯 留 槽 薬 液 小 出 槽	型 式 注入能力 台 数 容 量	液中ピストンポンプ 0.58~116cc/min 2 台 (内 1 台予備) 3.0m ³ 1 槽 300ℓ 1 槽			
大 平 山 配 水 池	配 水 池	鉄筋コンクリート造り (7 拡)	内 法 池 数 有効容量	40.00m×50.00m×5.30m 隔壁で 2 分割 9,000m ³ /池×2 池 = 18,000m ³	H.W.L + 118.32m L.W.L + 113.72m (有効水深 4.60m)		
		薬液・電気設備室	鉄筋コンクリート平屋造り	1 棟	床面積	39.2m ²	
	緊急遮断弁		φ700mm	異常流量感知式	電動復帰型 1 基		
	次亜塩素酸 ナトリウム 注 入 機	薬 液 貯 留 槽 薬 液 小 出 槽	型 式 注入能力 台 数 容 量	液中ピストンポンプ 0.58~116cc/min 2 台 (内 1 台予備) 3.0m ³ 1 槽 200ℓ 1 槽			
御 山 配 水 槽	配 水 槽	鉄筋コンクリート造り	有効容量	22.5m ³	H.W.L + 132.30m L.W.L + 130.00m (有効水深 2.30m)		
三 本 木 配 水 ポン プ 所	配 水 施 設	送水ポンプ (配水ポンプ ユニット)	形 式 口 径 揚 水 量 揚 程 出 力 台 数	多段渦巻ポンプ 40mm 0.15m ³ /min 50m 3.7kW 2 台 (内 1 台予備)			
		受 水 槽	ステンレスパネルタンク	有効容量	4.0m ³		
配 三 本 木 水 槽	配 水 施 設	配 水 槽	F R P 造 り	有効容量	15.0m ³ H.W.L + 115.00m L.W.L + 113.50m (有効水深 1.50m)		
信 夫 山 第 2 ポン プ 所	配 水 施 設	送 水 ポン プ	高 区	形 式 口 径 揚 水 量	多段渦巻ポンプ 40mm 0.1m ³ /min	揚 程 出 力 台 数	160m 7.5kW 2 台 (内 1 台予備)
			低 区	形 式 口 径 揚 水 量	多段渦巻ポンプ 40mm 0.12m ³ /min	揚 程 出 力 台 数	90m 5.5kW 2 台 (内 1 台予備)
	受 水 槽	鉄筋コンクリート造り	有効容量	7.2m ³			
信 夫 山 高 区 配 水 槽	配 水 施 設	配 水 槽	S U S 造 り	有効容量	10.1m ³ H.W.L + 266.10m L.W.L + 263.60m (有効水深 2.50m)		

名 称 等		概		要		
信夫山低区 配水施設	配水施設	配水槽	F R P 造り	有効容量	18.7m ³	H.W.L + 212.30m L.W.L + 210.00m (有効水深 2.30m)
	館ノ前加圧ポンプ所	ポンプ井	鉄筋コンクリート造り	内法池数	4.875m × 7.00m × 4.10m (有効水深 3.50m) 隔壁で2分割	有効容量 100m ³ /池 × 2池 = 200m ³
配水施設		送水ポンプ		形式	多段タービンポンプ	
				口径	150mm	
				揚水量	1.75m ³ /min	
			揚程	160.00m		
			出力	75kW		
			台数	3台 (内1台予備)		
		送水管	ダクタイル鋳鉄管 圧力配管用炭素鋼々管	口径	250mm	} 配水ポンプ～茶臼森配水池
				長さ	491.00m	
				口径	250mm	
				長さ	1,080.00m	
	管理施設	管理棟	鉄筋コンクリート造り	建築面積	17.38m × 10.00m = 173.80m ²	
				延床面積	173.80m ²	
				1 F	173.80m ²	ポンプ設備 電気計装設備 管理室
茶臼森 配水施設	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り (6 拡)	内径池数	25.30m × 6.50m 1池	H.W.L + 220.00m L.W.L + 216.00m (有効水深 4.00m)
	南向台加圧ポンプ所	ポンプ井	鉄筋コンクリート造り	内法池数	2.50m × 7.50 × 3.70m 隔壁で2分割	有効容量 90m ³ (45m ³ × 2池)
配水施設		次亜塩素酸ナトリウム注入設備	薬液貯留槽	型式	定容量制御ポンプ	
				注入能力	30cc/min	
				台数	2台 (内1台予備)	
			容量	200ℓ / 2槽		
		加圧ポンプ		型式	横軸多段ポンプ	
				口径	100mm	
				揚水量	0.74m ³ /min	
				揚程	114m	
				出力	30kW	
				台数	3台 (内1台予備)	
	管理施設	管理棟	鉄筋コンクリート造り	建築面積	5.30m × 7.40m = 39.22m ²	
				延床面積	51.14m ²	
				B F	39.22m ²	ポンプ設備 電気計装設備
				1 F	11.92m ²	次亜塩素酸注入設備
南向台 配水施設	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り	内径池数	14.00m × 5.73m 1池	H.W.L + 199.80m L.W.L + 195.00m (有効水深 4.80m)
	絵馬平加圧ポンプ所	配水施設	配水ポンプ		形式	多段渦巻ポンプ
				口径	50mm	
				揚水量	0.28m ³ /min	
				揚程	68m	
				出力	7.5kW	
				台数	2台 (内1台予備)	

名称等		概		要	
絵馬平 配水槽	配水施設	配水槽	S U S 造り	有効容量 75m ³ (37.5m ³ × 2池)	H.W.L + 250.75m L.W.L + 248.25m (有効水深 2.50m)
	減圧槽	減圧配水槽	鉄筋コンクリート造り	有効容量 8.0m ³	H.W.L + 150.01m L.W.L + 148.01m (有効水深 2.00m)
山神 配水池	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り (5 拡)	内径 30.00m 池数 1池 有効容量 4,000m ³	H.W.L + 120.00m L.W.L + 114.00m (有効水深 6.00m)
		薬液・電気設備室	鉄筋コンクリート平屋造り	1棟 延面積 52.1m ²	
		緊急遮断弁		φ200mm 異常流量感知式 電動復帰型 1基	
		次亜塩素酸 ナトリウム 注入機	薬液貯留槽 薬液小出槽	型式 液中ピストンポンプ 注入能力 0.315~63.3cc/min 台数 2台 (内1台予備) 容量 15m ³ 1槽 容量 200ℓ 1槽	

c. 鳥川系

名称等		概		要	
鳥川 配水池	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り	構造 二重円筒形式 (球形ドーム屋根) 外径 27.40m 内径 19.00m 有効容量 4,500m ³ (2,250m ³ × 2池)	H.W.L + 131.00m L.W.L + 123.00m (有効水深 8.00m)
		計装・滅菌室	鉄筋コンクリート平屋造り	1棟 延面積 193.61m ²	
		緊急遮断弁		φ400mm 異常流量感知式 電動復帰型 1基	

d. 南部系

名称等		概		要	
南 部 受 水 池	受水施設	受水池	プレストレストコンクリート造り	構造 二重円筒形式 (球形ドーム屋根) 外径 35.3m 内径 24.5m 有効容量 7,500m ³ (外3,880m ³ 内3,620m ³)	H.W.L + 275.00m L.W.L + 267.00m (有効水深 8.00m)
		流量計室	鉄筋コンクリート造り	12.13m × 13.67m × 3.15m	
		緊急遮断弁室	鉄筋コンクリート造り	4.6m × 6.59m × 3.2m 弁室配管 (配水管 φ800 緊急遮断弁 φ800)	
		管布設		送水管 φ800 L=92m バイパス管 φ700 L=28m 送水管 φ700 L=51m 排水管 φ350 L=77m 流入管 φ700 L=42m 配水管 φ200 L=52m	
		薬液・電気設備室	鉄筋コンクリート平屋造り	1棟 床面積 36.575m ²	
		次亜塩素酸 ナトリウム 注入機 (流入)	薬液小出槽	型式 液中ピストンポンプ 注入能力 2.08~208cc/min 台数 2台 (内1台予備) 容量 200ℓ 1槽	

名 称 等		概 要			
南部 受水池	受水施設	次亜塩素酸 ナトリウム 注入機 (蓬萊系)	薬液小出槽 薬液貯留槽(共通)	型 式 注入能力 台 数 容 量 容 量	液中ピストンポンプ 2.08~208cc/min 2台(内1台予備) 200ℓ 1槽 3.0m ³ 1槽
		配水池	鉄筋コンクリート造り (6 拡)	内 法 池 数 有効容量	16.96m×22.36m 隔壁で2分割 2,000m ³ /池×2池=4,000m ³
清 水 町 配 水 池	配水施設	緊急遮断弁		φ300mm 異常流量感知式 電動復帰型	1基
		薬液・電気設備室	鉄筋コンクリート平屋造り	1棟 床面積	100.0m ²
		次亜塩素酸 ナトリウム 注入機	薬液小出槽	型 式 注入能力 台 数 容 量	液中ピストンポンプ 2.0~20cc/min 2台(内1台予備) 200ℓ 1槽
		配水池	鉄筋コンクリート造り	内 径 池 数 有効容量	12.40m×5.00m 1池 600m ³
蓬萊 水 槽 高 架	配水施設	高架水槽	プレストレストコンクリート造り	内 径 池 数 有効容量	12.40m×5.00m 1池 600m ³
桜台 水 槽 高 架	配水施設	高架水槽	ステンレスパネル造り	内 法 池 数 有効容量	6.0m×6.0m×3.5m 2池 100m ³ (50m ³ ×2池)
大 波 加 圧 ポ ン プ 所	配水施設	ポンプ井	鉄筋コンクリート造り	内 法 池 数 有効容量	2.00m×2.00m×3.15m (有効水深 2.65m) 隔壁で2分割 21.2m ³ (10.6m ³ ×2池)
		加圧ポンプ		型 式 口 径 揚 水 揚 程 出 力 台 数	多段渦巻ポンプ 100mm×80mm 1.0m ³ /min 162.7m 45kW 2台(内1台予備)
		次亜塩素酸 ナトリウム 注入機	薬液小出槽	型 式 注入能力 台 数 容 量	液中ピストンポンプ 0.08~7.5cc/min 2台(内1台予備) 100ℓ 1槽
	管理施設	管 理 棟	鉄筋コンクリート造り	建築面積 延床面積 1 F	4.55m×8.025m=36.51m ² 36.51m ² 36.51m ² ポンプ設備 電気計装設備 薬注設備 管理室
大波 配水池	配水施設	配水池	鉄筋コンクリート造り	内 法 池 数 有効容量	7.00m×7.00m×3.40m 2池 284.20m ³ (142.10m ³ ×2池)
浅川 配水池	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り	内 径 池 数 有効容量	18.00m (h=7.20m) 1池 1,500m ³
		薬液・電気設備室	鉄筋コンクリート平屋造り	1棟 延面積	52.10m ²

名 称 等		概 要			
下川崎加圧ポンプ所	配水施設	加圧ポンプ	型式 口径 揚水量 揚程 出力 台数	縦型渦巻ポンプ 40mm 0.05m ³ /min 37m 2.2kW 2台 (内1台予備)	
		次亜塩素酸 ナトリウム 注入機	型式 注入能力 台数 容量	液中ピストンポンプ 0.25~7.50cc/min 2台 (内1台予備) 50ℓ 1槽	薬液小出槽
	管理施設	管理棟	鉄筋コンクリート造り 延床面積 1 F	5.10m × 3.50m = 17.85m ² 17.85m ² 17.85m ²	ポンプ設備 電気計装設備 薬注設備
配水池	配水施設	配水池	鉄筋コンクリート造り 内法 池数 有効容量	2.50m × 4.50m × 5.10m 2池 94.50m ³ (47.25m ³ × 2池)	H.W.L + 254.20m L.W.L + 250.00m (有効水深 4.20m)
上名倉配水池	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り 内径 池数 有効容量	32.60m (h=6.25m) 1池 5,000m ³	H.W.L + 201.00m L.W.L + 195.00m (有効水深 6.00m)
		緊急遮断弁		φ400mm 異常流量感知式 電動復帰型 1基	
		薬液・電気設備室	鉄筋コンクリート平屋造り 1棟 床面積	40.94m ²	
		次亜塩素酸 ナトリウム 注入機	型式 注入能力 台数 容量 容量	液中ピストンポンプ 2.08~208cc/min 2台 (内1台予備) 3.0m ³ 1槽 200ℓ 1槽	薬液貯留槽 薬液小出槽
朝日館配水池	配水施設	配水池	鉄筋コンクリート造り (2 拡) 内法 池数 有効容量	6.30m × 8.00m × 4.50m 隔壁で2分割 200m ³ /池 × 2池 = 400m ³	H.W.L + 175.00m L.W.L + 171.00m (有効水深 4.00m)
高しのぶ水槽	配水施設	高架水槽	プレストレストコンクリート造り 内径 池数 有効容量	8.60m (h=5.40m) 1池 230m ³	H.W.L + 186.00m L.W.L + 182.00m (有効水深 4.00m)
金剛山配水池	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り 内径 池数 有効容量	16m 1池 1,000m ³	H.W.L + 257.00m L.W.L + 252.00m (有効水深 5.00m)
		緊急遮断弁		φ150mm 異常流量感知式 電動復帰型 1基	
		次亜塩素酸 ナトリウム 注入機	型式 注入能力 台数 容量 容量	液中ピストンポンプ 0.15~15cc/min 2台 (内1台予備) 1.5m ³ 1槽 200ℓ 1槽	薬液貯留槽 薬液小出槽
	管理施設	管理室	鉄筋コンクリート平屋造り 1棟 床面積	28.0m ²	
金剛山配水ポンプ所	配水施設	加圧ポンプ	型式 口径 揚水量 揚程 出力 台数	多段渦巻ポンプ 65mm 0.3m ³ /min 40m 5.5kW 2台 (内1台予備)	

名 称 等		概 要				
地蔵原配水池	配水施設	配水池	鉄筋コンクリート造り (創設)	内法池数 有効容量	3.50m × 11.00m × 3.45m 隔壁で2分割 115㎡ × 2池 = 230㎡ (1池予備)	H.W.L + 286.00m L.W.L + 283.00m (有効水深 3.00m)
			鉄筋コンクリート造り (7 拡)	内法池数 有効容量	3.0m × 13.0m × 3.5m 1池 117㎡	H.W.L + 286.00m L.W.L + 283.00m (有効水深 3.00m)

e. 飯野系

名 称 等		概 要					
飯野受水池	配水施設	受水池	プレストレストコンクリート造り	構造 内径池数 有効容量	円筒型球型ドーム式 11.40m 2池 600㎡ (300㎡ × 2池)	H.W.L + 280.00m L.W.L + 277.00m (有効水深 3.00m)	
			計装・減菌室	鉄筋コンクリート平屋造り	1棟		
		緊急遮断弁		φ150mm	異常流量感知式 電動復帰型	1基	
		次亜塩素酸ナトリウム注入機	薬液小出槽	型式 注入能力 台数 容量	液中ピストンポンプ 0.25~7.5cc/min 2台 (内1台予備) 200ℓ 1槽		
池	配水施設	送水ポンプ		型式 口径 揚水量 揚程 出力 台数	多段渦巻ポンプ 80mm 0.15㎡/min 88m 5.5kW 2台 (内1台予備)		
			千貫森配水槽	F R P 造り	有効容量	18㎡ (9.0㎡ × 2池)	H.W.L + 346.97m L.W.L + 345.47m (有効水深 1.50m)
第3配水池	配水施設	配水池	プレストレストコンクリート造り	内径池数 有効容量	24.85m × 8.00m × 5.70m 2池 900㎡ (450㎡ × 2池)	H.W.L + 243.50m L.W.L + 238.50m (有効水深 5.00m)	
			計装・減菌室	鉄筋コンクリート平屋造り	1棟		
		緊急遮断弁		φ150mm	異常流量感知式 電動復帰型	1基	
		次亜塩素酸ナトリウム注入機		型式 注入能力 台数 容量	液中ピストンポンプ 0.25~7.5cc/min 2台 (内1台予備) 100ℓ 1槽		
第2加圧ポンプ所	配水施設	配水ポンプ		型式 口径 揚水量 揚程 出力 台数	多段渦巻ポンプ 50mm 0.262㎡/min 52m 5.5kW 3台 (自動交換運転)		

f. 横塚系（予備水源）

名称等		概要		
横塚水源	水源	湧水	福島市荒井字横塚24番13号	
	取水施設	集水枿	鉄筋コンクリート造り 内法集水渠孔	1.00m × 27.00m × 2.50m 口径 20mm
	導水施設	導水管	ダクタイル 鑄鉄管 耐衝撃性硬質塩化ビニル管	口径 150mm 長さ 391.0m 口径 75mm 長さ 182.5m
	浄水施設	次亜塩素酸 ナトリウム 注入機	薬液貯留槽	型式 液中ピストンポンプ 注入能力 0.1～10cc/min 台数 2台（内1台予備） 容量 900ℓ 2槽

イ. 土湯簡易水道

名称等		概要			
鶯倉山系	水源	湧水	福島市土湯温泉町字鶯倉山国有林37林班い小班		
	取水施設	第1水源	鉄筋コンクリート造り 内法集水枿	2.00m × 8.50m × 2.00m（取水ドーム） 内径φ1,200 × 2,600（有孔マンホール）	
		第2水源	集水枿	内径φ1,200 × 2,000（有孔マンホール）	
	導水施設	導水管	ダクタイル 鑄鉄管	口径 150mm	長さ 1,238.30m
			硬質塩化ビニル管	口径 150mm	長さ 20.90m
			〃	口径 100mm	長さ 74.10m
			〃	口径 75mm	長さ 42.80m
			1号減圧槽 鉄筋コンクリート造り 2号減圧槽 鉄筋コンクリート造り	内法	1.00m × 1.00m × 1.00m 1.00m × 0.90m × 1.35m
	浄水施設	紫外線照射設備室	鉄筋コンクリート造り 半地下式	5.00m × 5.50m × 2.85m	
		紫外線照射装置		型式 YGMVS6503VSFC 処理水量 750m ³ /d ランプ出力 65W ランプ本数 3本	
次亜塩素酸 ナトリウム 注入機		薬液小出槽	型式 液中ピストンポンプ 注入能力 0.1～10.4cc/min 台数 2台（内1台予備） 容量 200ℓ 1槽		
配水池		配水池	鉄筋コンクリート造り （創設）	内法池数 1池 有効容量 135m ³	H.W.L + 487.60m L.W.L + 484.50m （有効水深 3.10m）
	鉄筋コンクリート造り （1拡）		内法池数 隔壁で2分割 有効容量 300m ³ （150m ³ × 2池）	H.W.L + 487.60m L.W.L + 484.50m （有効水深 3.10m）	
屈坂系	水源	湧水	福島市土湯温泉町字屈坂71番7号		
	取水施設	集水埋渠	有孔ヒューム管	口径 75mm 長さ 42.00m	

名称等		概				要	
屈坂	取水施設	取水壁	鉄筋コンクリート造り	内径	7.04m	高さ	0.95m
			〃	〃	1.60m	〃	0.70m
			〃	〃	2.40m	〃	0.70m
	導水施設	導水管	硬質塩化ビニール管	口径	50mm	長さ	201.00m
	浄水施設	次亜塩素酸ナトリウム注入機		型式	液中ピストンポンプ		
				注入能力	0.11～1.16cc/min		
				台数	1台		
				容量	50ℓ 1槽		
屈坂水系	配水池	配水池	鉄筋コンクリート造り (創設)	内法	3.00m×5.00m×3.50m		H.W.L + 512.00m
				池数	1池		L.W.L + 509.00m
				有効容量	45m ³		(有効水深 3.00m)
	水施設	加圧ポンプ		型式	多段タービンポンプ		
				口径	65mm		
				揚水量	0.36m ³ /min		
				揚程	65.00m		
				出力	7.50kW		
				台数	2台 (内1台予備)		

ウ. 高湯簡易水道

名称等		概				要	
水源		表流水	とく沢	福島市町庭坂字神ノ森1番1号			
取水施設	止水堰	鉄筋コンクリート造り	内法	2.50m×5.00m			
	取水柵	鉄筋コンクリート造り	内法	0.80m×0.80m×1.70m			
導水施設	導水管	ダクタイル鋳鉄管	口径	100mm	長さ	1,797.40m	
		ポリエチレン管	〃	100mm	〃	12.20m	
	減圧槽	鉄筋コンクリート造り	内法	1.30m×1.30m×2.00m		3ヶ所	
神ノ森浄水場	浄水施設	着水井	鉄筋コンクリート造り	内法	2.85m×1.50m×1.70m (有効水深 1.50m)		
				池数	1池		
				有効容量	6.40m ³		
	普通沈でん池	鉄筋コンクリート造り	内法	2.00m×10.00m×3.00m (有効水深 2.70m)			
			池数	2池			
			有効容量	108m ³ (54m ³ ×2池)			
			処理水量	1,000m ³ /d (500m ³ /d×2池)			
			沈でん方式	自然沈降			
	緩速ろ過池	鉄筋コンクリート造り (5号)	内法	7.00m×10.50m×2.60m		ろ過速度5.0m/d	
			池数	1池			
			ろ過面積	73.50m ²			
		鉄筋コンクリート造り (1号)	内法	7.40m×10.50m×2.60m		処理水量1,000.00m ³ /d	
			池数	1池			
			ろ過面積	77.70m ²			
		鉄筋コンクリート造り	内法	3.50m×7.00m×2.60m		予備池	
			池数	3池			
			ろ過面積	73.50m ² (24.50m ² ×3池)			

名称等		概要			要		
神ノ森浄水場	浄水施設	次亜塩素酸ナトリウム注入機	型式	液中ピストンポンプ			
			注入能力	0.1～10.4cc/min			
	薬液貯留槽	台数	2台 (内1台予備)				
		容量	1.5m ³ 1槽				
	薬液小出槽	容量	200ℓ 1槽				
	配水施設	配水池	鉄筋コンクリート造り (創設)	内法池数	4.00m×6.50m×2.95m 隔壁で2分割 有効容量 130m ³ (65m ³ ×2池)		H.W.L + 824.90m L.W.L + 822.40m (有効水深 2.50m)
			鉄筋コンクリート造り (1拡)	内法池数	6.50m×8.00m×2.95m 1池 有効容量 130m ³		H.W.L + 824.90m L.W.L + 822.40m (有効水深 2.50m)
			鉄筋コンクリート造り (1拡)	内法池数	6.40m×6.50m×2.95m 1池 有効容量 104m ³		H.W.L + 824.90m L.W.L + 822.40m (有効水深 2.50m)
	管理施設	管理棟	鉄筋コンクリート造り	建築面積	291.00m ²		
			延床面積	291.00m ²			
			1 F	291.00m ²			
沈でん池上屋	木造スレート葺	建築面積	281.58m ²				
		延床面積	281.58m ²				
管理室	木造カラー鉄板葺	建築面積	9.72m ²				
		延床面積	9.72m ²				

エ. 茂庭地区簡易水道

名称等		概要			要	
水	源	表流水	草蒔沢	福島市飯坂町茂庭字茂庭国有林142へ林小班		
取水施設	取水ダム	鉄筋コンクリート造り	内法	堤長18.5m	堤高3.0m	重力式
		沈砂池	鉄筋コンクリート造り	内法池数	0.90m×7.00m×2.10m (有効水深 1.50m) 2池	
施設	導水管	ダクタイル鋳鉄管	口径	100mm	長さ	101.65m
		硬質塩化ビニール管	〃	100mm	〃	706.31m
茂庭焼山浄水場	前処理装置	S S 造り	内法設置数	φ1150mm×3.90m 2基		
		凝集剤注入設備	形式	液中ピストンポンプ		
	薬液小出槽	注入能力	1.5～10.0cc/min			
		台数	2台 (内1台予備)			
緩速ろ過池	鉄筋コンクリート造り	容量	200ℓ 1槽			
次亜塩素酸ナトリウム注入機	薬液小出槽	型式	液中ピストンポンプ			
		注入能力	0.25～7.5cc/min			
		台数	2台 (内1台予備)			
		容量	100ℓ 1槽			

名 称 等		概 要			
茂庭焼松山浄水場	配水施設 配水池 (第1)	鉄筋コンクリート造り	内法 池数 有効容量	2.50m × 5.50m × 2.50m 2池 27.5m ³ /池 × 2池 = 55.0m ³	H.W.L + 320.00m L.W.L + 318.00m (有効水深 2.00m)
	管理施設 管理棟	鉄骨建	建築面積 延床面積	378.08m ² 378.08m ²	
第2配水池	配水施設 配水池	鉄筋コンクリート造り	内法 池数 有効容量	9.80m × 4.10m × 4.00m 2池 140.65m ³ /池 × 2池 = 281.3m ³	H.W.L + 269.50m L.W.L + 266.00m (有効水深 3.50m)
第3配水池	配水施設 配水池	鉄筋コンクリート造り	内法 池数 有効容量	1.90m × 4.30m × 3.50m 2池 24.50m ³ /池 × 2池 = 49.0m ³	H.W.L + 235.00m L.W.L + 232.00m (有効水深 3.00m)

4. 浄水の状況

(1) 月別取水量	40
(2) 月別配水量	41
(3) 電力消費量推移 (グラフ)	43
(4) 電力使用量及び本体料金	44
(5) 電力使用量及び電気料金 (動力費)	46
(6) 水質検査成績	47
(7) 月別浄水薬品使用量	64

(1) 月別取水量

(単位：m³)

区分 月別	土湯簡易水道		高湯簡易水道		茂庭地区簡易水道		簡易水道計	
	鷺倉山水源地		神ノ森浄水場		茂庭焼松山浄水場			
	月量	日平均	月量	日平均	月量	日平均	月量	日平均
4	6,294	210	5,879	196	4,356	145	16,529	551
5	6,623	214	5,949	192	4,634	149	17,206	555
6	6,798	227	5,458	182	4,167	139	16,423	547
7	6,956	224	5,457	176	5,384	174	17,797	574
8	7,931	256	6,445	208	5,560	179	19,936	643
9	6,891	230	5,367	179	5,270	176	17,528	584
10	6,855	221	6,057	195	4,688	151	17,600	568
11	7,066	236	5,979	199	4,542	151	17,587	586
12	7,713	249	5,369	173	4,893	158	17,975	580
1	8,014	259	5,500	177	4,989	161	18,503	597
2	6,423	229	5,449	195	4,462	159	16,334	583
3	7,395	239	6,465	209	4,678	151	18,538	598
計	84,959		69,374		57,623		211,956	
平均	7,080	232	5,781	190	4,802	157	17,663	580
最大	1月 8,014	1月 259	3月 6,465	3月 209	8月 5,560	8月 179	8月 19,936	8月 643
最小	4月 6,294	4月 210	9月 5,367	12月 173	6月 4,167	6月 139	2月 16,334	6月 547
日最大	8月16日 323		2月27日 390		9月14日 256		8月16日 795	

(2) 月別配水量

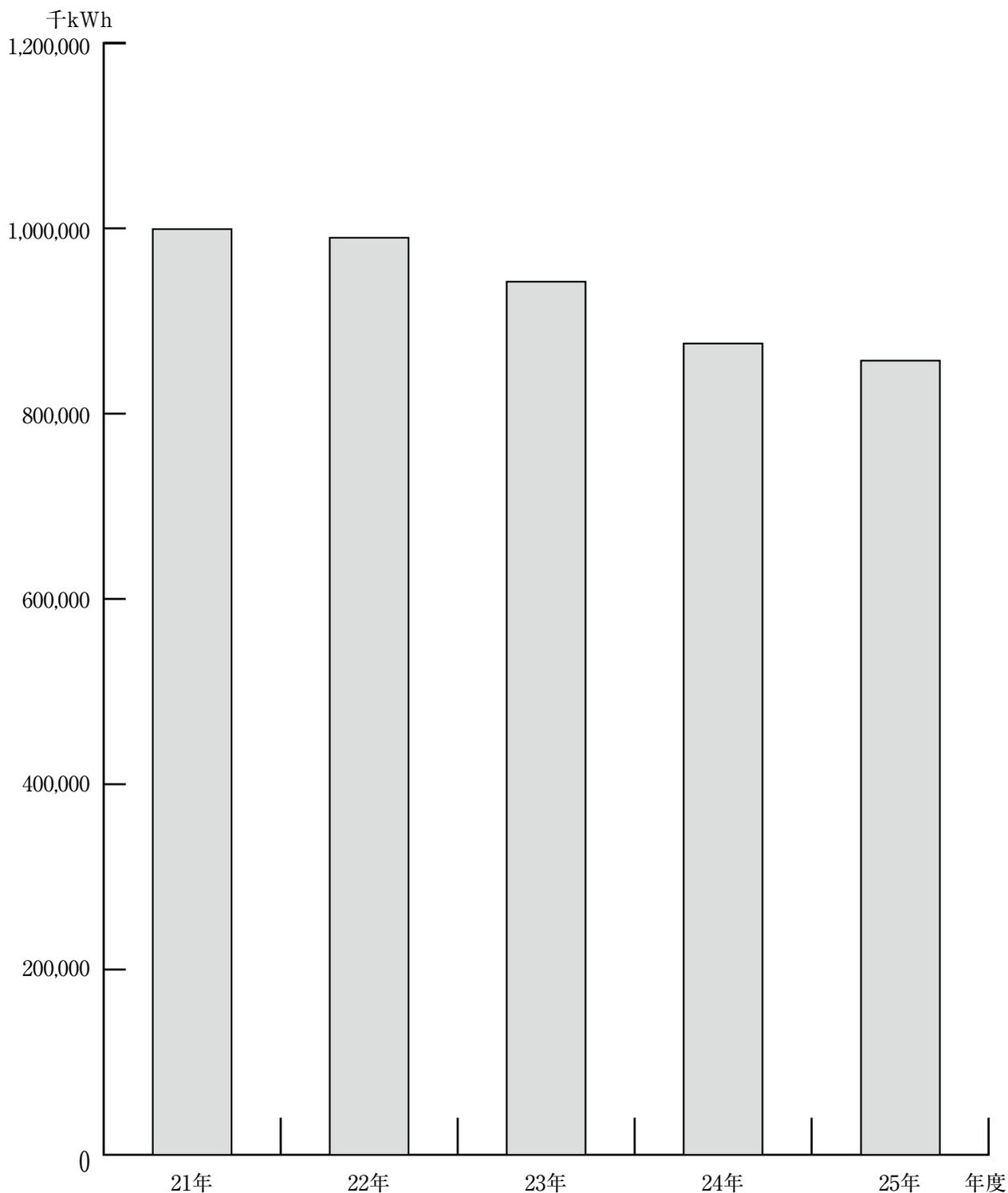
(単位：m³)

区分 月別	福島自己水源		企 業 団 受 水											
	横塚水源		南部受水池		中央部受水池		北部配水池		飯野受水池		鳥川配水池		小 計	
	月 量	日平均	月 量	日平均	月 量	日平均	月 量	日平均	月 量	日平均	月 量	日平均	月 量	日平均
4	0	0	542,853	18,095	1,045,228	34,841	789,020	26,301	47,671	1,589	103,521	3,451	2,528,293	84,276
5	0	0	575,394	18,561	1,110,365	35,818	850,860	27,447	53,017	1,710	110,545	3,566	2,700,181	87,103
6	0	0	561,996	18,733	1,106,617	36,887	835,905	27,864	51,332	1,711	106,808	3,560	2,662,658	88,755
7	0	0	584,796	18,864	1,127,939	36,385	842,579	27,180	48,448	1,563	109,262	3,525	2,713,024	87,517
8	0	0	609,662	19,667	1,159,306	37,397	876,391	28,271	46,646	1,505	113,888	3,674	2,805,893	90,513
9	0	0	566,472	18,882	1,077,578	35,919	806,817	26,894	42,308	1,410	108,378	3,613	2,601,553	86,718
10	0	0	562,174	18,135	1,086,499	35,048	814,432	26,272	42,959	1,386	106,946	3,450	2,613,010	84,291
11	0	0	544,668	18,156	1,044,923	34,831	778,803	25,960	41,825	1,394	102,263	3,409	2,512,482	83,749
12	0	0	559,281	18,041	1,088,918	35,126	819,242	26,427	42,288	1,364	108,400	3,497	2,618,129	84,456
1	0	0	564,476	18,209	1,074,263	34,654	802,491	25,887	43,029	1,388	107,809	3,478	2,592,068	83,615
2	0	0	520,965	18,606	965,427	34,480	740,434	26,444	39,002	1,393	114,238	4,080	2,380,066	85,002
3	0	0	553,003	17,839	1,060,028	34,194	808,890	26,093	43,963	1,418	123,279	3,977	2,589,163	83,521
計	0	0	6,745,740		12,947,091		9,765,864		542,488		1,315,337		31,316,520	
平均	0	0	562,145	18,481	1,078,924	35,471	813,822	26,755	45,207	1,486	109,611	3,603	2,609,710	85,798
最大	0	0	8月 609,662	8月 19,667	8月 1,159,306	8月 37,397	8月 876,391	8月 28,271	5月 53,017	6月 1,711	3月 123,279	2月 4,080	8月 2,805,893	8月 90,513
最小	0	0	2月 520,965	3月 17,839	2月 965,427	3月 34,194	2月 740,434	1月 25,887	2月 39,002	12月 1,364	11月 102,263	11月 3,409	2月 2,380,066	3月 83,521
日最大			11月22日 21,746		8月8日 40,161		7月10日 29,926		6月4日 2,019		5月22日 4,676		8月8日 96,032	

(単位：m³)

区分 月別	福島市上水道 計		土湯簡易水道		高湯簡易水道		茂庭地区簡易水道		簡易水道計		合 計	
			鶯倉山水源地		神ノ森浄水場		茂庭焼松山浄水場					
	月 量	日平均	月 量	日平均	月 量	日平均	月 量	日平均	月 量	日平均	月 量	日平均
4	2,528,293	84,276	6,294	210	5,879	196	4,356	145	16,529	551	2,544,822	84,827
5	2,700,181	87,103	6,623	214	5,949	192	4,634	149	17,206	555	2,717,387	87,658
6	2,662,658	88,755	6,798	227	5,458	182	4,167	139	16,423	547	2,679,081	89,303
7	2,713,024	87,517	6,956	224	5,457	176	5,384	174	17,797	574	2,730,821	88,091
8	2,805,893	90,513	7,931	256	6,445	208	5,560	179	19,936	643	2,825,829	91,156
9	2,601,553	86,718	6,891	230	5,367	179	5,270	176	17,528	584	2,619,081	87,303
10	2,613,010	84,291	6,855	221	6,057	195	4,688	151	17,600	568	2,630,610	84,858
11	2,512,482	83,749	7,066	236	5,979	199	4,542	151	17,587	586	2,530,069	84,336
12	2,618,129	84,456	7,713	249	5,369	173	4,893	158	17,975	580	2,636,104	85,036
1	2,592,068	83,615	8,014	259	5,500	177	4,989	161	18,503	597	2,610,571	84,212
2	2,380,066	85,002	6,423	229	5,449	195	4,462	159	16,334	583	2,396,400	85,586
3	2,589,163	83,521	7,395	239	6,465	209	4,678	151	18,538	598	2,607,701	84,119
計	31,316,520		84,959		69,374		57,623		211,956		31,528,476	
平均	2,609,710	85,798	7,080	232	5,781	190	4,802	157	17,663	580	2,627,373	86,379
最大	8月 2,805,893	8月 90,513	1月 8,014	1月 259	3月 6,465	3月 209	8月 5,560	8月 179	8月 19,936	8月 643	8月 2,887,311	8月 93,139
最小	2月 2,380,066	3月 83,521	4月 6,294	4月 210	9月 5,367	12月 173	6月 4,167	6月 139	2月 16,334	6月 547	2月 2,396,400	3月 84,119
日最大	8月8日 96,032		8月16日 323		2月27日 390		9月14日 256		8月16日 795		8月8日 96,662	

(3) 電力消費量推移 (グラフ)



(単位：kWh)

年 度	21年	22年	23年	24年	25年
電力消費量	999,149	989,919	942,447	876,099	860,227

(4) 電力使用量及び本体料金

(単位：kWh、円)

区 分	施 設 名	館ノ前加圧ポンプ所		大波加圧ポンプ所		南向台加圧ポンプ所	
		電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金
平 成 25 年 度		366,271	5,598,595	175,684	3,072,595	145,546	2,481,019
平 成 24 年 度		394,242	5,230,001	144,964	2,349,197	151,003	2,270,547
増 △ 減		△27,971	368,594	30,720	723,398	△5,457	210,472
前 年 度 比 %		92.91	107.05	121.19	130.79	96.39	109.27

加圧ポンプ所(渡利系)		清 水 系 灌 漑		下川崎加圧ポンプ所		しのぶ台高架水槽	
電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金
26,639	750,290	30,598	556,096	9,640	173,654	0	3,444
26,304	695,337	34,999	558,322	8,064	135,805	0	3,444
335	54,953	△4,401	△2,226	1,576	37,849	0	0
101.27	107.90	87.43	99.60	119.54	127.87	-	100.00

朝日館配水池		金剛山配水池		屈坂加圧ポンプ所		神ノ森浄水場	
電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金
111	8,821	10,759	253,892	12,848	296,551	361	18,027
94	8,357	16,956	309,789	13,903	285,384	380	17,613
17	464	△6,197	△55,897	△1,055	11,167	△19	414
118.09	105.55	63.45	81.96	92.41	103.91	95.00	102.35

安養寺加圧ポンプ所		南 部 受 水 池		蓬萊高架水槽		桜台高架水槽	
電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金	電 力 量	電 気 料 金
6,832	134,686	436	84,715	0	3,444	0	3,444
6,014	111,529	410	83,551	0	3,444	0	3,444
818	23,157	26	1,164	0	0	0	0
113.60	120.76	106.34	101.39	-	100.00	-	100.00

浅川配水池		館ノ山配水池		北部配水池		上名倉配水池	
電力量	電気料金	電力量	電気料金	電力量	電気料金	電力量	電気料金
315	17,476	2,679	50,732	120	8,826	459	19,347
310	16,799	2,418	42,373	1,794	34,583	395	17,789
5	677	261	8,359	△1,674	△25,757	64	1,558
101.61	104.03	110.79	119.73	6.69	25.52	116.20	108.76

山神配水池		中央部受水池		弁天山配水池		大平山配水池	
電力量	電気料金	電力量	電気料金	電力量	電気料金	電力量	電気料金
453	13,261	33,754	934,143	2,945	69,758	43	8,679
6,543	91,391	29,285	810,345	2,951	64,298	0	6,900
△6,090	△78,130	4,469	123,798	△6	5,460	43	1,779
6.92	14.51	115.26	115.28	99.80	108.49	-	125.78

清水町配水池		堰坂加圧ポンプ所		飯野第2加圧ポンプ所		飯野受水池	
電力量	電気料金	電力量	電気料金	電力量	電気料金	電力量	電気料金
99	97,969	11,711	281,092	3,520	311,475	8,134	204,815
98	97,762	11,645	257,412	4,471	315,610	7,929	186,577
1	207	66	23,680	△951	△4,135	205	18,238
101.02	100.21	100.57	109.20	78.73	98.69	102.59	109.78

鳥川配水池		清水原加圧ポンプ所		合 計	
電力量	電気料金	電力量	電気料金	電力量	電気料金
709	16,417	9,561	224,766	860,227	15,698,029
750	15,506	10,177	214,023	876,099	14,237,132
△41	911	△616	10,743	△15,872	1,460,897
94.53	105.88	93.95	105.02	98.19	110.26

(5) 電力使用量及び電気料金（動力費）

	電 力 量	電 気 料 金		
	[kWh]	税抜料金 [円]	消費税 [円]	税込料金 [円]
館ノ前加圧ポンプ所	366,271	5,598,595	279,922	5,878,517
大波加圧ポンプ所	175,684	3,072,595	153,623	3,226,218
南向台加圧ポンプ所	145,546	2,481,019	124,046	2,605,065
加圧ポンプ所（渡利系）	26,639	750,290	37,496	787,786
清水灌漑1・2・3号	30,598	556,096	27,787	583,883
桜台高架水槽	0	3,444	168	3,612
蓬萊高架水槽	0	3,444	168	3,612
南部受水池	436	84,715	4,231	88,946
金剛山配水池	10,759	253,892	12,688	266,580
神ノ森浄水場	361	18,027	896	18,923
屈坂加圧ポンプ所	12,848	296,551	14,821	311,372
しのぶ台高架水槽	0	3,444	168	3,612
朝日館配水池	111	8,821	435	9,256
下川崎加圧ポンプ所	9,640	173,654	8,676	182,330
安養寺加圧ポンプ所	6,832	134,686	6,729	141,415
中央部受水池	33,754	934,143	46,701	980,844
北部配水池	120	8,826	433	9,259
館ノ山配水池	2,679	50,732	2,531	53,263
浅川配水池	315	17,476	868	18,344
上名倉配水池	459	19,347	961	20,308
山神配水池	453	13,261	655	13,916
弁天山配水池	2,945	69,758	3,483	73,241
大平山配水池	43	8,679	425	9,104
清水町配水池	99	97,969	4,892	102,861
堰坂加圧ポンプ所	11,711	281,092	14,049	295,141
飯野第2加圧ポンプ所	3,520	311,475	15,567	327,042
飯野受水池	8,134	204,815	10,237	215,052
鳥川配水池	709	16,417	815	17,232
清水原加圧ポンプ所	9,561	224,766	11,231	235,997
計	860,227	15,698,029	784,702	16,482,731

(6) 水質検査成績

平成25年度の水質検査は、『福島市水道局 平成25年度 水質検査計画』に基づき実施しました。この年報では、水質基準項目の検査結果について掲載しています。

『福島市水道局 平成25年度 水質検査計画』の概要

基本方針

- (1) 検査項目は、水道法で定められている「毎日検査」、「水質基準項目」、水質管理上留意すべき項目として設定されている「水質管理目標設定項目」とします。また、水道局独自の検査項目として水源の水質調査等を実施します。
- (2) 検査地点については、水道法で検査が義務付けられている給水栓（蛇口）や各水源とします。
- (3) 検査頻度については、法令に基づき実施します。

原水及び水道水の水質状況

事業名	上水道事業	簡易水道事業			
		土湯簡易水道		高湯簡易水道	茂庭地区簡易水道
浄水施設名	すりかみ浄水場 (浄水受水)	鶯倉山水源地	屈坂水源地	神ノ森浄水場	茂庭焼松山浄水場
水源	貯留水 (摺上川ダム)	湧水	湧水	表流水 (とく沢)	表流水 (布入川)
原水の汚染の恐れがある要因	水道水源保護条例により水質が保全され、人為的な汚染の可能性は低い。	周辺環境からみて人為的な汚染の可能性は低い。	周辺環境からみて人為的な汚染の可能性は低い。	降雨等による濁水と落葉。	降雨等による濁水と落葉。
水質管理上注目すべき項目	塩素酸、ジクロロ酢酸、pH値、2-メチルイソボルネオール、ジェオスミン、総トリハロメタン、放射性セシウム*	塩素酸、pH値、濁度、放射性セシウム*	塩素酸、pH値、濁度	塩素酸、濁度、色度、放射性セシウム*	塩素酸、総トリハロメタン、濁度、色度、放射性セシウム*
備考	福島地方水道用水供給企業団(すりかみ浄水場)から浄水受水		休止中		

本市の水道水は、各浄水施設で適切に原水を処理したものであり、これまでの検査結果から見ても水質基準を満たしている。

※放射性セシウムの試験は、福島県水道水モニタリング計画に基づき、国と県により実施されています。

- 検査地点**
- ・各簡易水道の水源5箇所
 - ・各簡易水道の原水3箇所
 - ・各配水池系23箇所の給水栓（蛇口）

- 検査項目と頻度**
- ・毎日検査（色、濁り、消毒の残留効果）…1日1回以上
 - ・水質基準項目…1ヶ月に1回以上
 - ・水質管理目標設定項目（水質基準項目に準ずる項目）…年2回以上
 - ・独自検査項目…水源水質検査：年1回

クリプトスポリジウム試験等：随時

水質検査体制 福島地方水道用水供給企業団との『共同水質検査体制』により、主な水質検査業務を企業団へ委託して実施します。クリプトスポリジウム等の検査を実施する場合は、水道法第20条第3項による厚生労働大臣の登録を受けた水質検査機関へ委託して実施します。また、末端給水栓における毎日検査は各配水池系の市民の方々へ委託しています。

検査地点一覧表

上水道

番号	水系名	検査地点	配水系統
1	企業団受水	野田町地内 給水栓	弁天山配水池系
2		山口地内 給水栓	大平山配水池系
3		岡島地内 給水栓	茶臼森配水池系
4		御山地内 給水栓	山神配水池系
5		渡利中山地内 給水栓	南向台配水池/絵馬平配水槽系
6		岡部地内 給水栓	北部配水池系
7		東湯野地内 給水栓	館ノ山配水池系
8		中野地内 給水栓	北部直送/栃窪配水池系
9		上鳥渡地内 給水栓	中央部受水池系
10		大笹生地内 給水栓	富山配水池系
11		水原地内 給水栓	南部受水池系
12		下川崎地内 給水栓	浅川/下川崎配水池系
13		郷野目地内 給水栓	清水町配水池系
14		大笹生地内 給水栓	上名倉配水池系
15		荒井地内 給水栓	金剛山/地藏原配水池系
16		平石地内 給水栓	朝日館配水池系
17		永井川地内 給水栓	鳥川配水池系
18		大波地内 給水栓	大波配水池系
19		飯野西宮平地内 給水栓	飯野受水池系
20		飯野明治地内 給水栓	飯野第3配水池系
水源-1	横塚水源	横塚水源地 湧水井 原水	休止中

簡易水道

番号	水系名	検査地点	配水系統
水源-2	鷺倉山水系	鷺倉山水源地 第一湧水井	
水源-3		鷺倉山水源地 第二湧水井	
原水-1		油畑配水池 着水井	
21		土湯地内 給水栓	油畑/屈坂配水池系
水源-4	屈坂水系	屈坂水源地 湧水井	休止中
水源-5	神ノ森水系	神ノ森水源地 取水口 (とく沢)	
原水-2		神ノ森浄水場 着水井	浄水場入口
22		高湯地内 給水栓	神ノ森浄水場配水池系
水源-6	茂庭水系	草蒔沢水源地 取水口 (布入川)	
原水-3		茂庭焼松山浄水場 着水井	浄水場入口
23		茂庭地内 給水栓	松森沢/小芦平配水池系

* “水源-1, 4”は、年4回検査を実施し、“水源-2, 3, 5, 6”は、年1回検査を実施。

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道			
		企業団受水: 弁天山配水池系			企業団受水: 大平山配水池系			
		給水栓(野田町)			給水栓(山口)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	°C	35.5	4.9	19.6	35.5	2.5	18.0
2	水温	°C	21.0	4.1	12.7	20.0	3.2	13.0
3	残留塩素	mg/L	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
4	一般細菌	個/mL	0	0	0	0	0	0
5	大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14	フッ素及びその化合物	mg/L	0.07	0.05	0.06	0.07	0.05	0.06
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24	クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	0.0093	0.0055	0.0076	0.0116	0.0061	0.0083
26	ジクロロ酢酸	mg/L	0.004	0.003	0.003	0.005	0.003	0.004
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0016	0.0009	0.0011	0.0014	0.0009	0.0011
28	臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	0.0150	0.0096	0.0126	0.0164	0.0106	0.0132
30	トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0048	0.0031	0.0038	0.0043	0.0034	0.0038
32	ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.010	<0.01	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	0.02	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.3	4.6	4.9	5.3	4.8	5.0
39	マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	7.3	6.1	6.7	7.3	6.1	6.7
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	19	16	18	19	17	18
42	蒸発残留物	mg/L	47	43	45	50	45	47
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.50	0.30	0.40	0.50	0.30	0.38
49	pH値	—	7.2	7.0	7.1	7.3	7.1	7.2
50	味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52	色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53	濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	µ s/cm	70	60	64	70	61	65
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道			
		企業団受水:茶臼森配水池系			企業団受水:山神配水池系			
		給水栓(岡島)			給水栓(御山)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	°C	35.0	3.6	19.1	33.0	4.0	18.5
2	水温	°C	25.2	4.0	14.9	21.8	4.2	13.4
3	残留塩素	mg/L	0.4	0.2	0.3	0.4	0.3	0.4
4	一般細菌	個/mL	0	0	0	0	0	0
5	大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14	フッ素及びその化合物	mg/L	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06	0.07
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24	クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	0.0138	0.0062	0.0100	0.0093	0.0059	0.0082
26	ジクロロ酢酸	mg/L	0.004	<0.002	0.002	0.003	0.002	0.003
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0016	0.0010	0.0013	0.0016	0.0009	0.0012
28	臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	0.0195	0.0107	0.0158	0.0155	0.0103	0.0134
30	トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0054	0.0034	0.0046	0.0049	0.0033	0.0040
32	ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	0.010	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	0.02	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.3	4.8	5.0	5.2	4.6	4.9
39	マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	7.4	6.2	6.8	7.3	6.1	6.8
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	19	16	18	19	17	18
42	蒸発残留物	mg/L	48	46	47	50	45	47
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.50	0.30	0.37	0.50	0.30	0.40
49	pH値	—	7.2	7.1	7.1	7.4	7.1	7.2
50	味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52	色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53	濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	µ s/cm	70	60	65	70	61	66
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道		
		企業団受水:南向台配水池/絵馬平配水槽系 給水栓(渡利中山)			企業団受水:北部配水池系 給水栓(岡部高畑)		
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値
1 気温	°C	31.0	1.5	15.6	31.2	3.2	18.5
2 水温	°C	24.5	6.0	15.4	25.8	4.6	13.8
3 残留塩素	mg/L	0.4	0.2	0.3	0.5	0.4	0.4
4 一般細菌	個/mL	1	0	0	0	0	0
5 大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6 カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7 水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8 セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9 鉛及びその化合物	mg/L	0.003	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001
10 ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11 六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12 シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14 フッ素及びその化合物	mg/L	0.08	0.06	0.07	0.06	0.06	0.06
15 ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16 四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17 1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19 ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20 テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21 トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22 ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23 塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24 クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25 クロロホルム	mg/L	0.0149	0.0083	0.0122	0.0094	0.0069	0.0078
26 ジクロロ酢酸	mg/L	0.004	<0.002	<0.002	0.005	0.003	0.004
27 ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0016	0.0009	0.0013	0.0013	0.0008	0.0011
28 臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29 総トリハロメタン	mg/L	0.0220	0.0136	0.0183	0.0139	0.0112	0.0126
30 トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31 ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0056	0.0041	0.0048	0.0040	0.0034	0.0037
32 ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33 ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34 亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35 アルミニウム及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
36 鉄及びその化合物	mg/L	0.02	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
37 銅及びその化合物	mg/L	0.02	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38 ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.5	4.8	5.1	5.2	4.7	5.0
39 マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40 塩化物イオン	mg/L	7.2	6.0	6.7	7.3	6.2	6.7
41 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	21	18	20	19	17	18
42 蒸発残留物	mg/L	51	45	48	52	46	49
43 陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44 ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45 2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46 非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47 フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.50	0.30	0.43	0.50	0.30	0.40
49 pH値	—	7.6	7.2	7.4	7.3	7.1	7.2
50 味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51 臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52 色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53 濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54 電気伝導率	µ s/cm	75	63	68	70	61	66
55 嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道			
		企業団受水: 館ノ山配水池系			企業団受水: 北部直送/ 栃窪配水池系			
		給水栓(東湯野)			給水栓(中野)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	℃	31.5	3.0	19.3	30.9	-1.7	18.2
2	水温	℃	25.0	5.0	15.8	26.0	2.1	14.9
3	残留塩素	mg/L	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4
4	一般細菌	個/mL	1	0	0	1	0	0
5	大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14	フッ素及びその化合物	mg/L	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24	クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	0.0124	0.0059	0.0088	0.0114	0.0059	0.0089
26	ジクロロ酢酸	mg/L	0.004	<0.002	0.003	0.004	<0.002	0.003
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0014	0.0010	0.0011	0.0015	0.0010	0.0012
28	臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	0.0178	0.0101	0.0139	0.0166	0.0104	0.0144
30	トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0044	0.0032	0.0040	0.0049	0.0034	0.0043
32	ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.020	<0.01	0.010
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.3	4.8	5.0	5.3	4.7	5.0
39	マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	7.3	6.1	6.6	7.3	6.1	6.6
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	19	17	19	19	16	18
42	蒸発残留物	mg/L	53	44	49	50	43	47
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.50	0.30	0.43	0.50	0.30	0.41
49	pH値	—	7.3	7.1	7.2	7.3	7.1	7.2
50	味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52	色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53	濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	μ s/cm	71	62	66	70	60	65
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道			
		企業団受水:中央部受水池系			企業団受水:富山配水池系			
		給水栓(上鳥渡)			給水栓(大笹生)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	°C	36.5	4.0	18.2	33.0	3.5	19.1
2	水温	°C	22.5	3.5	12.3	28.2	4.1	16.2
3	残留塩素	mg/L	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2	0.3
4	一般細菌	個/mL	0	0	0	0	0	0
5	大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14	フッ素及びその化合物	mg/L	0.08	0.06	0.07	0.06	0.05	0.06
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24	クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	0.0074	0.0058	0.0065	0.0127	0.0081	0.0113
26	ジクロロ酢酸	mg/L	0.004	0.003	0.003	0.004	<0.002	0.003
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0011	0.0007	0.0010	0.0017	0.0010	0.0014
28	臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	0.0113	0.0101	0.0107	0.0194	0.0136	0.0175
30	トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0033	0.0032	0.0033	0.0055	0.0042	0.0049
32	ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.5	4.5	5.0	5.3	4.7	5.0
39	マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	7.5	6.2	6.7	7.4	6.1	6.7
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	20	15	18	20	17	19
42	蒸発残留物	mg/L	52	42	47	51	47	49
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.50	0.30	0.42	0.50	0.30	0.39
49	pH値	—	7.3	7.0	7.2	7.5	7.2	7.3
50	味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52	色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53	濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	µ s/cm	72	59	65	70	61	66
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道			
		企業団受水:南部受水池系			企業団受水:浅川/下川崎配水池系			
		給水栓(松川町水原)			給水栓(下川崎)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	℃	33.0	2.0	17.3	35.5	4.5	18.5
2	水温	℃	25.0	3.8	14.4	25.2	5.1	15.3
3	残留塩素	mg/L	0.4	0.2	0.4	0.5	0.2	0.3
4	一般細菌	個/mL	1	0	0	0	0	0
5	大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14	フッ素及びその化合物	mg/L	0.08	0.06	0.07	0.08	0.06	0.07
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24	クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	0.0093	0.0063	0.0083	0.0162	0.0092	0.0130
26	ジクロロ酢酸	mg/L	0.003	<0.002	0.002	0.004	<0.002	0.002
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0015	0.0008	0.0012	0.0018	0.0009	0.0014
28	臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	0.0149	0.0107	0.0135	0.0236	0.0150	0.0195
30	トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0048	0.0033	0.0040	0.0059	0.0041	0.0051
32	ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	0.02	<0.01	0.02	0.02	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.5	4.7	5.1	5.6	4.7	5.1
39	マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	7.4	6.0	6.7	7.5	6.2	6.8
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	20	17	19	22	17	20
42	蒸発残留物	mg/L	54	43	48	57	46	50
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.50	0.30	0.40	0.50	0.30	0.42
49	pH値	—	7.3	7.1	7.2	7.6	7.4	7.5
50	味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52	色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53	濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	μs/cm	72	61	65	76	64	68
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道			
		企業団受水:清水町配水池系			企業団受水:上名倉配水池系			
		給水栓(郷野目)			給水栓(大笹生)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	℃	34.9	4.0	21.0	34.0	5.0	20.7
2	水温	℃	24.0	8.0	15.7	23.9	5.1	15.1
3	残留塩素	mg/L	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4
4	一般細菌	個/mL	1	0	0	0	0	0
5	大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	0.002	<0.001	0.001	0.001	<0.001	<0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14	フッ素及びその化合物	mg/L	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06	0.06
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24	クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	0.0089	0.0054	0.0076	0.0133	0.0072	0.0099
26	ジクロロ酢酸	mg/L	0.003	0.003	0.003	0.004	<0.002	0.002
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0015	0.0008	0.0011	0.0016	0.0011	0.0013
28	臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	0.0149	0.0094	0.0125	0.0192	0.0122	0.0156
30	トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0047	0.0030	0.0038	0.0051	0.0038	0.0045
32	ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	4.8	4.6	4.8	5.3	4.8	5.0
39	マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	7.3	6.1	6.7	7.4	6.1	6.7
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	19	16	17	19	18	19
42	蒸発残留物	mg/L	47	45	46	49	47	48
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.50	0.30	0.41	0.50	0.30	0.38
49	pH値	—	7.3	7.1	7.2	7.5	7.1	7.2
50	味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52	色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53	濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	μ s/cm	70	60	65	70	61	65
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道		
		企業団受水: 金剛山/地蔵原配水池系			企業団受水: 朝日館配水池系		
		給水栓(荒井)			給水栓(平石)		
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値
1 気温	°C	33.8	1.7	15.8	37.0	2.5	18.4
2 水温	°C	23.2	4.0	13.7	29.8	4.0	16.2
3 残留塩素	mg/L	0.4	0.2	0.3	0.4	0.3	0.4
4 一般細菌	個/mL	0	0	0	0	0	0
5 大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6 カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7 水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8 セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9 鉛及びその化合物	mg/L	0.002	<0.001	0.001	0.002	<0.001	<0.001
10 ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11 六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12 シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14 フッ素及びその化合物	mg/L	0.08	0.05	0.07	0.08	0.05	0.07
15 ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16 四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17 1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19 ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20 テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21 トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22 ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23 塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24 クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25 クロロホルム	mg/L	0.0131	0.0092	0.0107	0.0095	0.0082	0.0091
26 ジクロロ酢酸	mg/L	0.004	<0.002	<0.002	0.003	0.002	0.003
27 ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0015	0.0011	0.0013	0.0015	0.0010	0.0012
28 臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29 総トリハロメタン	mg/L	0.0187	0.0152	0.0166	0.0159	0.0137	0.0147
30 トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31 ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0049	0.0045	0.0046	0.0049	0.0040	0.0044
32 ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33 ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34 亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35 アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
36 鉄及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
37 銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38 ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.6	4.9	5.2	5.6	4.8	5.1
39 マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40 塩化物イオン	mg/L	7.5	6.1	6.7	7.6	6.3	6.7
41 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	22	18	20	21	16	19
42 蒸発残留物	mg/L	51	47	49	52	45	49
43 陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44 ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45 2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46 非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47 フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.50	0.30	0.41	0.50	0.30	0.39
49 pH値	—	7.5	7.2	7.4	7.3	7.1	7.2
50 味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51 臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52 色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53 濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54 電気伝導率	µ s/cm	75	63	68	72	61	66
55 嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道			
		企業団受水:鳥川配水池系			企業団受水:大波配水池系			
		給水栓(永井川)			給水栓(大波)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	℃	35.0	4.0	20.2	35.0	5.0	19.6
2	水温	℃	21.0	4.6	13.4	24.3	6.5	15.5
3	残留塩素	mg/L	0.5	0.3	0.4	0.4	0.2	0.3
4	一般細菌	個/mL	1	0	0	1	0	0
5	大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14	フッ素及びその化合物	mg/L	0.07	0.05	0.06	0.07	0.06	0.06
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24	クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	0.0083	0.0051	0.0069	0.0143	0.0089	0.0126
26	ジクロロ酢酸	mg/L	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0013	0.0008	0.0010	0.0020	0.0011	0.0015
28	臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	0.0128	0.0091	0.0114	0.0218	0.0151	0.0196
30	トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0041	0.0030	0.0035	0.0065	0.0047	0.0055
32	ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.02	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.3	4.6	4.9	5.3	4.5	4.9
39	マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	7.3	6.1	6.7	7.5	6.2	6.9
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	19	16	18	20	17	19
42	蒸発残留物	mg/L	48	44	46	51	48	50
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.60	0.30	0.40	0.50	0.30	0.38
49	pH値	—	7.2	7.0	7.1	8.2	7.4	7.8
50	味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52	色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53	濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	μ s/cm	70	59	64	72	65	69
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			福島上水道			
		企業団受水:飯野受水池系			企業団受水:飯野第三配水池系			
		給水栓(西宮平)			給水栓(明治)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	°C	30.0	2.0	16.1	30.2	1.0	15.5
2	水温	°C	24.5	3.7	14.4	22.0	5.2	14.0
3	残留塩素	mg/L	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4
4	一般細菌	個/mL	1	0	0	0	0	0
5	大腸菌	—	—	—	0/12	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
14	フッ素及びその化合物	mg/L	0.08	0.06	0.07	0.08	0.06	0.07
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
24	クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	0.0100	0.0076	0.0093	0.0134	0.0080	0.0111
26	ジクロロ酢酸	mg/L	0.004	0.003	0.003	0.004	<0.002	0.002
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.0017	0.0009	0.0013	0.0017	0.0009	0.0013
28	臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	0.0166	0.0129	0.0150	0.0200	0.0134	0.0171
30	トリクロロ酢酸	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.0053	0.0039	0.0045	0.0054	0.0040	0.0047
32	ブロモホルム	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.01	0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.6	4.8	5.1	5.6	4.8	5.1
39	マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	7.5	6.1	6.8	7.4	6.2	6.7
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	21	17	19	22	18	20
42	蒸発残留物	mg/L	50	46	49	54	46	51
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.50	0.30	0.41	0.50	0.30	0.41
49	pH値	—	7.4	7.2	7.3	7.7	7.4	7.5
50	味	—	—	—	0/12	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	0/12	—	—	0/12
52	色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53	濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	µ s/cm	74	62	67	76	63	68
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	—	—	—	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記

検査項目	区分	福島上水道			土湯簡易水道			
		横塚水源(休止中)			屈坂水源(休止中)			
		湧水井(原水)			湧水井(原水)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	°C	24.5	0.0	15.3	24.4	-2.5	14.6
2	水温	°C	15.5	11.1	13.6	16.8	3.5	11.9
3	残留塩素	mg/L	—	—	—	—	—	—
4	一般細菌	個/mL	53	5	32	1,500	1	715
5	大腸菌	MPN/100mL	0	0	0	5	0	2
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	—	—	<0.00005	—	—	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	—	—	<0.005	—	—	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	—	—	<0.1	—	—	0.3
14	フッ素及びその化合物	mg/L	—	—	<0.05	—	—	<0.05
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	—	—	<0.01	—	—	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	<0.005	—	—	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	—	—	<0.0002	—	—	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	—	—	—	—	—	—
24	クロロ酢酸	mg/L	—	—	—	—	—	—
25	クロロホルム	mg/L	—	—	—	—	—	—
26	ジクロロ酢酸	mg/L	—	—	—	—	—	—
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—
28	臭素酸	mg/L	—	—	—	—	—	—
29	総トリハロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—
30	トリクロロ酢酸	mg/L	—	—	—	—	—	—
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—
32	ブロモホルム	mg/L	—	—	—	—	—	—
33	ホルムアルデヒド	mg/L	—	—	—	—	—	—
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	—	—	<0.01	—	—	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	—	—	0.02	—	—	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	—	—	<0.01	—	—	0.06
37	銅及びその化合物	mg/L	—	—	<0.01	—	—	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	—	—	3.1	—	—	4.2
39	マンガン及びその化合物	mg/L	—	—	<0.001	—	—	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	1.6	1.4	1.5	2.8	2.5	2.6
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	—	—	21	—	—	43
42	蒸発残留物	mg/L	—	—	61	—	—	93
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	—	—	<0.02	—	—	<0.02
44	ジェオスミン	mg/L	—	—	<0.000001	—	—	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	—	—	<0.000001	—	—	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	—	—	<0.005	—	—	<0.005
47	フェノール類	mg/L	—	—	<0.0005	—	—	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	0.40	<0.3	<0.3
49	pH値	—	8.0	7.7	7.9	8.0	7.4	7.6
50	味	—	—	—	—	—	—	—
51	臭気	—	—	—	0/4	—	—	4/4
52	色度	度	<1	<1	<1	4	<1	1
53	濁度	度	0.3	0.2	0.3	1.7	0	0.9
54	電気伝導率	μ s/cm	—	—	—	—	—	—
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	0	0	0	0	0	0

注) 51.味・・・原水では実施しない。

52.臭気・・・原水は、検出回数/実施回数で表記。

検査項目	区分	土 湯 簡 易 水 道			土 湯 簡 易 水 道		
		鷺倉山水源			鷺倉山水源:油畑/屈坂配水池系		
		油畑配水池着水井(原水)			給水栓(土湯)		
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値
1 気 温	°C	31.8	-3.0	13.7	29.2	-1.3	14.2
2 水 温	°C	12.0	8.0	10.5	19.0	3.0	11.6
3 残 留 塩 素	mg/L	—	—	—	0.6	0.4	0.5
4 一般細菌	個/mL	10	0	3	1	0	0
5 大腸菌	—	0	0	0	—	—	0/12
6 カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7 水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8 セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9 鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.003	<0.001	0.002
10 ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11 六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12 シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
14 フッ素及びその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
15 ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16 四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17 1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18 シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19 ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20 テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21 トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22 ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23 塩素酸	mg/L	—	—	—	0.22	<0.06	0.08
24 クロロ酢酸	mg/L	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
25 クロロホルム	mg/L	—	—	—	0.0006	0.0003	0.0004
26 ジクロロ酢酸	mg/L	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
27 ジブロモクロロメタン	mg/L	—	—	—	0.0003	<0.0002	<0.0002
28 臭素酸	mg/L	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
29 総トリハロメタン	mg/L	—	—	—	0.0013	0.0003	0.0006
30 トリクロロ酢酸	mg/L	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
31 ブロモジクロロメタン	mg/L	—	—	—	0.0004	<0.0002	<0.0002
32 ブロモホルム	mg/L	—	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33 ホルムアルデヒド	mg/L	—	—	—	<0.008	<0.008	<0.008
34 亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.010	<0.01	<0.01
35 アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
36 鉄及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
37 銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
38 ナトリウム及びその化合物	mg/L	2.9	2.7	2.8	3.2	3.1	3.2
39 マンガン及びその化合物	mg/L	0.0	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40 塩化物イオン	mg/L	1.4	1.3	1.3	1.8	1.5	1.6
41 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	23	22	23	23	22	23
42 蒸発残留物	mg/L	63	58	61	67	60	64
43 陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44 ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45 2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46 非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47 フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3
49 pH値	—	7.2	7.0	7.1	7.4	7.1	7.2
50 味	—	—	—	—	—	—	0/12
51 臭気	—	—	—	1/12	—	—	0/12
52 色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53 濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54 電気伝導率	µ s/cm	—	—	—	63	57	61
55 嫌気性芽胞菌	個/100mL	0	0	0	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記。原水は、最確数(MPN/100mL)で表記。

51.味・・・原水では実施しない。

52.臭気・・・原水は、検出回数/実施回数で表記。

検査項目	区分	高湯簡易水道			高湯簡易水道			
		神ノ森水源			神ノ森水源:神ノ森浄水場配水池系			
		神ノ森浄水場着水井(原水)			給水栓(高湯)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	℃	28.0	-4.5	15.2	29.0	-4.0	13.3
2	水温	℃	14.9	2.5	8.7	16.0	2.0	9.4
3	残留塩素	mg/L	—	—	—	1	0	0
4	一般細菌	個/mL	74	2	18	3	0	0
5	大腸菌	—	5	0	1	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	0.001
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1	0.1
14	フッ素及びその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	—	—	—	0.47	<0.06	0.12
24	クロロ酢酸	mg/L	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	—	—	—	0.0057	0.0021	0.0042
26	ジクロロ酢酸	mg/L	—	—	—	0.004	<0.002	0.003
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	—	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002
28	臭素酸	mg/L	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	—	—	—	0.0067	0.0026	0.0049
30	トリクロロ酢酸	mg/L	—	—	—	<0.01	<0.01	<0.01
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	—	—	—	0.0010	0.0005	0.0008
32	ブロモホルム	mg/L	—	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	—	—	—	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.04	0.01	0.02	0.03	<0.01	0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	0.04	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	2.8	2.7	2.8	3.2	3.0	3.1
39	マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	1.3	1.2	1.2	2.4	1.4	1.7
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	20	20	20	21	20	21
42	蒸発残留物	mg/L	102	93	98	99	93	96
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000002	<0.000002	<0.000002	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3
49	pH値	—	7.5	7.3	7.4	7.5	7.3	7.4
50	味	—	—	—	—	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	1/12	—	—	0/12
52	色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1
53	濁度	度	0.2	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	µ s/cm	—	—	—	66	58	62
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	0	0	0	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記。原水は、最確数(MPN/100mL)で表記。

51.味・・・原水では実施しない。

52.臭気・・・原水は、検出回数/実施回数で表記。

検査項目	区分	茂庭地区簡易水道			茂庭地区簡易水道			
		草蔭沢水源			草蔭沢水源:松森沢/小芦平配水池系			
		茂庭焼松山浄水場着水井(原水)			給水栓(茂庭)			
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	
1	気温	℃	31.0	2.0	19.8	33.7	1.5	19.6
2	水温	℃	19.1	2.0	11.8	23.0	3.0	13.4
3	残留塩素	mg/L	—	—	—	1	0	0
4	一般細菌	個/mL	560	3	82	3	0	0
5	大腸菌	—	140	0	26	—	—	0/12
6	カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
7	水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
8	セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
9	鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.01	<0.01
10	ヒ素及びその化合物	mg/L	0.002	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002
11	六価クロム化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
12	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
13	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3
14	フッ素及びその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	0.07	<0.05	<0.05
15	ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
16	四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
17	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
18	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
19	ジクロロメタン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
20	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
21	トリクロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
22	ベンゼン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
23	塩素酸	mg/L	—	—	—	0.36	<0.06	0.13
24	クロロ酢酸	mg/L	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
25	クロロホルム	mg/L	—	—	—	0.0498	0.0231	0.0334
26	ジクロロ酢酸	mg/L	—	—	—	0.011	0.005	0.009
27	ジブロモクロロメタン	mg/L	—	—	—	0.0007	0.0002	0.0004
28	臭素酸	mg/L	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
29	総トリハロメタン	mg/L	—	—	—	0.0558	0.0271	0.0389
30	トリクロロ酢酸	mg/L	—	—	—	0.0400	0.0200	0.0250
31	ブロモジクロロメタン	mg/L	—	—	—	0.0065	0.0037	0.0052
32	ブロモホルム	mg/L	—	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002
33	ホルムアルデヒド	mg/L	—	—	—	<0.008	<0.008	<0.008
34	亜鉛及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
35	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.05	<0.01	0.02	0.01	<0.01	<0.01
36	鉄及びその化合物	mg/L	0.09	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.01
37	銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
38	ナトリウム及びその化合物	mg/L	6.0	4.6	5.3	6.9	4.9	5.8
39	マンガン及びその化合物	mg/L	0.006	<0.001	0.003	<0.001	<0.001	<0.001
40	塩化物イオン	mg/L	4.3	3.4	3.9	5.1	1.6	4.4
41	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	48	34	41	47	33	40
42	蒸発残留物	mg/L	94	71	83	88	72	80
43	陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
44	ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
45	2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
46	非イオン界面活性剤	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
47	フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
48	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	1.7	0.7	1.0	1.4	0.5	0.8
49	pH値	—	7.6	7.4	7.5	7.7	7.4	7.5
50	味	—	—	—	—	—	—	0/12
51	臭気	—	—	—	1/12	—	—	0/12
52	色度	度	6	2	4	1	<1	<1
53	濁度	度	5.3	0.2	1.3	<0.1	<0.1	<0.1
54	電気伝導率	µ s/cm	—	—	—	130	63	100
55	嫌気性芽胞菌	個/100mL	6	0	1	—	—	—

注) 5.大腸菌・・・検出回数/実施回数で表記。原水は、最確数(MPN/100mL)で表記。

51.味・・・原水では実施しない。

52.臭気・・・原水は、検出回数/実施回数で表記。

基準項目（水源別）

水源・採水箇所			鷺倉山水源地 第1湧水井	鷺倉山水源地 第2湧水井	神ノ森水源地 取水口	草蒔沢水源地 取水口
検査項目 / 平成25年度 採水年月日			10月1日	10月1日	10月8日	10月2日
天候（前日/当日）			晴/曇	晴/曇	晴/晴	晴/雨
気温	°C		21.0	21.5	20.9	22.0
水温	°C		12.0	14.0	11.9	17.0
1	一般細菌	個/mL	0	4	8	230
2	大腸菌(最確数)	MPN/100mL	0	0	0	49
3	カドミウム及びその化合物	mg/L	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003
4	水銀及びその化合物	mg/L	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005
5	セレン及びその化合物	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
6	鉛及びその化合物	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
7	ヒ素及びその化合物	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.002
8	六価クロム化合物	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
9	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
10	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.2	0.2	< 0.1	0.2
11	フッ素及びその化合物	mg/L	< 0.05	< 0.05	0.05	0.05
12	ホウ素及びその化合物	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
13	四塩化炭素	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
14	1,4-ジオキサン	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
15	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
16	ジクロロメタン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
17	テトラクロロエチレン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
18	トリクロロエチレン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
19	ベンゼン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
31	亜鉛及びその化合物	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
32	アルミニウム及びその化合物	mg/L	< 0.01	< 0.01	0.01	< 0.01
33	鉄及びその化合物	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
34	銅及びその化合物	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
35	ナトリウム及びその化合物	mg/L	2.9	2.9	2.8	5.8
36	マンガン及びその化合物	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
37	塩化物イオン	mg/L	1.3	1.3	1.2	3.9
38	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	23	24	20	43
39	蒸発残留物	mg/L	60	62	97	88
40	陰イオン界面活性剤	mg/L	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
41	ジェオスミン	mg/L	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001
42	2-メチルイソボルネオール	mg/L	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001
43	非イオン界面活性剤	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
44	フェノール類	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
45	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	< 0.3	< 0.3	< 0.3	0.8
46	pH値	—	7.0	7.0	7.6	7.5
48	臭気	—	異常なし	藁臭	藁臭	異常なし
49	色度	度	< 1	< 1	< 1	2
50	濁度	度	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.3
独自検査項目	嫌気性芽胞菌	個/100mL	0	0	0	1
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	< 0.2	< 0.2	0.3	0.5
	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	< 0.5	< 0.5	0.9	1.7
	総窒素	mg/L	0.1	0.2	< 0.1	0.5
	総リン	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
	浮遊物質(SS)	mg/L	< 1	< 1	< 1	< 1
	アンモニア態窒素	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01

(7) 月別浄水薬品使用量

次亜塩素酸ナトリウム

(単位：kg)

区分 月別	南部受水池 (12%溶液)		中央部受水池 (12%溶液)		北部配水池 (12%溶液)		飯野受水池 (12%溶液)		土湯地区 (簡易水道) (12%溶液)		高湯地区 (簡易水道) (12%溶液)		茂庭地区 (簡易水道) (12%溶液)	
	使用量	日平均	使用量	日平均	使用量	日平均	使用量	日平均	使用量	日平均	使用量	日平均	使用量	日平均
4月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.9	1.7	101.7	3.4	83.2	2.8
5月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.6	1.8	102.9	3.3	88.5	2.9
6月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0	1.9	94.4	3.1	79.5	2.7
7月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.3	1.8	94.4	3.0	102.8	3.3
8月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.3	2.1	111.5	3.6	106.1	3.4
9月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.8	1.9	92.8	3.1	100.6	3.4
10月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.5	1.8	104.8	3.4	89.5	2.9
11月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.2	1.9	103.4	3.4	86.7	2.9
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.5	2.0	92.9	3.0	93.4	3.0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.0	2.1	95.1	3.1	95.2	3.1
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.9	1.9	94.3	3.4	85.2	3.0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.9	2.0	111.8	3.6	89.3	2.9
計	0		0		0		0		700		1,200		1,100	
平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.3	1.9	100.0	3.3	91.7	3.0
最高	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	1月 66.0	1月 2.1	3月 111.8	3月 3.6	8月 106.1	8月 3.4
最低	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 0.0	4月 51.9	4月 1.7	9月 92.8	12月 3.0	6月 79.5	6月 2.7

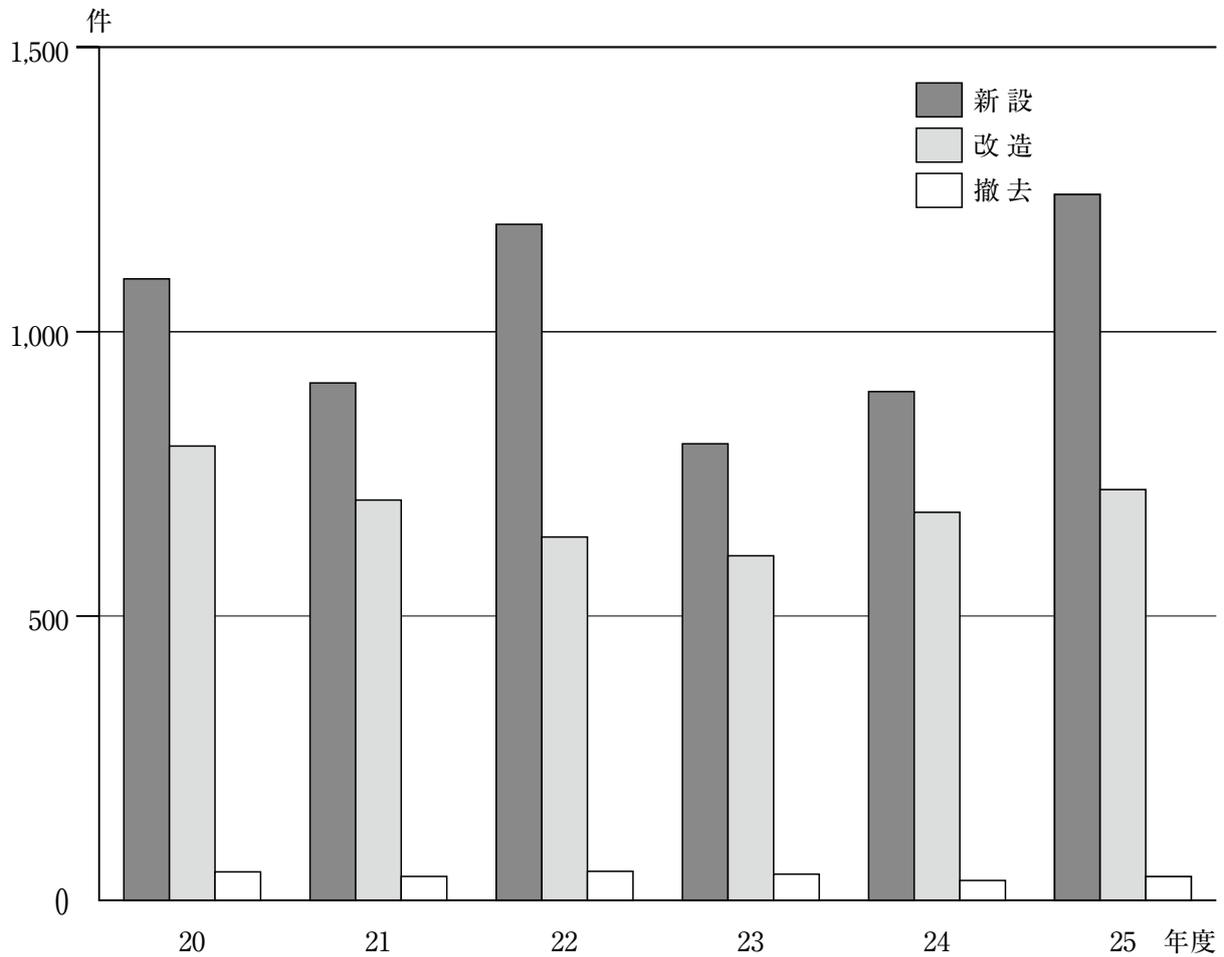
その他の施設 年間使用量 次亜塩素酸ナトリウム (12%) 1,020kg

5. 給水工事の状況

(1) 給水装置工事推移 (グラフ).....	66
(2) 給水装置工事件数.....	67
(3) 月別給水装置工事件数.....	67
(4) 量水器設置状況.....	68
(5) 配・給水管修繕等件数.....	69
(6) しゅん工検査件数.....	70
(7) 道路・河川等の占用・掘削・更新申請件数.....	70
(8) 届出・諸願等の処理件数.....	70
(9) 配水管布設延長.....	72
(10) 管種別配水管布設延長.....	74

5. 給水工事の状況

(1) 給水装置工事推移（グラフ）



(単位：件)

区分 \ 年度	20	21	22	23	24	25
新 設	1,093	910	1,189	803	902	1,246
改 造	799	704	639	606	683	725
撤 去	50	42	51	46	35	42
合 計	1,942	1,656	1,879	1,455	1,620	2,013

(2) 給水装置工事件数

(単位：件)

地区別	工種別	新 設	改 造	撤 去	計
福 島 市 上 水 道		1,244	724	42	2,010
土 湯 簡 易 水 道		1	1	0	2
高 湯 簡 易 水 道		0	0	0	0
茂 庭 地 区 簡 易 水 道		1	0	0	1
	計	1,246	725	42	2,013

(3) 月別給水装置工事件数

(単位：件)

地区別	月別	工種別	新 設	改 造	撤 去	計
福 島 市 上 水 道	4		79	58	2	139
	5		99	69	2	170
	6		90	62	4	156
	7		93	61	1	155
	8		106	57	7	170
	9		84	49	6	139
	10		108	68	4	180
	11		174	76	1	251
	12		103	62	4	169
	1		89	49	1	139
	2		76	46	3	125
	3		143	67	7	217
		計	1,244	724	42	2,010
	月 平 均	104	60	4	168	
土 湯 簡 易 水 道	4		0	0	0	0
	5		0	0	0	0
	6		0	0	0	0
	7		0	0	0	0
	8		0	0	0	0
	9		1	0	0	1
	10		0	0	0	0
	11		0	0	0	0
	12		0	1	0	1
	1		0	0	0	0
	2		0	0	0	0
	3		0	0	0	0
		計	1	1	0	2
	月 平 均	0	0	0	0	
高 湯 簡 易 水 道	4		0	0	0	0
	5		0	0	0	0
	6		0	0	0	0
	7		0	0	0	0
	8		0	0	0	0
	9		0	0	0	0
	10		0	0	0	0
	11		0	0	0	0
	12		0	0	0	0
	1		0	0	0	0
	2		0	0	0	0
	3		0	0	0	0
		計	0	0	0	0
	月 平 均	0	0	0	0	
茂 庭 地 区 簡 易 水 道	4		0	0	0	0
	5		0	0	0	0
	6		0	0	0	0
	7		0	0	0	0
	8		1	0	0	1
	9		0	0	0	0
	10		0	0	0	0
	11		0	0	0	0
	12		0	0	0	0
	1		0	0	0	0
	2		0	0	0	0
	3		0	0	0	0
		計	1	0	0	1
	月 平 均	0	0	0	0	

(4) 量水器設置状況

ア. 取付状況

(単位：個)

種別	口径 区分	13mm	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	計
		(S)										
新設・改造による取付	福島市上水道	0	1,012	875	16	17	11	11	0	0	0	1,942
	土湯簡易水道	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	高湯簡易水道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	茂庭地区簡易水道	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	計	0	1,013	875	17	18	11	12	0	0	0	1,946
検満・不良による取付	福島市上水道	174	11,807	4,127	322	124	101	111	22	3	1	16,792
	土湯簡易水道	0	44	10	2	1	0	0	0	0	0	57
	高湯簡易水道	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	茂庭地区簡易水道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	174	11,851	4,138	324	125	101	111	22	3	1	16,850
合計		174	12,864	5,013	341	143	112	123	22	3	1	18,796

イ. 取外状況

(単位：個)

種別	口径 区分	13mm	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	計
		(S)										
装置撤去による取外	福島市上水道	2	609	67	18	7	12	2	0	0	0	717
	土湯簡易水道	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	高湯簡易水道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	茂庭地区簡易水道	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	2	610	67	19	7	12	2	0	0	0	719
検満・不良による取外	福島市上水道	174	11,807	4,127	322	124	101	111	22	3	1	16,792
	土湯簡易水道	0	44	10	2	1	0	0	0	0	0	57
	高湯簡易水道	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	茂庭地区簡易水道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	174	11,851	4,138	324	125	101	111	22	3	1	16,850
合計		176	12,461	4,205	343	132	113	113	22	3	1	17,569

(5) 配・給水管修繕等件数

(単位：件)

区 分	項 目	件 数
配・給水管等漏水修繕	鑄 鉄 管 漏 水	8 件
	石 綿 管 漏 水	3 件
	銅 管 漏 水	27 件
	鉛 管 漏 水	7 件
	銅 管 漏 水	207 件
	ビ ニ ー ル 管 漏 水	46 件
	ポ リ エ チ レ ン 管 漏 水	7 件
	分 水 栓 漏 水	7 件
	止 水 栓 漏 水	17 件
	仕 切 弁 漏 水	4 件
	空 気 弁 漏 水	4 件
	残 存 管 漏 水 撤 去	2 件
	小 計	339 件
配・給水管等修繕ほか	止 水 栓 修 繕	4 件
	仕 切 弁 修 繕	7 件
	空 気 弁 修 繕	1 件
	配・給水管修繕	7 件
	配水管移設	1 件
	弁・栓筐修繕	43 件
	排水施設修繕	9 件
	減 圧 弁 修 繕	4 件
	排 水 処 理	11 件
	現 場 立 会	1,827 件
	路 面 復 旧	182 件
	調 査	597 件
	そ の 他	16 件
小 計	2,709 件	
消火栓修繕	嵩 上 げ	13 件
	鉄 蓋 取 替	10 件
	パ ッ キ ン グ 取 替	0 件
	本 体 取 替	4 件
	消 火 栓 撤 去	0 件
	小 計	27 件
合 計	3,075 件	

※『平成10年 福島市水道局基準第1号』に該当する、漏水件数も含む。

(6) しゅん工検査件数

(単位：件)

工事種別		福島市上水道	土湯簡易水道	高湯簡易水道	茂庭地区簡易水道	計
新設工事	合格	1,099	1	0	0	1,100
	中間検査	7	0	0	0	7
改造工事	合格	694	0	0	0	694
	中間検査	13	0	0	0	13
撤去工事	合格	32	0	0	0	32
	中間検査	0	0	0	0	0
計	合格	1,825	1	0	0	1,826
	中間検査	20	0	0	0	20

(7) 道路・河川等の占用・掘削・更新申請件数

(単位：件)

管理者別		福島市上水道	土湯簡易水道	高湯簡易水道	茂庭地区簡易水道	計
国	道	25	0	0	0	25
県	道	29	0	0	0	29
市	道	461	0	0	0	461
河	川	11	0	0	0	11
里道・農道・区画道		1	0	0	0	1
更	新	223	0	0	0	223
計		750	0	0	0	750
事前協議	市道	1,416	0	0	0	1,416
	国・その他	528	0	0	0	528

(注) 国道－1級国道（4号線・13号線） 河川－国・県・市
 県道－2級国道及び県道

(8) 届出・諸願等の処理件数

(単位：件)

種別		福島市上水道	土湯簡易水道	高湯簡易水道	茂庭地区簡易水道	計
断	水 届	157	0	0	0	157
給水管	寄付願届	21	0	0	0	21
所有者	変更届	833	0	0	0	833
台帳	閲覧	9,250	2	0	5	9,257
貯水槽	点検件数	75	0	0	0	75

(9) 配水管布設延長

地区別	口径	50mm	75mm	100mm	125mm	150mm	200mm	250mm	300mm
	区分								
福 島 上水道	既 設	87,977.25	323,271.54	491,087.35	2,924.40	233,081.99	184,250.98	49,417.90	50,819.38
	当年度	1,578.45	2,289.48	1,675.70	0.00	2,023.60	797.60	△ 745.00	593.60
	計	89,555.70	325,561.02	492,763.05	2,924.40	235,105.59	185,048.58	48,672.90	51,412.98
土湯 簡易 水道	既 設	55.80	641.00	1,498.30	0.00	479.50	47.50	0.00	0.00
	当年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	55.80	641.00	1,498.30	0.00	479.50	47.50	0.00	0.00
高湯 簡易 水道	既 設	557.10	589.67	700.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	当年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	557.10	589.67	700.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
茂庭 地区 簡易 水道	既 設	327.00	3,167.08	5,195.50	0.00	3,687.56	1,933.86	1,482.00	0.00
	当年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	327.00	3,167.08	5,195.50	0.00	3,687.56	1,933.86	1,482.00	0.00
合計	既 設	88,917.15	327,669.29	498,481.24	2,924.40	237,249.05	186,232.34	50,899.90	50,819.38
	当年度	1,578.45	2,289.48	1,675.70	0.00	2,023.60	797.60	△ 745.00	593.60
	計	90,495.60	329,958.77	500,156.94	2,924.40	239,272.65	187,029.94	50,154.90	51,412.98

(単位：m)

350mm	400mm	450mm	500mm	600mm	700mm	800mm	1000mm	計
18,568.81	24,484.70	5,537.00	15,387.00	8,673.00	4,294.00	1,576.00	754.70	1,502,106.00
0.00	▲415.30	▲202.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7,596.13
18,568.81	24,069.40	5,335.00	15,387.00	8,673.00	4,294.00	1,576.00	754.70	1,509,702.13
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,722.10
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,722.10
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,846.86
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,846.86
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15,793.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15,793.00
18,568.81	24,484.70	5,537.00	15,387.00	8,673.00	4,294.00	1,576.00	754.70	1,522,467.96
0.00	△ 415.30	△ 202.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7,596.13
18,568.81	24,069.40	5,335.00	15,387.00	8,673.00	4,294.00	1,576.00	754.70	1,530,064.09

(10) 管種別配水管布設延長

管種別	口径	50mm	75mm	100mm	125mm	150mm	200mm	250mm	300mm
	区分								
C I P 鑄鉄管	既設	41.10	7,238.92	7,157.55	0.00	3,974.30	3,427.40	745.00	77.00
	当年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	撤去	0.00	380.00	408.00	0.00	163.00	594.00	745.00	77.00
	計	41.10	6,858.92	6,749.55	0.00	3,811.30	2,833.40	0.00	0.00
D I P ダクタイル鉄管	既設	5.00	128,420.48	431,446.17	0.00	214,277.25	178,817.99	48,334.80	49,541.62
	当年度	0.00	625.90	2,859.80	0.00	2,565.10	1,403.60	0.00	670.60
	撤去	0.00	86.50	931.60	0.00	378.50	12.00	0.00	0.00
	計	5.00	128,959.88	433,374.37	0.00	216,463.85	180,209.59	48,334.80	50,212.22
S P 鋼管	既設	2,090.50	1,014.20	1,244.35	2,518.40	2,255.90	3,149.95	1,724.60	1,200.76
	当年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	撤去	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	2,090.50	1,014.20	1,244.35	2,518.40	2,255.90	3,149.95	1,724.60	1,200.76
V P 硬質塩化ビニール管	既設	3,693.00	8,217.54	14,520.91	406.00	15,014.80	0.00	0.00	0.00
	当年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	撤去	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	3,692.00	8,217.54	14,520.91	406.00	15,014.80	0.00	0.00	0.00
H I V P 耐衝撃性 硬質塩化ビニール管	既設	51,611.65	181,899.63	42,892.08	0.00	962.50	362.90	0.00	0.00
	当年度	512.80	2,216.98	162.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	撤去	16.00	0.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	52,108.45	184,116.61	43,047.58	0.00	962.50	362.90	0.00	0.00
SGP-VB 硬質塩化 ビニール管 ライニング鋼管	既設	579.60	48.90	28.10	0.00	15.80	0.00	0.00	0.00
	当年度	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	撤去	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	584.60	48.90	28.10	0.00	15.80	0.00	0.00	0.00
A C P 石綿セメント管	既設	0.00	329.12	0.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00
	当年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	撤去	0.00	86.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	0.00	242.22	0.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00
P P ポリエチレン管	既設	30,882.90	455.60	470.00	0.00	344.70	114.00	0.00	0.00
	当年度	1,243.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	撤去	165.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	31,960.55	455.60	470.00	0.00	344.70	114.00	0.00	0.00
N C P ナイロンコート鋼管	既設	0.00	37.90	286.58	0.00	104.20	31.50	0.00	0.00
	当年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	撤去	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	0.00	37.90	286.58	0.00	104.20	31.50	0.00	0.00
S S P ステンレス鋼管	既設	13.40	7.00	435.50	0.00	279.60	328.60	95.50	0.00
	当年度	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	撤去	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	13.40	7.00	435.50	0.00	279.60	328.60	95.50	0.00
合計	既設	88,917.15	327,669.29	498,481.24	2,924.40	237,249.05	186,232.34	50,899.90	50,819.38
	当年度	1,760.95	2,842.88	3,022.30	0.00	2,565.10	1,403.60	0.00	670.60
	撤去	182.50	553.40	1,346.60	0.00	541.50	606.00	745.00	77.00
	計	90,495.60	329,958.77	500,156.94	2,924.40	239,272.65	187,029.94	50,154.90	51,412.98

(単位：m)

350mm	400mm	450mm	500mm	600mm	700mm	800mm	1000mm	計
242.90	108.00	202.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	23,214.17
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	108.00	202.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,677.00
242.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20,537.17
17,562.41	20,836.30	5,087.00	14,903.00	8,341.00	4,208.00	1,543.00	754.70	1,124,078.72
0.00	758.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8,883.20
0.00	1,065.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,474.10
17,562.41	20,529.00	5,087.00	14,903.00	8,341.00	4,208.00	1,543.00	754.70	1,130,487.82
736.90	3,540.40	221.80	462.90	332.00	86.00	33.00	0.00	20,611.66
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
736.90	3,540.40	221.80	462.90	332.00	86.00	33.00	0.00	20,611.66
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	41,852.25
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	41,851.25
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	277,728.76
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,892.28
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	23.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	280,598.04
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	672.40
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	677.40
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	349.12
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	86.90
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	262.22
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	32,267.20
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,243.15
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	165.50
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	33,344.85
26.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	486.78
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
26.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	486.78
0.00	0.00	26.20	21.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1,206.90
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0.00	0.00	26.20	21.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1,206.90
18,568.81	24,484.70	5,537.00	15,387.00	8,673.00	4,294.00	1,576.00	754.70	1,522,467.96
0.00	758.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	13,023.63
0.00	1,173.50	202.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5,427.50
18,568.81	24,069.40	5,335.00	15,387.00	8,673.00	4,294.00	1,576.00	754.70	1,530,064.09

6. 業務の状況

(1) 業務実績	78
(2) 配水量及び給水人口推移 (グラフ)	80
(3) 用途別及び口径別、給水戸数 (延戸数) 並びに使用水量	81
(4) 業態別給水戸数 (延戸数) 及び使用水量	82
(5) 給水使用及び休・廃止件数推移 (グラフ)	83
(6) 業態別給水戸数及び使用水量 (グラフ)	84
(7) 水道料金徴収区分別調定件数 (グラフ)	84

(1) 業 務 実 績

ア. 戸数及び人口、普及率、配給水量

区 分		事業別	福島市上水道		土湯簡易水道		高湯簡易水道		茂庭地区簡易水道		合 計	
		年 度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度
行政区域内人口 (人)		A	281,062	280,716	486	487	100	100	491	464	282,139	281,767
給水区域内人口 (人)		B	277,692	277,641	486	487	100	100	491	464	278,769	278,692
給 水	戸 数 (戸)		114,298	115,752	167	168	25	25	211	212	114,701	116,157
	人 口 (人)	C	274,111	274,067	442	443	88	88	491	464	275,132	275,062
普 及 率		C/A	97.5%	97.6%	90.9%	91.0%	88.0%	88.0%	100.0%	100.0%	97.5%	97.6%
給 水 普 及 率		C/B	98.7%	98.7%	90.9%	91.0%	88.0%	88.0%	100.0%	100.0%	98.7%	98.7%
配 水 能 力 (m^3)			110,900	110,900	750	750	1,000	1,000	323	323	112,973	112,973
年 間 総 配 水 量 (m^3)			31,348,067	31,316,520	87,196	84,959	70,905	69,374	56,883	57,623	31,563,051	31,528,476
年 間 総 給 水 量 (m^3)			29,058,116	29,232,266	72,074	75,714	67,558	67,146	39,949	38,593	29,237,697	29,413,719
年 間 有 収 水 量 (m^3)			27,734,057	27,879,481	69,593	73,277	65,540	64,970	38,228	36,876	27,907,418	28,054,604
一 日 最 大 配 水 量 (m^3)			97,552	96,032	268	259	193	190	177	181	98,190	(※) 96,662
一 日 平 均 配 水 量 (m^3)			85,885	85,799	239	233	194	190	156	158	86,474	86,379
一 人 一 日 最 大 配 水 量 (ℓ)			356	350	606	585	2,193	2,159	360	390	377	351
一 人 一 日 平 均 配 水 量 (ℓ)			313	313	541	526	2,205	2,159	318	341	310	314

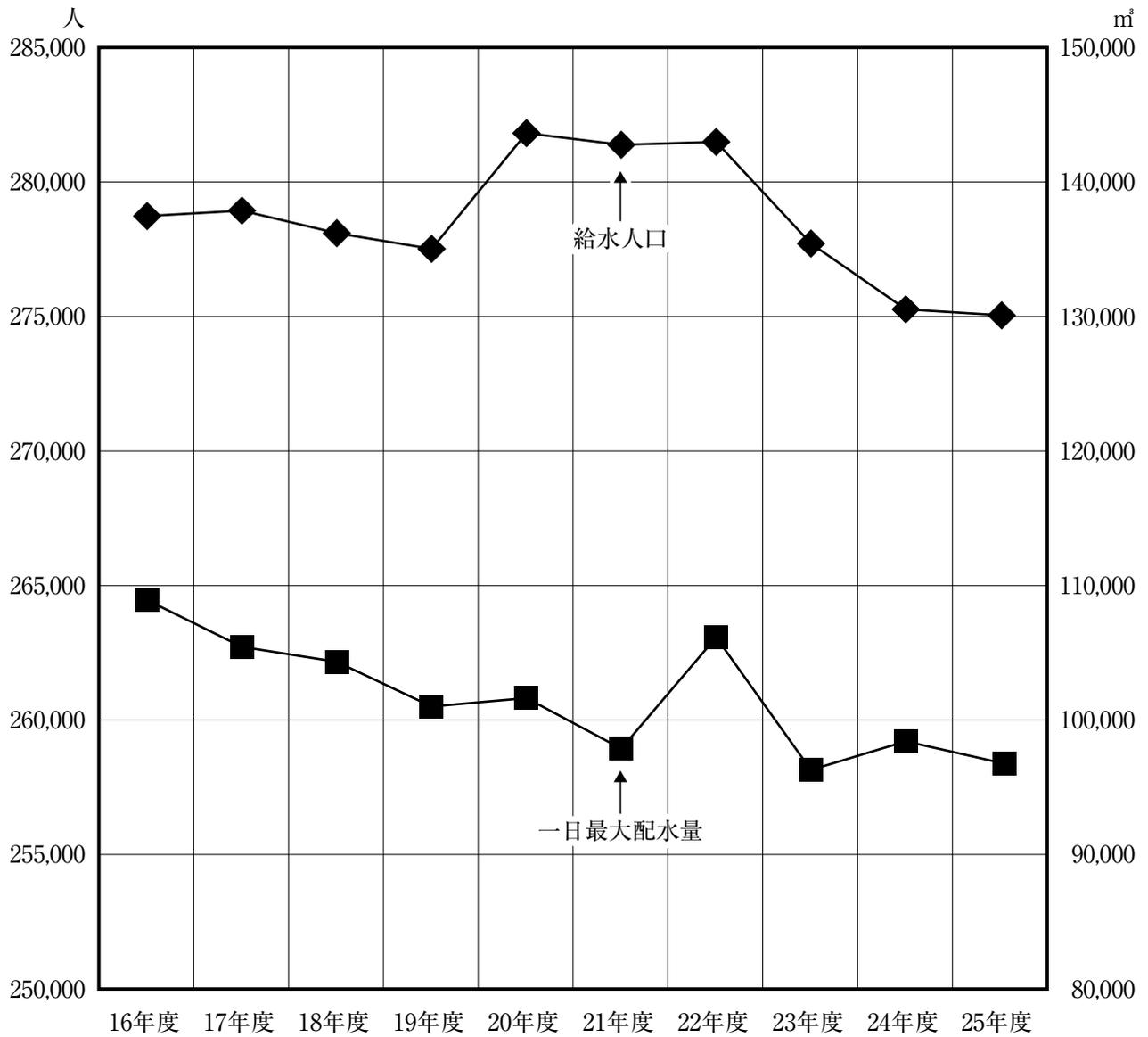
※水道事業全体での一日最大配水量 (96,662 m^3) であった日 (8/8) の事業区分ごとの配水量を表す。
事業区分別の一日最大配水量は、下記のとおりである。

	福島市上水道	土湯簡易水道	高湯簡易水道	茂庭地区簡易水道	水道事業全体
一 日 最 大 配 水 量	(8/8) 96,032 m^3	(8/16) 323 m^3	(10/19) 293 m^3	(9/14) 256 m^3	(8/8) 96,662 m^3
一 人 一 日 最 大 配 水 量	350 ℓ	729 ℓ	3,330 ℓ	552 ℓ	351 ℓ

イ. 事業別水量

区分 事業別	年間総取水量 (m^3)	年間総受水量 (m^3)	年間総配水量 (A) (m^3)	年間総給水量 (B) (m^3)	有効率 (B) / (A) (%)
福島市上水道	0	31,316,520	31,316,520	29,232,266	93.3
土湯簡易水道	84,959	0	84,959	75,714	89.1
高湯簡易水道	69,374	0	69,374	67,146	96.8
茂庭地区簡易水道	57,623	0	57,623	38,593	67.0
計	211,956	31,316,520	31,528,476	29,413,719	93.3

(2) 配水量及び給水人口推移 (グラフ)



◆										
給水人口 (人)	278,735	278,937	278,099	277,514	281,817	281,385	281,491	277,127	275,132	275,062
■										
一日最大 配水量 (m³)	108,915	105,439	104,324	101,006	101,634	97,874	106,151	96,291	98,190	96,662

(3) 用途別及び口径別、給水戸数（延戸数）並びに使用水量

用途	事業別	口径 (mm)										合計
		内訳										
		13	20	25	30	40	50	75	100	150		
一 般 用	福島市上水道	延戸数(戸)	1,063,278	374,678	22,873	8,264	5,986	3,847	804	208	48	1,479,986
		年間使用量(m³)	13,663,743	7,688,870	1,010,903	811,966	1,171,590	1,657,596	956,792	386,598	477,982	※27,826,040
		1戸1ヵ月使用量(m³)	12.9	20.5	44.2	98.3	195.7	430.9	1,190.0	1,858.6	9,958.0	18.8
	土湯簡易水道	延戸数(戸)	1,169	219	79	79	0	58	0	0	0	1,604
		年間使用量(m³)	14,251	6,416	2,354	29,140	0	7,026	0	0	0	59,187
		1戸1ヵ月使用量(m³)	12.2	29.3	29.8	368.9	0.0	121.1	0.0	0.0	0.0	36.9
	高湯簡易水道	延戸数(戸)	63	51	76	24	36	36	0	0	0	286
		年間使用量(m³)	750	1,906	5,400	2,812	7,554	46,548	0	0	0	64,970
		1戸1ヵ月使用量(m³)	11.9	37.4	71.1	117.2	209.8	1,293.0	0.0	0.0	0.0	227.2
	茂庭地区 簡易水道	延戸数(戸)	2,140	216	48	14	22	36	0	0	0	2,476
		年間使用量(m³)	21,238	3,776	308	126	1,900	9,528	0	0	0	36,876
		1戸1ヵ月使用量(m³)	9.9	17.5	6.4	9.0	86.4	264.7	0.0	0.0	0.0	14.9
	小計	延戸数(戸)	1,066,650	375,164	23,076	8,381	6,044	3,977	804	208	48	1,484,352
		年間使用量(m³)	13,699,982	7,700,968	1,018,965	844,044	1,181,044	1,720,698	956,792	386,598	477,982	27,987,073
		1戸1ヵ月使用量(m³)	12.8	20.5	44.2	100.7	195.4	432.7	1,190.0	1,858.6	9,958.0	18.9
公 衆 浴 場 用	福島市上水道	延戸数(戸)	48	60	36	0	0	12	0	0	0	156
		年間使用量(m³)	9,238	19,838	9,218	0	0	7,602	0	0	0	45,896
		1戸1ヵ月使用量(m³)	192.5	330.6	256.1	0.0	0.0	633.5	0.0	0.0	0.0	294.2
	土湯簡易水道	延戸数(戸)	0	0	12	0	12	0	0	0	0	24
		年間使用量(m³)	0	0	3,064	0	11,026	0	0	0	0	14,090
		1戸1ヵ月使用量(m³)	0.0	0.0	255.3	0.0	918.8	0.0	0.0	0.0	0.0	587.1
	小計	延戸数(戸)	48	60	48	0	12	12	0	0	0	180
		年間使用量(m³)	9,238	19,838	12,282	0	11,026	7,602	0	0	0	59,986
		1戸1ヵ月使用量(m³)	192.5	330.6	255.9	0.0	918.8	633.5	0.0	0.0	0.0	333.3
合計	延戸数(戸)	1,066,698	375,224	23,124	8,381	6,056	3,989	804	208	48	1,484,532	
	年間使用量(m³)	13,709,220	7,720,806	1,031,247	844,044	1,192,070	1,728,300	956,792	386,598	477,982	28,047,059	
	1戸1ヵ月使用量(m³)	12.9	20.6	44.6	100.7	196.8	433.3	1,190.0	1,858.6	9,958.0	18.9	

※二本松市分水量7,545m³は含まない。

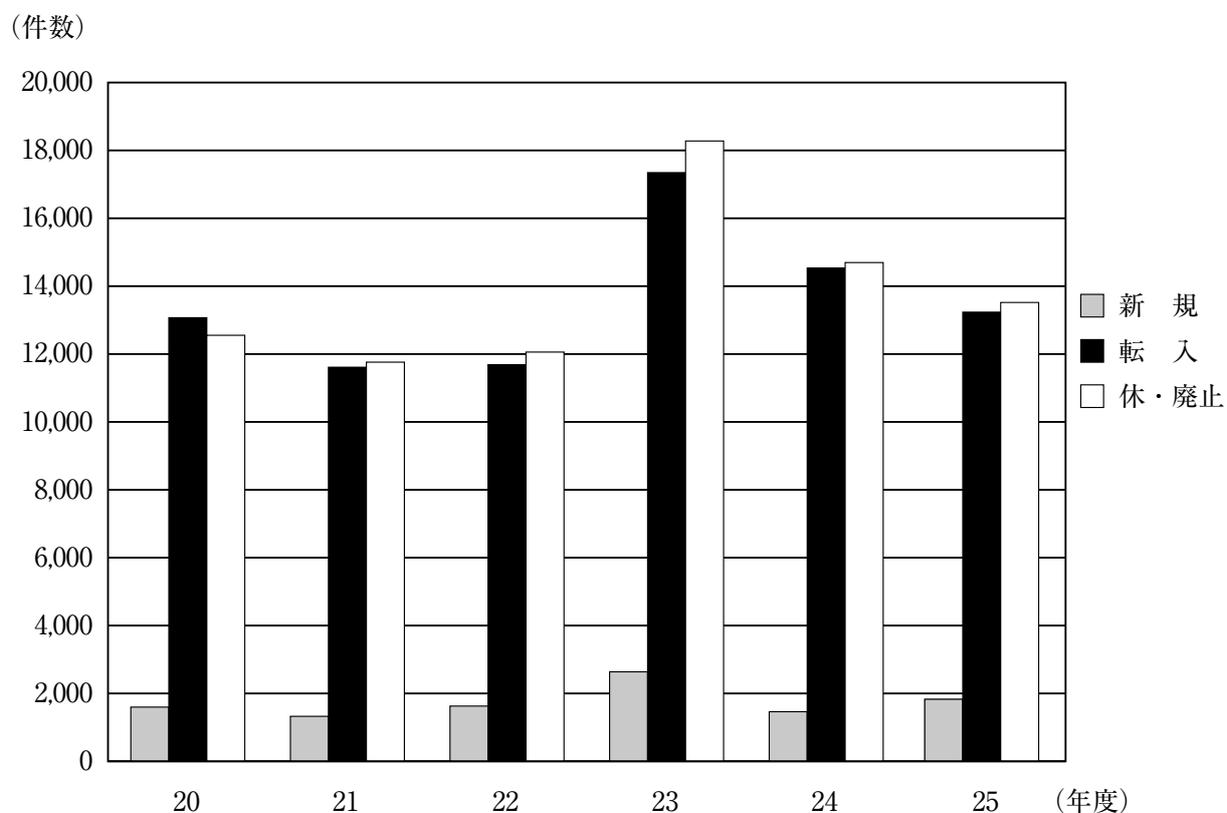
(4) 業態別給水戸数（延戸数）及び使用水量

単位 [戸数：戸]
[水量：m³]

業態区分		家	学	官公・公共	会社事務所	製造業	卸・小売業	サービス業	病院	多目的ビル	その他	臨時給水	公衆浴場	合計
事業別		庭	校	公共	事務所	業	業	業	院	ビル	他	給水	場	計
福島市 上水道	延戸数	1,358,174	3,969	19,092	40,583	5,231	14,503	27,420	5,806	2,694	2,243	271	156	1,480,142
	水量	20,266,694	550,054	1,558,760	812,040	857,634	665,332	1,856,988	761,892	437,214	24,206	35,226	45,896	27,871,936
土湯 簡易 水道	延戸数	1,150	17	117	41	24	0	243	0	7	0	5	24	1,628
	水量	17,120	948	11,234	2,668	520	0	26,560	0	2	0	135	14,090	73,277
高湯 簡易 水道	延戸数	95	0	40	0	0	0	151	0	0	0	0	0	286
	水量	1,466	0	5,000	0	0	0	58,504	0	0	0	0	0	64,970
茂庭 地区 簡易 水道	延戸数	2,140	34	194	24	24	12	36	12	0	0	0	0	2,476
	水量	24,190	1,198	1,674	62	98	0	9,580	74	0	0	0	0	36,876
計	延戸数	1,361,559	4,020	19,443	40,648	5,279	14,515	27,850	5,818	2,701	2,243	276	180	1,484,532
	水量	20,309,470	552,200	1,576,668	814,770	858,252	665,332	1,951,632	761,966	437,216	24,206	35,361	59,986	28,047,059
構成比 (%)	延戸数	91.7	0.3	1.3	2.7	0.4	1.0	1.9	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	100.0
	水量	72.4	2.0	5.6	2.9	3.1	2.4	7.0	2.7	1.5	0.1	0.1	0.2	100.0
1ヵ月 平均	延戸数	113,463	335	1,620	3,387	440	1,210	2,321	485	225	187	23	15	123,711
	水量	1,692,456	46,017	131,389	67,897	71,521	55,444	162,636	63,497	36,435	2,017	2,947	4,999	2,337,255
1戸1ヵ月当り水量		14.9	137.4	81.1	20.0	162.6	45.8	70.1	131.0	161.9	10.8	128.1	333.3	18.9

※分水量 7,545 m³は含まない。

(5) 給水使用及び休・廃止件数推移 (グラフ)



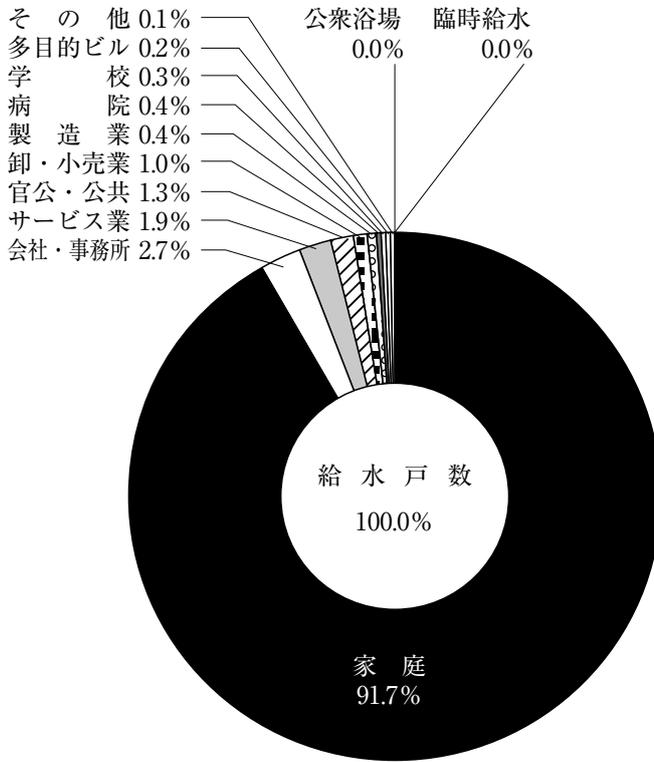
平成25年度 事業別給水使用及び休・廃止申込件数

(単位：件)

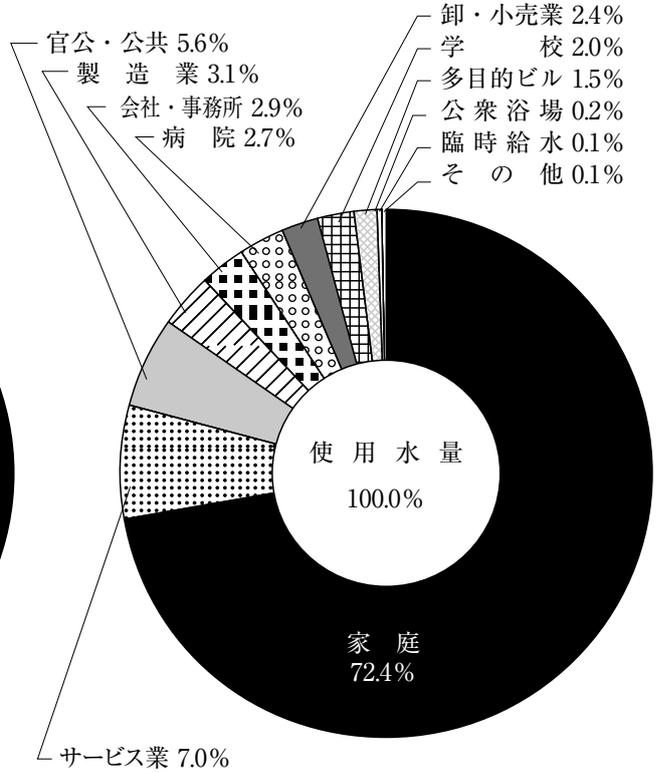
申込別		事業別	福島市上水道	土湯簡易水道	高湯簡易水道	茂庭地区簡易水道	計
使用件数	新規		1,835	1	0	2	1,838
	転入		13,293	1	0	0	13,294
合計			15,128	2	0	2	15,132
休・廃止件数			13,577	1	0	1	13,579

(6) 業態別給水戸数及び使用水量 (グラフ)

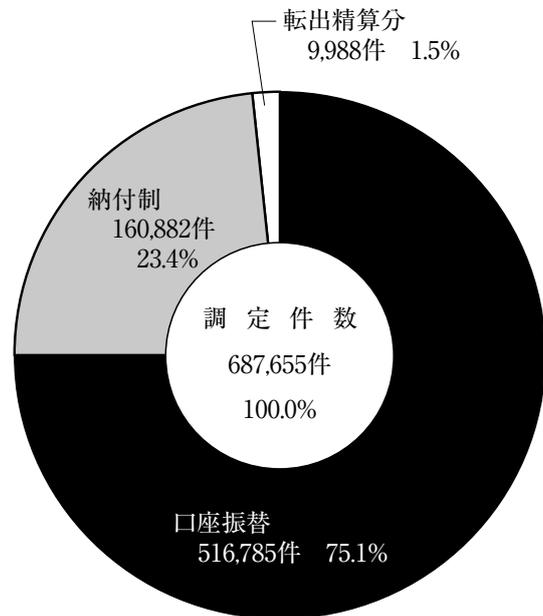
ア. 給水戸数



イ. 使用水量



(7) 水道料金徴収区分別調定件数 (グラフ)



7. 経理の状況

(1) 決算諸表	86
(2) 財務分析	94
(3) 水道料金原価計算表	98
(4) 給水原価の推移	99

7. 経理の状況

(1) 決算諸表

ア 予算決算対照表

収益的収入及び支出

(収入)

(消費税込)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	執 行 率 (B) / (A)
	円	円	円	%
水道事業収益	7,449,883,000	7,781,657,724	331,774,724	104.45
営業収益	7,108,113,000	7,243,727,022	135,614,022	101.91
給水収益	6,936,818,000	7,067,317,358	130,499,358	101.88
受託工事収益	648,000	224,490	△ 423,510	34.64
その他の営業収益	170,647,000	176,185,174	5,538,174	103.25
営業外収益	330,108,000	357,015,367	26,907,367	108.15
受取利息及び配当金	1,580,000	3,049,277	1,469,277	192.99
一般会計補助金	134,893,000	134,480,421	△ 412,579	99.69
加 入 金	189,231,000	211,302,000	22,071,000	111.66
雑 収 益	4,404,000	8,183,669	3,779,669	185.82
特 別 利 益	11,662,000	180,915,335	169,253,335	1,551.32
過年度損益修正益	2,139,000	635,335	△1,503,665	29.70
その他特別利益	9,523,000	180,280,000	170,757,000	1,893.10
収益的収入計	7,449,883,000	7,781,657,724	331,774,724	104.45

(支 出)

(消費税込)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率 (B) / (A)
	円	円	円	円	%
水道事業費用	6,909,436,000	6,836,321,849	0	73,114,151	98.94
営業費用	6,287,673,500	6,220,218,111	0	67,455,389	98.93
原水及び浄水費	2,759,075,142	2,759,075,142	0	0	100.00
配水及び給水費	1,107,417,562	1,091,748,184	0	15,669,378	98.59
受託工事費	648,000	224,490	0	423,510	34.64
業務費	283,964,006	283,964,006	0	0	100.00
総係費	522,891,790	510,492,772	0	12,399,018	97.63
減価償却費	1,488,562,000	1,482,973,875	0	5,588,125	99.62
資産減耗費	125,115,000	91,739,642	0	33,375,358	73.32
営業外費用	594,164,500	592,783,901	0	1,380,599	99.77
支払利息及び 企業債取扱諸費	422,073,000	420,692,401	0	1,380,599	99.67
消費税	172,009,500	172,009,500	0	0	100.00
雑支出	82,000	82,000	0	0	100.00
特別損失	24,598,000	23,319,837	0	1,278,163	94.80
固定資産 譲渡損	517,650	517,650	0	0	100.00
過年度損 修正損	8,647,350	7,369,187	0	1,278,163	85.22
東日本大震災 災害復旧費	15,433,000	15,433,000	0	0	100.00
予備費	3,000,000	0	0	3,000,000	0.00
収益的支出計	6,909,436,000	6,836,321,849	0	73,114,151	98.94
収益的収支差引	540,447,000	945,335,875	-	-	-

資本的収入及び支出
(収 入)

(消費税込)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	執 行 率 (B) / (A)
	円	円	円	%
資 本 的 収 入	1,465,154,000	1,378,588,327	△ 86,565,673	94.09
企 業 債	974,800,000	906,000,000	△ 68,800,000	92.94
企 業 債	974,800,000	906,000,000	△ 68,800,000	92.94
補 助 金	416,607,000	411,897,288	△ 4,709,712	98.87
国 庫 補 助 金	198,825,000	193,808,000	△ 5,017,000	97.48
一 般 会 計 補 助 金	217,782,000	218,089,288	307,288	100.14
負 担 金	73,747,000	60,471,799	△ 13,275,201	82.00
一 般 会 計 負 担 金	23,050,000	22,196,382	△ 853,618	96.30
工 事 負 担 金	50,697,000	38,275,417	△ 12,421,583	75.50
固 定 資 産 売 却 代 金	0	219,240	219,240	皆増
固 定 資 産 売 却 代 金	0	219,240	219,240	皆増
資 本 的 収 入 計	1,465,154,000	1,378,588,327	△ 86,565,673	94.09

(支 出)

(消費税込)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度繰越額	不 用 額	執 行 率 (B) / (A)
	円	円	円	円	%
資 本 的 支 出	3,495,546,000	3,287,893,320	80,694,000	126,958,680	94.06
建 設 改 良 費	1,312,627,000	1,107,449,550	80,694,000	124,483,450	84.37
建 設 改 良 費	541,742,985	449,122,388	11,800,000	80,820,597	82.90
固 定 資 産 購 入 費	19,515,965	19,515,965	0	0	100.00
緊 急 時 給 水 拠 点 確 保 等 事 業 費	185,443,000	170,657,776	0	14,785,224	92.03
老 朽 管 更 新 事 業 費	245,779,000	216,901,371	0	28,877,629	88.25
水 道 未 普 及 地 域 解 消 事 業 費	182,512,050	182,512,050	0	0	100.00
弁 天 山 配 水 池 耐 震 化 事 業 費	137,634,000	68,740,000	68,894,000	0	49.94
企 業 債 償 還 金	2,180,919,000	2,180,443,770	0	475,230	99.98
企 業 債 償 還 金	2,180,919,000	2,180,443,770	0	475,230	99.98
予 備 費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.00
資 本 的 支 出 計	3,495,546,000	3,287,893,320	80,694,000	126,958,680	94.06
資 本 的 収 支 差 引	△ 2,030,392,000	△ 1,909,304,993	-	-	-

イ 損益計算書

科 目	年 度	平 成 21 年 度			平 成 22 年 度		
		金 額	構 成 比	対前年度比	金 額	構 成 比	対前年度比
		円	%	%	円	%	%
1. 営 業 収 益		7,183,402,074	96.9	99.6	6,939,835,669	96.8	96.6
(1) 給 水 収 益		7,051,839,810	95.1	99.6	6,785,323,939	94.7	96.2
(2) 受 託 工 事 収 益		560,000	0.0	100.0	740,500	0.0	132.2
(3) そ の 他 の 営 業 収 益		131,002,264	1.8	101.5	153,771,230	2.1	117.4
2. 営 業 外 収 益		203,509,118	2.8	73.2	228,196,750	3.2	112.1
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金		33,550,562	0.5	93.6	17,678,754	0.2	52.7
(2) 一 般 会 計 補 助 金		33,500,000	0.4	57.7	51,334,631	0.7	153.2
(3) 加 入 金		130,460,000	1.8	77.4	153,200,000	2.1	117.4
(4) 国 庫 補 助 金		—	—	—	—	—	—
(5) 雑 収 益		5,998,556	0.1	38.5	5,983,365	0.1	99.7
3. 特 別 利 益		25,885,531	0.3	2,614.1	695,390	0.0	2.7
(1) 固 定 資 産 売 却 益		25,536,481	0.3	皆増	—	—	皆減
(2) 過 年 度 損 益 修 正 益		349,050	0.0	35.2	695,390	0.0	199.2
(3) そ の 他 の 特 別 利 益		—	—	—	—	—	—
収 益 合 計 (A)		7,412,796,723	100.0	98.9	7,168,727,809	100.0	96.7
1. 営 業 費 用		6,686,296,325	91.8	98.4	6,303,981,678	89.2	94.3
(1) 原 水 及 び 浄 水 費		3,089,336,913	42.4	99.9	2,637,740,521	37.3	85.4
(2) 配 水 及 び 給 水 費		1,078,660,773	14.8	116.1	945,777,922	13.4	87.7
(3) 受 託 工 事 費		560,000	0.0	100.0	740,500	0.0	132.2
(4) 業 務 費		287,769,791	4.0	67.4	300,876,694	4.3	104.6
(5) 総 係 費		560,687,881	7.7	107.5	548,994,624	7.8	97.9
(6) 減 価 償 却 費		1,575,994,874	21.6	98.4	1,580,076,746	22.4	100.3
(7) 資 産 減 耗 費		93,286,093	1.3	42.5	289,774,671	4.1	310.6
2. 営 業 外 費 用		592,134,100	8.1	81.7	527,854,968	7.5	89.1
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費		592,134,100	8.1	81.7	527,854,968	7.5	89.1
(2) 雑 支 出		—	—	皆減	—	—	—
(3) 国 庫 補 助 金 返 還 金		—	—	皆減	—	—	—
3. 特 別 損 失		5,319,788	0.1	92.0	235,232,326	3.3	4,421.8
(1) 固 定 資 産 譲 渡 損		—	—	—	—	—	—
(2) 過 年 度 損 益 修 正 損		5,319,788	0.1	92.0	5,601,792	0.1	105.3
(3) 臨 時 損 失		—	—	—	—	—	—
(4) そ の 他 特 別 損 失		—	—	—	—	—	—
(5) 東 日 本 大 震 災 災 害 復 旧 費		—	—	—	229,630,534	3.2	皆増
費 用 合 計 (B)		7,283,750,213	100.0	96.8	7,067,068,972	100.0	97.0
当 年 度 純 利 益 (△) 損 失 (A) - (B)		129,046,510	—	402.3	101,658,837	—	78.8
年 間 有 収 水 量 (m ³)		28,064,281	—	99.5	28,545,692	—	101.7

平成 23 年 度			平成 24 年 度			平成 25 年 度		
金 額	構成比	対前年度比	金 額	構成比	対前年度比	金 額	構成比	対前年度比
円	%	%	円	%	%	円	%	%
6,618,646,272	94.6	95.4	6,825,182,136	96.8	103.1	6,901,322,659	92.9	101.1
6,471,549,796	92.5	95.4	6,686,249,720	94.8	103.3	6,731,390,433	90.6	100.7
280,000	0.0	37.8	210,000	0.0	75.0	213,800	0.0	101.8
146,816,476	2.1	95.5	138,722,416	2.0	94.5	169,718,426	2.3	122.3
180,696,422	2.6	79.2	218,396,087	3.1	120.9	346,680,524	4.7	158.7
6,625,941	0.1	37.5	4,205,583	0.1	63.5	3,049,277	0.0	72.5
51,912,140	0.7	101.1	51,244,045	0.7	98.7	134,480,421	1.9	262.4
111,560,000	1.6	72.8	151,580,000	2.1	135.9	201,240,000	2.7	132.8
—	—	—	—	—	—	—	—	—
10,598,341	0.2	177.1	11,366,459	0.2	107.2	7,910,826	0.1	69.6
198,208,888	2.8	28,503.3	7,944,448	0.1	4.0	180,885,210	2.4	2,276.9
—	—	—	55,404	0.0	皆増	—	—	皆減
634,321	0.0	91.2	4,809,044	0.1	758.1	605,210	0.0	12.6
197,574,567	2.8	皆増	3,080,000	0.0	1.6	180,280,000	2.4	5,853.2
6,997,551,582	100.0	97.6	7,051,522,671	100.0	100.8	7,428,888,393	100.0	105.4
6,193,633,364	91.4	98.2	6,064,468,141	92.4	97.9	6,044,280,269	93.0	99.7
2,627,799,963	38.8	99.6	2,631,124,019	40.1	100.1	2,627,985,091	40.4	99.9
1,026,186,240	15.1	108.5	990,104,756	15.1	96.5	1,064,191,737	16.4	107.5
280,000	0.0	37.8	210,000	0.0	75.0	213,800	0.0	101.8
331,410,076	4.9	110.1	264,746,557	4.0	79.9	270,583,718	4.2	102.2
541,706,345	8.0	98.7	514,953,658	7.8	95.1	507,012,406	7.8	98.5
1,557,882,159	23.0	98.6	1,534,886,243	23.4	98.5	1,482,973,875	22.8	96.6
108,368,581	1.6	37.4	128,442,908	2.0	118.5	91,319,642	1.4	71.1
511,521,650	7.5	96.9	470,422,220	7.1	92.0	434,978,818	6.7	92.5
500,733,094	7.4	94.9	468,769,241	7.1	93.6	420,692,401	6.5	89.7
10,788,556	0.1	皆増	1,652,979	0.0	15.3	14,286,417	0.2	864.3
—	—	—	—	—	—	—	—	—
71,873,685	1.1	30.6	29,732,680	0.5	41.4	22,244,575	0.3	74.8
436,741	0.0	皆増	—	—	皆減	517,650	0.0	皆増
18,818,544	0.3	335.9	11,662,030	0.2	62.0	7,020,425	0.1	60.2
—	—	—	—	—	—	—	—	—
10,000,000	0.2	皆増	—	—	皆減	—	—	—
42,618,400	0.6	18.6	18,070,650	0.3	42.4	14,706,500	0.2	81.4
6,777,028,699	100.0	95.9	6,564,623,041	100.0	96.9	6,501,503,662	100.0	99.0
220,522,883	—	216.9	486,899,630	—	220.8	927,384,731	—	190.5
26,915,376	—	94.3	27,907,418	—	103.7	28,054,604	—	100.5

ウ 貸借対照表

科 目	平成 21 年 度			平成 22 年 度		
	金 額	構成比	対前年度比	金 額	構成比	対前年度比
	円	%	%	円	%	%
1. 固 定 資 産	51,504,869,386	91.7	99.1	51,347,508,013	92.3	99.7
(1) 有 形 固 定 資 産	51,494,869,386	91.7	99.1	51,337,508,013	92.3	99.7
(イ) 土 地	1,424,563,787	2.5	99.8	1,435,446,043	2.6	100.8
(ロ) 建 物	703,588,643	1.3	100.9	651,380,531	1.2	92.6
(ハ) 構 築 物	44,242,615,451	78.8	100.9	44,376,704,764	79.8	100.3
(ニ) 機 械 及 び 装 置	4,993,694,515	8.9	97.9	4,768,407,185	8.6	95.5
(ホ) 車 両 運 搬 具	11,546,108	0.0	71.6	8,789,854	0.0	76.1
(ヘ) 工 具 器 具 及 び 備 品	43,215,215	0.1	94.2	38,924,874	0.1	90.1
(ト) 建 設 仮 勘 定	75,645,667	0.1	9.1	57,854,762	0.1	76.5
(2) 投 資 資 金	10,000,000	0.0	100.0	10,000,000	0.0	100.0
(イ) 出 資 金	10,000,000	0.0	100.0	10,000,000	0.0	100.0
2. 流 動 資 産	4,643,146,867	8.3	87.2	4,281,331,238	7.7	92.2
(1) 現 金 預 金	3,925,707,587	7.0	85.8	3,526,920,443	6.3	89.8
(2) 未 収 金	704,361,100	1.3	95.8	737,182,585	1.3	104.7
(3) 貯 蔵 品	13,078,180	0.0	131.4	9,668,210	0.0	73.9
(4) 前 払 金	—	—	—	7,560,000	0.0	皆増
資 産 合 計	56,148,016,253	100.0	98.0	55,628,839,251	100.0	99.1
3. 固 定 負 債	1,182,852,338	2.1	90.4	990,652,064	1.8	83.8
(1) 引 当 金	1,182,852,338	2.1	90.4	990,652,064	1.8	83.8
(イ) 退 職 給 与 引 当 金	390,950,918	0.7	81.4	259,422,122	0.5	66.4
(ロ) 修 繕 引 当 金	791,901,420	1.4	95.6	731,229,942	1.3	92.3
4. 流 動 負 債	863,350,392	1.5	96.8	1,050,091,026	1.9	121.6
(1) 未 払 金	625,498,232	1.1	92.5	816,965,441	1.5	130.6
(2) 前 受 金	—	—	—	3,402,000	0.0	皆増
(3) そ の 他 流 動 負 債	237,852,160	0.4	110.2	229,723,585	0.4	96.6
負 債 合 計	2,046,202,730	3.6	93.0	2,040,743,090	3.7	99.7
5. 資 本 金	39,281,830,443	70.0	97.1	39,031,456,066	70.2	99.4
(1) 自 己 資 本 金	17,103,353,812	30.5	101.2	17,969,728,925	32.3	105.1
(2) 借 入 資 本 金	22,178,476,631	39.5	94.2	21,061,727,141	37.9	95.0
6. 剰 余 金	14,819,983,080	26.4	101.0	14,556,640,095	26.2	98.2
(1) 資 本 剰 余 金	13,206,982,487	23.5	101.7	13,491,980,665	24.3	102.2
(イ) 国 庫 補 助 金	2,122,545,480	3.8	102.9	2,266,014,835	4.1	106.8
(ロ) 県 補 助 金	82,089,048	0.1	100.0	82,089,048	0.1	100.0
(ハ) 一 般 会 計 補 助 金	114,795,143	0.2	117.5	163,520,246	0.3	142.4
(ニ) 工 事 負 担 金	8,932,306,317	15.9	100.7	9,023,010,804	16.2	101.0
(ホ) 受 贈 資 産 寄 付 金	1,955,246,499	3.5	104.4	1,957,345,732	3.5	100.1
(2) 利 益 剰 余 金 (△欠損金)	1,613,000,593	2.9	95.8	1,064,659,430	1.9	66.0
(イ) 建 設 改 良 積 立 金	—	—	—	750,000,000	1.3	皆増
(ロ) ダ ム 受 水 準 備 積 立 金	—	—	皆減	—	—	—
(ハ) 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 (△ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金)	1,613,000,593	2.9	108.7	314,659,430	0.6	19.5
資 本 合 計	54,101,813,523	96.4	98.2	53,588,096,161	96.3	99.1
負 債 資 本 合 計	56,148,016,253	100.0	98.0	55,628,839,251	100.0	99.1

平成 23 年 度			平成 24 年 度			平成 25 年 度		
金 額	構成比	対前年度比	金 額	構成比	対前年度比	金 額	構成比	対前年度比
円	%	%	円	%	%	円	%	%
50,556,603,716	93.2	98.5	50,034,794,220	93.0	99.0	49,543,354,595	91.6	99.0
50,556,603,716	93.2	98.5	50,034,794,220	93.0	99.0	49,543,354,595	91.6	99.0
1,439,144,500	2.7	100.3	1,439,116,304	2.7	100.0	1,444,564,054	2.7	100.4
626,599,529	1.2	96.2	600,393,970	1.1	95.8	575,298,456	1.1	95.8
43,909,482,434	81.0	98.9	43,623,706,508	81.1	99.3	43,220,650,584	79.9	99.1
4,424,626,368	8.2	92.8	4,106,739,070	7.6	92.8	3,816,512,634	7.1	92.9
7,343,806	0.0	83.5	5,407,759	0.0	73.6	7,929,712	0.0	146.6
27,922,413	0.1	71.7	22,499,316	0.0	80.6	26,190,051	0.0	116.4
121,484,666	0.2	210.0	236,931,293	0.4	195.0	452,209,104	0.8	190.9
—	—	皆減	—	—	—	—	—	—
—	—	皆減	—	—	—	—	—	—
3,685,768,926	6.8	86.1	3,767,488,421	7.0	102.2	4,563,899,291	8.4	121.1
2,548,019,025	4.7	72.2	2,988,838,518	5.6	117.3	3,331,050,268	6.2	111.4
933,273,501	1.7	126.6	768,354,683	1.4	82.3	1,211,957,323	2.2	157.7
24,046,400	0.1	248.7	10,295,220	0.0	42.8	16,491,700	0.0	160.2
180,430,000	0.3	2,386.6	—	—	皆減	4,400,000	0.0	皆増
54,242,372,642	100.0	97.5	53,802,282,641	100.0	99.2	54,107,253,886	100.0	100.6
751,700,439	1.4	75.9	747,381,712	1.4	99.4	734,311,888	1.4	98.3
751,700,439	1.4	75.9	747,381,712	1.4	99.4	734,311,888	1.4	98.3
157,052,671	0.3	60.5	116,414,747	0.2	74.1	—	—	皆減
594,647,768	1.1	81.3	630,966,965	1.2	106.1	734,311,888	1.4	116.4
862,519,234	1.6	82.1	801,827,735	1.5	93.0	1,010,328,184	1.9	126.0
642,111,416	1.2	78.6	569,712,404	1.1	88.7	772,300,481	1.4	135.6
—	—	皆減	—	—	—	—	—	—
220,407,818	0.4	95.9	232,115,331	0.4	105.3	238,027,703	0.5	102.5
1,614,219,673	3.0	78.9	1,549,209,447	2.9	96.0	1,744,640,072	3.3	112.6
37,880,640,721	69.8	97.1	36,885,989,826	68.5	97.4	36,261,546,056	67.0	98.3
18,221,802,525	33.6	101.4	18,571,802,525	34.5	101.9	19,221,802,525	35.5	103.5
19,658,838,196	36.2	93.3	18,314,187,301	34.0	93.2	17,039,743,531	31.5	93.0
14,747,512,248	27.2	101.3	15,367,083,368	28.6	104.2	16,101,067,758	29.7	104.8
13,712,329,935	25.3	101.6	14,195,001,425	26.4	103.5	14,651,601,084	27.0	103.2
2,403,463,413	4.4	106.1	2,763,594,635	5.1	115.0	2,948,173,683	5.4	106.7
82,089,048	0.2	100.0	82,089,048	0.2	100.0	82,089,048	0.1	100.0
202,330,337	0.4	123.7	258,764,326	0.5	127.9	466,468,410	0.9	180.3
9,063,603,780	16.7	100.4	9,108,403,274	16.9	100.5	9,166,322,035	16.9	100.6
1,960,843,357	3.6	100.2	1,982,150,142	3.7	101.1	1,988,547,908	3.7	100.3
1,035,182,313	1.9	97.2	1,172,081,943	2.2	113.2	1,449,466,674	2.7	123.7
600,000,000	1.1	80.0	450,000,000	0.8	75.0	300,000,000	0.6	66.7
—	—	—	—	—	—	—	—	—
435,182,313	0.8	138.3	722,081,943	1.3	165.9	1,149,466,674	2.1	159.2
52,628,152,969	97.0	97.3	52,253,073,194	97.1	99.3	52,362,613,814	96.7	100.2
54,242,372,642	100.0	96.6	53,802,282,641	100.0	99.2	54,107,253,886	100.0	100.6

(2) 財 務 分 析

ア 収益性の分析

a 総資本利益率

$$\frac{\text{経常利益（経常損失）}}{(\text{期首} + \text{期末総資本}) \div 2} \times 100$$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
当年度純利益(円)	108,480,767	336,195,773	94,187,680	508,687,862	768,744,096
平均総資本(円)	56,733,571,225	55,888,427,752	54,935,605,947	54,022,327,642	53,954,768,264
率 (%)	0.19	0.60	0.17	0.94	1.42

b 経営資本営業利益率

$$\frac{\text{営 業 利 益}}{(\text{期首} + \text{期末経営資本}) \div 2} \times 100$$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
営 業 利 益(円)	497,105,749	635,853,991	425,012,908	760,713,995	857,042,390
平均経営資本(円)	56,268,767,961	55,811,677,538	54,840,936,233	53,843,119,662	53,610,198,065
率 (%)	0.88	1.14	0.77	1.41	1.60

c 営業収益営業利益率

$$\frac{\text{営 業 利 益}}{\text{営 業 収 益}} \times 100$$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
営 業 利 益(円)	497,105,749	635,853,991	425,012,908	760,713,995	857,042,390
営 業 収 益(円)	7,183,402,074	6,939,835,669	6,618,646,272	6,825,182,136	6,901,322,659
率 (%)	6.92	9.16	6.42	11.15	12.42

d 営業収支比率

$$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
受託を除く営業収益(円)	7,182,842,074	6,939,095,169	6,618,366,272	6,824,972,136	6,901,108,859
〃 営業費用(円)	6,685,736,325	6,303,241,178	6,193,353,364	6,064,258,141	6,044,066,469
率 (%)	107.44	110.09	106.86	112.54	114.18

e 総収支比率 $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総 収 益(円)	7,412,796,723	7,168,727,809	6,997,551,582	7,051,522,671	7,428,888,393
総 費 用(円)	7,283,750,213	7,067,068,972	6,777,028,699	6,564,623,041	6,501,503,662
率 (%)	101.77	101.44	103.25	107.42	114.26

f 支払利息対営業収益比率 $\frac{\text{支払利息}}{\text{営業収益}} \times 100$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
支 払 利 息(円)	592,134,100	527,854,968	500,733,094	468,769,241	420,692,401
営 業 収 益(円)	7,183,402,074	6,939,835,669	6,618,646,272	6,825,182,136	6,901,322,659
率 (%)	8.24	7.61	7.57	6.87	6.10

g 企業債償還元金対減価償却費比率 $\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金 (借換債分を除く)}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
企業債償還額(円)	1,568,423,316	1,474,856,404	1,417,788,945	1,404,650,895	1,412,843,770
当年度減価償却費(円)	1,575,994,874	1,580,076,746	1,557,882,159	1,534,886,243	1,482,973,875
率 (%)	99.52	93.34	91.01	91.51	95.27

※平成21年度及び平成25年度は、借換債分を除く

イ 流動性の分析

a 固定資産構成比率

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
固定資産(円)	51,504,869,386	51,347,508,013	50,556,603,716	50,034,794,220	49,543,354,595
総資産(円)	56,148,016,253	55,628,839,251	54,242,372,642	53,802,282,641	54,107,253,886
率 (%)	91.73	92.30	93.21	93.00	91.57

b 借入資本構成比率

$$\frac{\text{借入資本}}{\text{総資本}} \times 100$$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
借入資本(円)	22,178,476,631	21,061,727,141	19,658,838,196	18,314,187,301	17,039,743,531
総資本(円)	56,148,016,253	55,628,839,251	54,242,372,642	53,802,282,641	54,107,253,886
率 (%)	39.50	37.86	36.24	34.04	31.49

c 固定資産対長期資本比率

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
固定資産(円)	51,504,869,386	51,347,508,013	50,556,603,716	50,034,794,220	49,543,354,595
長期資本(円)	55,284,665,861	54,578,748,225	53,379,853,408	53,000,454,906	53,096,925,702
率 (%)	93.16	94.08	94.71	94.40	93.31

d 自己資本構成比率

$$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{総資本}} \times 100$$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
自己資本(円)	31,923,336,892	32,526,369,020	32,969,314,773	33,938,885,893	35,322,870,283
総資本(円)	56,148,016,253	55,628,839,251	54,242,372,642	53,802,282,641	54,107,253,886
率 (%)	56.86	58.47	60.78	63.08	65.28

e 流動比率 $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
流動資産(円)	4,643,146,867	4,281,331,238	3,685,768,926	3,767,488,421	4,563,899,291
流動負債(円)	863,350,392	1,050,091,026	862,519,234	801,827,735	1,010,328,184
率 (%)	537.81	407.71	427.33	469.86	451.72

f 酸性試験比率 (当座比率) $\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$

区 分 \ 年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
現金預金・未収金(円)	4,630,068,687	4,264,103,028	3,481,292,526	3,757,193,201	4,543,007,591
流動負債(円)	863,350,392	1,050,091,026	862,519,234	801,827,735	1,010,328,184
率 (%)	536.29	406.07	403.62	468.58	449.66

- (注) (1)総資産 = 固定資産 + 流動資産 + 繰延勘定 (= 総資本)
 (2)総資本 = 負債 + 資本
 (3)自己資本 = 自己資本金 + 剰余金
 (4)経営資本 = 総資本 - 建設仮勘定 - 投資資産
 (5)支払利息 = 企業債利息 + 借入金利息
 (6)長期資本 = 資本金 + 剰余金 + 固定負債

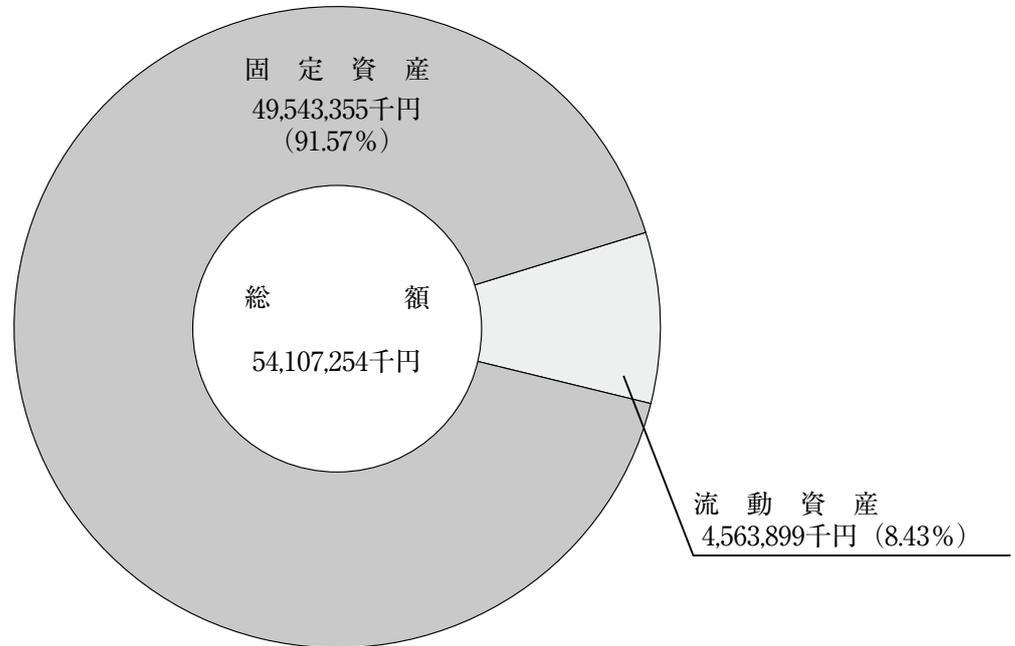
(3) 水道料金原価計算表

区 分	金 額	備 考
供 給 単 価 A	円 銭 239.94	$\frac{\text{給水収益 } 6,731,390,433\text{円}}{\text{有収水量 } 28,054,604\text{m}^3}$
給 水 原 価 B	230.94	$\frac{\text{経常経費（受託工事費除く） } 6,479,045,287\text{円}}{\text{有収水量 } 28,054,604\text{m}^3}$
供 給 損 益 C	9.00	A - B
附 帯 収 益 D	18.41	$\frac{(\text{受託工事収益} - \text{受託工事費}) + \text{その他の営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{有収水量}}$ $(213,800 - 213,800) + 169,718,426 + 346,680,524\text{円}$ $28,054,604\text{m}^3$
特 別 利 益 E	6.45	$\frac{\text{特別利益 } 180,885,210\text{円}}{\text{有収水量 } 28,054,604\text{m}^3}$
特 別 損 失 F	0.79	$\frac{\text{特別損失 } 22,244,575\text{円}}{\text{有収水量 } 28,054,604\text{m}^3}$
特 別 損 益 G	5.66	E - F
純 損 益 H	33.07	C + D + G

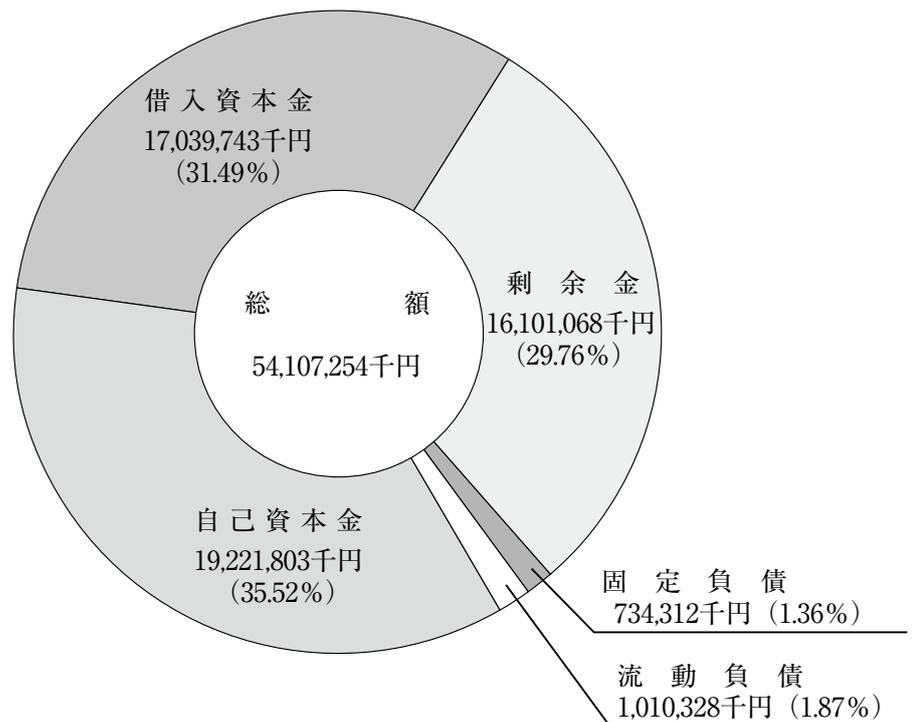
(4) 給水原価の推移

区 分	年 度				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
給 水 原 価	259.33	239.30	249.11	234.16	230.94
原 水 及 び 浄 水 費	110.08	92.41	97.63	94.28	93.67
配 水 及 び 給 水 費	38.44	33.13	38.13	35.48	37.93
業 務 費	10.25	10.54	12.31	9.49	9.65
総 係 費	19.98	19.23	20.13	18.45	18.06
減 価 償 却 費	56.16	55.35	57.88	55.00	52.86
資 産 減 耗 費	3.32	10.15	4.03	4.60	3.26
支 払 利 息	21.10	18.49	18.60	16.80	15.00
雑 支 出	—	—	0.40	0.06	0.51
供 給 単 価	251.27	237.70	240.44	239.59	239.94
供 給 損 益	△ 8.06	△ 1.60	△ 8.67	5.43	9.00
附 帯 収 益	11.92	13.38	12.17	12.80	18.41
特 別 利 益	0.92	0.02	7.36	0.28	6.45
特 別 損 失	0.19	8.24	2.67	1.07	0.79
特 別 損 益	0.73	△ 8.22	4.69	△ 0.79	5.66
純 損 益	4.59	3.56	8.19	17.44	33.07

資 産



負債及び資本



8. その他

(1) 組織・機構図	102
(2) 職員配置表	103
(3) 本年度の主たる事項	104
(4) 歴代管理者・局長	105
(5) 平成25年度イベント	106
(6) 「水道事業ガイドライン」に基づく業務指標の試算結果	107

8. そ の 他

(1) 組織・機構図

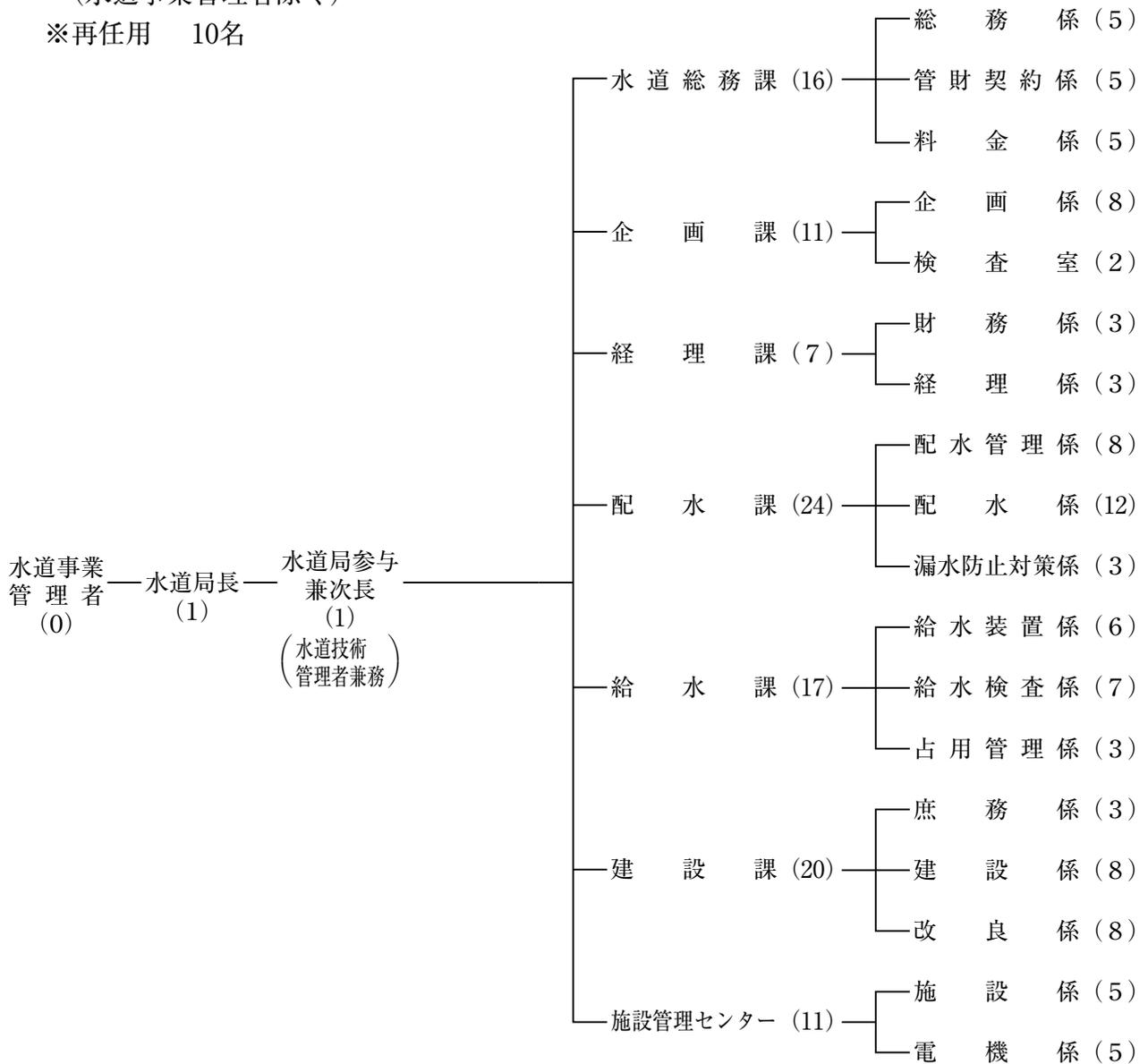
職員定数 233名

職員数 108名

(水道事業管理者除く)

※再任用 10名

(平成26年3月31日現在)



(2) 職員配置表

(平成26年3月31日現在)

所 属	職 員 数	区 分																男女別			
		局 長	参 与 兼 次 長	参 事 長	課 長 幹	主 課 長 補 佐	室 長	主 任 主 査	主 任 技 査	主 任 検 査 員	係 長	主 査	技 査	技 査 (再 任 用)	副 主 査	副 技 査	主 事	技 師	男	女	
水道総務課	18	1	1		1		1		1			1	7	1		3		1		17	1
企 画 課	11				1			1			1	1	1	3	1	1	1			11	
経 理 課	7				1	1						1	3			1				7	
配 水 課	24				1							3	1	15	3			1		23	1
給 水 課	17			1						1		2	1	6	5	1				16	1
建 設 課	20			1		1						2	1	13				1	1	18	2
施 設 管 理 セ ン タ ー	11			1		1				1			1	6	1					10	1
計	108	1	1	3	4	3	1	1	1	2	1	10	15	44	10	6	1	3	1	102	6

※課長には所長、課長補佐には所長補佐を含む。

(3) 本年度の主たる事項

番号	年 月 日	件 名
1	25. 4. 1	主要職員異動 課長 斎 一昭が一般部局より転入した。
2	25. 12. 7	主要職員異動 水道事業管理者 富田 哲夫が退任した。
3	26. 3. 31	主要職員異動 局長 小泉 五男、参与 阿部 好信、参事 久間木 慶一、 参事 古関 淳二が退職した。

(4) 歴代管理者・局長
 〈水道事業管理者〉

氏 名		就 任	退 任	氏 名		就 任	退 任
1	岡 林 益 樹	昭27.10.1	昭30.10.31	8	須 田 和 男	平 3.6.1	平 7.5.31
2	半 谷 真 武	◇ 38.12.16	◇ 47.4.7	9	齋 藤 廣	◇ 7.6.1	◇ 13.12.7
3	齋 藤 勝 二	◇ 47.4.8	◇ 50.5.31	10	半 澤 宏	◇ 14.4.1	◇ 15.3.31
4	桂 英 一	◇ 50.6.1	◇ 54.5.31	11	田 村 廣	◇ 15.4.1	◇ 19.3.31
5	小 野 章	◇ 55.4.1	◇ 57.9.20	12	落 合 省	◇ 19.4.1	◇ 23.4.30
6	遠 藤 昭 三	◇ 58.6.1	◇ 62.5.31	13	富 田 哲 夫	◇ 23.5.1	◇ 25.12.7
7	阿 部 邦 行	◇ 62.6.1	平 3.5.31				

〈水 道 局 長〉

氏 名		就 任	退 任	氏 名		就 任	退 任
1	岡 林 益 樹	昭30.11.1	昭31.4.30	13	丹 治 和 夫	平 5.4.1	平 7.3.31
2	酒 井 外 次	◇ 31.7.1	◇ 41.3.31	14	眞 木 敏 也	◇ 7.4.1	◇ 9.3.31
3	桂 英 一	◇ 42.10.1	◇ 47.4.6	15	三 浦 胡 男	◇ 9.4.1	◇ 10.3.31
4	大久保 達 雄	◇ 47.4.7	◇ 48.6.30	16	譽 田 勝 芳	◇ 10.4.1	◇ 12.3.31
5	小 野 章	◇ 48.7.1	◇ 50.9.30	17	松 永 芳 元	◇ 12.4.1	◇ 13.3.31
6	竹 下 明 道	◇ 50.10.1	◇ 55.3.31	18	鈴 木 一 義	◇ 13.4.1	◇ 16.3.31
7	武 石 敏 明	◇ 55.4.1	◇ 59.3.31	19	柴 田 哲 郎	◇ 16.4.1	◇ 18.3.31
8	志 賀 重 政	◇ 60.4.1	◇ 62.3.31	20	村 田 正 弘	◇ 18.4.1	◇ 19.3.31
9	佐 藤 博 幸	◇ 62.4.1	平元.3.31	21	遠 藤 加 吉	◇ 19.4.1	◇ 21.3.31
10	佐 藤 利 紀	平元.4.1	◇ 2.3.31	22	高 木 良 明	◇ 21.4.1	◇ 24.3.31
11	安 倍 重 男	◇ 2.4.1	◇ 4.3.31	23	小 泉 五 男	◇ 24.4.1	◇ 26.3.31
12	楠 田 正 昭	◇ 4.4.1	◇ 5.3.31				

(5) 平成25年度イベント

(1) 水道週間

平成25年度の水道週間イベントは、平成25年6月15～21日まで市内の「こむこむ」にて開催した。内容は、ポスターコンクール作品展、親子水道出前教室、サイエンスショー等を実施した。



ポスターコンクール作品展



親子水道出前教室



ポスターコンクール表彰式



サイエンスショー



お楽しみコーナー



おいしい水のPR（きき水）

(2) 水道出前教室

水道局職員が講師となり、水道に関する講義や水をきれいにする実験（凝集沈殿実験、簡易ろ過実験）を行う水道出前教室は、平成25年6月3日～12月20日まで市内の小学校にて実施した。平成25年度においては、過去最高の37校で実施した。



職員により講義



水をきれいにする実験

(3) 水道出前講座

水道局職員が、市民の水道事業に関する様々なニーズに合わせたセミナーを開催する水道出前講座については、平成25年度は11回開催し232人を対象に実施した。当講座により、福島市の水道事業について、また水資源の大切さや災害への備え、施設の役割などを市民の方々へ呼び掛けることができ、水道水の安全性について、理解を得られた。



職員より講義



残留塩素測定

(6) 「水道事業ガイドライン」に基づく業務指標の試算結果

福島市水道局では、水道サービスのさらなる向上を目指して、「水道事業ガイドライン」に基づいた業務指標（P I）を試算したのでお知らせする。

1 水道事業ガイドライン

水道事業ガイドラインは、水道事業のサービス内容を共通指標によって数値化する国内規格として、平成17年1月に日本水道協会（JWWA）の規格として制定され、国際規格であるISO/T C224「水道サービスに関する規格」にも登録されている。水道サービスの目標となる6項目（安心、安定、持続、環境、管理、国際）を柱として全部で137項目の業務指標（P I）が示されている。

	業務指標（P I）の数
1. 安心	すべての国民が安心しておいしく飲める水道の供給（22項目）
2. 安定	いつでもどこでも安定的に生活用水を確保（33項目）
3. 持続	いつまでも安心できる水を安定して供給（49項目）
4. 環境	環境保全への貢献（7項目）
5. 管理	水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理（24項目）
6. 国際	我が国の経験の海外移転による国際貢献（2項目）
計	（137項目）

※ P I：業務指標（Performance Indicator）

水道事業ガイドラインに基づく業務指標（P I）

業務指標記号の凡例

↑ 高いほど良い
↓ 低いほど良い

↶ 上限の数字がある
↷ 下限の数字がある

○ ほかの指標と併せて総合評価する

白抜き記号……局の努力で改善できる指標

塗りつぶし記号……ほかの要因がないと改善できない指標

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味
					23年度	24年度	25年度		
安心（すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給）	水資源の保全	1001	水源利用率(%)	(一日平均配水量 / 確保している水源水量) × 100	●	75.9	76.1	76.0	水源のゆとり度、水源の効率性を表している。
		1002	水源余裕率(%)	[(確保している水源水量 / 一日最大配水量) - 1] × 100	●	18.1	15.8	17.5	最大需要量に対してどれだけゆとりを持って水源を確保しているかを表している。
		1003	原水有効利用率(%)	(年間有効水量 / 年間取水量) × 100	↑	89.5	92.6	93.3	取水量に対し、有効に使われた割合を表している。
		1004	自己保有水源率(%)	(自己保有水源水量 / 全水源水量) × 100	●	2.4	2.4	2.4	自己のダム、井戸に適用されるものであり、水源の運用としての自由度を表している。 水道事業者の意志で自由に取水できる水源の占める割合を表している。
		1005	取水量1㎡当たり水源保全投資額(円/㎡)	水源保全に投資した費用 / その流域からの取水量	↑	0.0	0.0	0.0	水道事業者が直接管理に携わっている水源保全に関して年間に要した投資状況を表している。 所有している水源地の流域に限った指標。
	水源から給水栓までの水質管理	1101	原水水質監視度(項目)	原水水質監視項目数	○	55	55	55	水道事業者が安全でおいしい水の供給のために、原水水質をどのくらい詳細に監視しているかを表す。
		1102	水質検査箇所密度(箇所/100km ²)	(水質検査採水箇所数 / 給水区域面積) × 100	↑	10.2	10.2	10.2	給水面積100km ² 当たりの給水の監視密度を表している。
		1103	連続自動水質監視度(台/(1,000㎡/日))	(連続自動水質監視装置設置数 / 一日平均配水量) × 1,000	○	0.000	0.000	0.000	連続自動水質監視装置とは、濁度・色度・残留塩素を1日24時間連続して測る装置。 1日平均配水量1,000㎡あたりに設置されている連続自動水質監視装置の台数を表している。
		1104	水質基準不適合率(%)	(水質基準不適合回数 / 全検査回数) × 100	↓	0.0	0.0	0.0	水質基準不適合回数とは、年間1項目でも規定値を満足しない回数をいう。 水質基準で定められている基準値を満足することは最低限遵守すべきことであるので、基本的には0%となる。
		1105	カビ臭から見たおいしい水達成率(%)	[(1 - ジェオスミン最大濃度 / 水質基準値) + (1 - 2MIB最大濃度 / 水質基準値)] / 2 × 100	↑	100	100	100	カビ臭の原因物質の多少による水道水のおいしさを表している。
		1106	塩素臭から見たおいしい水達成率(%)	[1 - (年間残留塩素最大濃度 - 残留塩素水質管理目標値) / 残留塩素水質管理目標値] × 100	↑	0	50	25	残留塩素水質管理目標値：0.4mg/L 残留塩素の多少による水道水のおいしさを表している。
1107	総トリハロメタン濃度水質基準比(%)	(総トリハロメタン最大濃度 / 総トリハロメタン濃度水質基準値) × 100	↓	38	45	56	トリハロメタンの多少による水道水の安全性を表している。		

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味	
					23年度	24年度	25年度			
安心(すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給)	水源から給水栓までの水質管理	1108	有機物(TOC)濃度水質基準比(%)	(有機物最大濃度/有機物水質基準値)×100	↓	37	37	47	有機物濃度の多少による水道水の安全性やおいしさを表している。	
		1109	農薬濃度水質管理目標比(%)	(測定を実施した農薬毎の最大濃度をそれぞれの水質管理目標値で除した値の合計値/測定を実施した農薬数)×100	○	—	—	—	19年度以降は浄水受水のため省略。	農薬の多少による水道水の安全性を表している。
		1110	重金属濃度水質基準比(%)	(6項目の重金属毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計/6)×100	↓	10	10	8	重金属の多少による水道水の安全性を表している。 重金属によっては、配水管、給水装置に起因するものもあるので、単に浄水処理の良し悪しによる問題ではなく、給水栓の水質として考慮する問題である。	
		1111	無機物質濃度水質基準比(%)	(6項目の無機物質毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計/6)×100	↓	11	12	7	味や色などの水道水の性状を表す指標。 通常浄水処理では処理できないものもあり、特に原水の水質に留意する。	
		1112	有機物質濃度水質基準比(%)	(4項目の有機物質毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計/4)×100	↓	5	5	5	水道水の基本的な性状を表す指標。 発泡、臭気、生活利用上の観点から設定されている。	
		1113	有機塩素化学物質濃度水質基準比(%)	(9項目の有機塩素化学物質毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計/9)×100	↓	0	0	0	有機塩素化合物の多少による水道水の安全性を示す指標。 有機塩素化合物は、主に精密機器の洗浄剤、ドライクリーニング用の洗剤などに使用される。	
		1114	消毒副生成物濃度水質基準比(%)	(5項目の消毒副生成物毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計/5)×100	↓	9	8	10	消毒副生成物の多少による水道水の安全性を示す指標。	
		1115	直結給水率(%)	(直結給水件数/給水件数)×100	↑	97.6	97.6	97.6	直結給水を実施している割合を示しており、水質管理の信頼性確保に対する取り組み度合いや良質の水道水を供給するというサービスを向上させるための指標の一つ。 受水槽の衛生問題や水質トラブルを解消すると期待されている。	
		1116	活性炭投入率(%)	(年間活性炭投入日数/年間日数)×100	↓	0.0	0.0	0.0	年間活性炭投入日数とは、粉末活性炭を浄水処理として投入した日数。	
		1117	鉛製給水管率(%)	(鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	↓	1.0	1.0	0.9	全給水件数に占める鉛製給水管が使用されている割合を表す。 私有財産である給水装置に関するものであるため、水道事業者の努力だけでは改善が難しい。	
安定(いつでもどこでも安定的に生活用水を確保)	連続した水道水の供給	2001	給水人口一人当たり貯留飲料水量(L/人)	[(配水池総容量(緊急貯水槽容量は除く)×1/2+緊急貯水槽容量)/給水人口]×1000	↑	181	182	182	災害時に1人当たりに確保されている飲料水量を表す。 地震時などの災害時の飲料水確保として、余裕のある配水池が必要である。	
		2002	給水人口一人当たりの配水量(L/日/人)	(一日平均配水量/給水人口)×1,000	↓	311	314	314	水環境の保全に対する取り組みの一つである節水型消費パターンの促進度合いを示す指標。	

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味
					23年度	24年度	25年度		
安定(いつでもどこでも安定的に生活用水を確保)	連続した水道水の供給	2003	浄水予備力確保率(%)	$[(\text{全浄水施設能力} - \text{一日最大浄水量}) / \text{全浄水施設能力}] \times 100$	○	64.0	65.2	64.5	全浄水施設能力に対する予備力の割合であり、水運用の安定性、柔軟性及び危機対応性を示す指標の一つ。事故時等又は改良・更新時にも対応が可能となる予備力を確保していることが望ましい。
		2004	配水池貯留能力(日)	配水池総容量/一日平均配水量	↑	1.16	1.16	1.16	一日平均配水量の何日分が配水池などで貯留可能であるかを表しており、給水に対する安全性、災害、事故等に対する危機対応性を示す指標。水道施設設計指針では、配水池の有効容量は計画一日最大給水量の12時間分。
		2005	給水制限数(日)	年間給水制限日数	↓	0	0	0	年間に給水制限を実施した日数であり、需要者の快適・利便性を示す指標、給水サービスの安定性を示す指標。
		2006	普及率(%)	$(\text{給水人口} / \text{給水区域内人口}) \times 100$	↑	97.5	98.7	98.7	給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合であり、事業サービス享受の概況を総合的に判断するための指標、当該事業の地域性を示す指標の一つ。
		2007	配水管延長密度(km/km ²)	配水管延長/給水区域面積	↑	5.5	5.6	5.6	給水区域面積1km ² 当たりの配水管延長を表しており、消費者からの給水申込みに対する物理的利便性の度合いを示す。
		2008	水道メータ密度(個/km)	水道メータ数/配水管延長	↑	69	70	81	配水管延長1km当たりの水道メータ数を表しており、配水管路が担っている給水件数の数を示す。
		2101	経年化浄水施設率(%)	$(\text{法定耐用年数を超えた浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$	↓	51.2	51.2	50.3	経年化した浄水施設がどの程度の割合を占めているかを表す。耐用年数を超えている施設であっても、使用できないというわけではない。
	将来への備え	2102	経年化設備率(%)	$(\text{経年化年数を超えている電気・機械設備数} / \text{電気・機械設備の総数}) \times 100$	↓	データなし	データなし	データなし	法定耐用年数を超えた電気・機械設備数については集計していない。経年化した電気・機械施設がどの程度の割合を占めているかを表す。耐用年数を超えている施設であっても、使用できないというわけではない。
		2103	経年化管路率(%)	$(\text{法定耐用年数を超えた管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	↓	3.8	7.8	9.9	経年化した管路がどの程度の割合を占めているかを表す。耐用年数を超えている管路であっても、使用できないというわけではない。
		2104	管路の更新率(%)	$(\text{更新された管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	↑	0.44	0.25	0.34	年間に更新された導・送・配水管の割合を表しており、管路の信頼性確保に対する執行度合いを示す。
2105		管路の更生率(%)	$(\text{更生された管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	○	0.001	0.001	0.013	更生とは、既設管内面のライニング補修のことをいう。年間に更生された導・送・配水管の割合を表しており、管路の信頼性確保に対する執行度合いを示す。	
2106		バルブの更新率(%)	$(\text{更新されたバルブ数} / \text{バルブ設置数}) \times 100$	↑	0.61	0.79	0.54	年間に交換されたバルブの割合を表しており、管路における配水制御上の信頼性確保に努めている度合いを示す。	
2107		管路の新設率(%)	$(\text{新設管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$	○	0.55	0.99	0.54	年間の管路整備の度合いを示す。十分に整備された事業体では小さい値になる。	
リスク管理		2201	水源の水質事故数(件)	年間水源水質事故件数	↓	0	0	0	年間水源水質事故件数とは、年間に表流水・井戸を問わず、油や廃液の流出や農薬の化学肥料などにより水源が汚染され、取水停止になること及び取水停止になるおそれがある件数をいう。

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味
					23年度	24年度	25年度		
安定(いつでもどこでも安定的に生活用水を確保) リスク管理	2202	幹線管路の事故割合(件/100km)	(幹線管路の事故件数/幹線管路延長)×100	↓	0.0	0.0	0.0		幹線管路100km当たりの年間の事故件数であり、管路施設の健全性を示す。この数値が高ければ、事故が多発する路線や経年管のある路線の更新を積極的に実施する等の対策が必要である。
	2203	事故時配水量率(%)	(事故時配水量/一日平均配水量)×100	↑	100.0	100.0	100.0		事故時においても安定的な給水ができるかどうかという点に関して、システムの融通性、余裕度などをあらし、サービスの安定性を示している。
	2204	事故時給水人口率(%)	(事故時給水人口/給水人口)×100	↓	0.0	0.0	0.0		同上
	2205	給水拠点密度(箇所/100km ²)	(配水池・緊急貯水槽数/給水区域面積)×100	↷	5.5	5.5	5.1		給水区域100km ² 当たりの拠点数であり、緊急時の利用しやすさを表している。また、危機対応性を示す指標の一つ。
	2206	系統間の原水融通率(%)	(原水の融通能力/受水側浄水能力)×100	↓	0.0	0.0	0.0		他系統からの融通可能な原水水量の割合であり、水運用の安定性、柔軟性及び危機対応性を示す指標の一つ。
	2207	浄水施設耐震率(%)	(耐震対策の施されている浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	↑	0.0	0.0	0.0		水道構造物の耐震性は、水道施設耐震工法指針で定めるレベル2・ランクAの安全度が必要とされている。
	2208	ポンプ所耐震施設率(%)	(耐震対策の施されているポンプ所能力/全ポンプ所能力)×100	↑	50.1	50.1	50.1		同上
	2209	配水池耐震施設率(%)	(耐震対策の施されている配水池容量/配水池総容量)×100	↑	33.9	33.9	33.5		同上
	2210	管路の耐震化率(%)	(耐震管延長/管路総延長)×100	↑	*3.1	*3.4	*3.7	耐震管にポリエチレン管を含めたため*で表示した。	導・送・配水管路の耐震化の進捗状況を表しており、地震災害に対する水道システムの安全性、危機対応性を示す。
	2211	薬品備蓄日数(日)	平均薬品貯蔵量/一日平均使用量	↷	30.6	30.5	31.5		平均薬品貯蔵量とは、薬品貯蔵槽に貯蔵している貯蔵量の年間平均をいう。浄水場における水処理用薬品は貯蔵が不可欠である。
	2212	燃料備蓄日数(日)	平均燃料貯蔵量/一日使用量	↑	-	-	-	19年度以降は自家発電施設廃止のため該当なし。	平均燃料貯蔵量とは、燃料貯蔵槽に貯蔵している貯蔵量の年間平均をいう。浄水場における燃料は貯蔵が不可欠である。
	2213	給水車保有度(台/1,000人)	(給水車数/給水人口)×1,000	↑	0.011	0.011	0.011		給水人口1,000人当たりの給水車保有台数。
	2214	可搬ポリタンク・ポリパック保有度(個/1,000人)	(可搬ポリタンク・ポリパック数/給水人口)×1,000	↑	16.5	30.5	42.8		給水人口1,000人当たりの可搬ポリタンク・ポリパックの保有数。備蓄品は緊急時に容易に使えることが重要である。
	2215	車載用の給水タンク保有度(m ³ /1,000人)	(車載用給水タンクの総容量/給水人口)×1,000	↑	0.105	0.105	0.105		災害時の人口1,000人当たりの車載用給水タンク保有度を表しており、地震災害時等に対する危機対応性を示すもの。
	2216	自家発電設備容量率(%)	(自家発電設備容量/当該設備の電力総容量)×100	↑	-	-	-	19年度以降は、自家発電施設廃止のため該当なし。	水道施設における電力設備の電力総容量に対する自家発電設備容量の割合で、非常時に稼働可能な電気設備の割合を示すものである。非常時の危機対応性を示す指標の一つである。

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味	
					23年度	24年度	25年度			
環境・社会・経済・生活・水環境	リスク管理	2217	警報付施設率(%)	(警報付施設数/全施設数)×100	↑	-	-	-	防犯対策等のため公表しない。	水道施設の安全確保に関する指標である。
		2218	給水装置の凍結発生率(件/1,000件)	(給水装置の年間凍結件数/給水件数)×1,000	↓	0.98	0.23	0.51		年間における給水件数1,000件当たりの凍結発生件数を表しており、水道事業を取り巻く地域性を表すものである。
持続(いつまでも安心できる水を安定して供給)	地域特性にあった運営基盤の強化	3001	営業収支比率(%)	(営業収益/営業費用)×100	↑	106.9	112.5	114.2		収益性を見る際の一つの指標。営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が高いほど営業利益率が高いことを表し、これが100%未満であることは営業損失が生じていることを意味する。
		3002	経常収支比率(%)	[(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	↑	101.4	107.8	111.9		経常収支比率は、収益性を見る際の最も代表的な指標。経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表し、これが100%未満であることは経常損失が生じていることを意味する。100%を上回っていれば良好な経営状態といえる。
		3003	総収支比率(%)	(総収益/総費用)×100	↑	103.3	107.4	114.3		総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、この比率が100%未満の場合は、収益で費用を賄えないこととなり、健全な経営とはいえない。
		3004	累積欠損金比率(%)	[累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100	↓	0	0	0		事業の経営状況の健全性を示す指標の一つで、累積欠損金が生じている以上、その企業の経営はすでに健全なものであるとはいえないが、経営の悪化の状況を知ることができる。0%であることが望ましい。
		3005	繰入金比率(収益的収支分)(%)	(損益勘定繰入金/収益的収入)×100	○	1.0	0.7	1.8		収益的収入に対する繰入金の依存度を表しており、事業の経営状況の健全性、効率性を示す指標の一つ。水道事業は水道料金を財源とする独立採算制を基本としており、この指標は低い方が望ましい。
		3006	繰入金比率(資本的収入分)(%)	(資本勘定繰入金/資本的収入)×100	○	12.6	10.7	15.8		資本的収入に対する繰入金の依存度を表しており、事業の経営状況の健全性、効率性を示す指標の一つ。水道事業は水道料金を財源とする独立採算制を基本としており、この値は低い方が望ましい。
		3007	職員一人当たり給水収益(千円/人)	(給水収益/損益勘定所属職員数)/1,000	↑	80,894	83,578	83,207		損益勘定職員一人当たりの生産性について、給水収益を基準として把握するための指標。
		3008	給水収益に対する職員給与費の割合(%)	(職員給与費/給水収益)×100	↓	13.7	12.7	12.0		給水収益に対する職員給与費の割合を表しており、事業の収益性を分析するための指標の一つ。給水収益は本来、できるだけ給水サービスに充てられることが好ましく、職員給与費に充てることにより、この指標が上昇することは好ましくない。
		3009	給水収益に対する企業債利息の割合(%)	(企業債利息/給水収益)×100	↓	7.7	7.0	6.2		給水収益に対する企業債利息の割合を表しており、事業の収益性を分析するための指標の一つ。

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味
					23年度	24年度	25年度		
持続 (いつまでも安心して水を安定して供給) 地域特性にあった運営基盤の強化	3010	給水収益に対する減価償却費の割合(%)	(減価償却費/給水収益)×100	↓	24.1	23.0	22.0		給水収益に対する減価償却費の割合を表しており、事業の収益性を分析するための指標の一つ。
	3011	給水収益に対する企業債償還金の割合(%)	(企業債償還金/給水収益)×100	↓	21.9	21.0	21.0		給水収益に対する企業債償還金の割合を示しており、企業債償還元金が経営に与える影響を分析するための指標。
	3012	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	(企業債残高/給水収益)×100	↓	303.8	273.9	253.1		給水収益に対する企業債残高の割合を示しており、企業債残高の規模と経営への影響を分析するための指標。
	3013	料金回収率(%) (給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合)	(供給単価/給水原価)×100	↑	96.5	102.3	103.9		供給単価と給水原価の関係を表しており、事業の経営状況の健全性を示す指標の一つ。 料金回収率が100%を下回っている場合、給水に係る費用が料金収入以外の収入で賄われていることを意味する。
	3014	供給単価(円/m ³)	給水収益/有収水量	↓	240.4	239.6	239.9		有収水量1 m ³ 当たりについて、どれだけの収益を得ているかを表すもの。
	3015	給水原価(円/m ³)	[経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)]/有収水量	↓	249.1	234.2	230.9		有収水量1 m ³ 当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもの。
	3016	1 箇月当たり家庭用料金(10m ³)(円)	1 箇月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+10m ³ 使用時の従量料金	↓	2,160	2,160	2,160	税抜き	標準的な家庭における水使用量に対する料金を表すもので、消費者の経済的利便性を示す指標の一つ。
	3017	1 箇月当たり家庭用料金(20m ³)(円)	1 箇月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+20m ³ 使用時の従量料金	↓	3,540	3,540	3,540	税抜き	同上
	3018	有収率(%)	(有収水量/給水量)×100	↑	85.2	88.4	89.0		年間の配水量(給水量)に対する有収水量の割合を示すもので、施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかどうかを確認できる。
	3019	施設利用率(%)	(一日平均給水量/一日給水能力)×100	↑	76.4	76.5	76.4		一日当たりの給水能力に対する一日平均給水量の割合を示したもので、水道施設の経済性を総合的に判断する指標。 数値が大きいほど効率的であるとされている。
	3020	施設最大稼働率(%)	(一日最大給水量/一日給水能力)×100	↓	85.2	86.9	85.5		一日最大給水量と一日給水能力の割合で、水道事業の施設効率を判断する指標の一つ。 この数値が100%に近い場合には、安定的な給水に問題を残しているといえる。
	3021	負荷率(%)	(一日平均給水量/一日最大給水量)×100	↑	89.6	88.1	89.4		水道事業の施設効率を判断する指標の一つ。 数値が大きいほど効率的であるとされている。
	3022	流動比率(%)	(流動資産/流動負債)×100	↑	427.3	469.9	451.7		流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。 流動比率は100%以上であることが必要であり、100%を下回っていれば不良債務が発生していることになる。
	3023	自己資本構成比率(%)	[(自己資本金+剰余金)/負債・資本合計]×100	↑	60.8	63.1	65.3		総資本(負債及び資本)に占める自己資本の割合を表しており、財務の健全性を示す指標の一つ。 事業の安定化のためには、この比率を高めていくことが必要である。

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味
					23年度	24年度	25年度		
地域特性にあった運営基盤の強化	3024	固定比率(%)	$[\text{固定資産}/(\text{自己資本} + \text{剰余金})] \times 100$	↓	153.3	147.4	140.3		自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを見る指標。 100%以下であれば固定資産への投資が自己資本の枠内におさまっていることになる。 100%を超えていれば借入金で設備投資を行っていることになり、借入金の償還、利息の負担などの問題が生じる。
	3025	企業債償還元金対減価償却費比率(%)	$(\text{企業債償還元金}/\text{当年度減価償却費}) \times 100$	↓	91.0	91.5	95.3		投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標。 一般的に、この比率が100%を超えると再投資を行うに当たって企業債等の外部資金に頼らざるを得なくなり、投資の健全性は損なわれることになる。
	3026	固定資産回転率(回)	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / [(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2]$	↑	0.13	0.14	0.14		固定資産回転率は固定資産に対する営業収益の割合を回数で表したものであり、期間中に固定資産の何倍の営業収益があったかを示すもの。 回転率が高い場合は施設が有効に稼働していることを示し、一方、低い場合は一般的に過大投資になっていることが考えられる。
	3027	固定資産使用効率(m ³ /10,000円)	$(\text{給水量}/\text{有形固定資産}) \times 10,000$	↑	6.2	6.3	6.4		固定資産使用効率は、有形固定資産に対する年間総給水量の割合である。 この率が高いほど施設が効率的であることを意味し、数値の低い場合は、遊休資産、未稼働資産についての検討を要する。
	3101	職員資格取得度(件/人)	職員が取得している法定資格数/全職員数	↑	1.91	1.78	1.95		法定資格とは、水道維持管理指針の法定資格者一覧表に記載されている、水道事業を遂行する上で必要と考えられる資格をいう。
	3102	民間資格取得度(件/人)	職員が取得している民間資格取得数/全職員数	↑	0.06	0.17	0.29		民間資格とは、配水管工技能講習会と配管設計講習会の修了者及び浄水施設管理技士(1・2級)と管路施設管理技士(1・2級)の資格取得者をいう。
	3103	外部研修時間(時間)	$(\text{職員が外部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) / \text{全職員数}$	↑	4.4	8.4	9.3		外部研修とは、水道事業に関係あると水道事業者が認めて、職務として参加する研修であり、主催者が本人の所属する水道事業者以外のものをいう。
	3104	内部研修時間(時間)	$(\text{職員が内部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) / \text{全職員数}$	↑	3.4	3.6	3.5		内部研修とは、本人の所属する水道事業者が独自に職務として参加させる水道事業に関する研修をいう。
	3105	技術職員率(%)	$(\text{技術職員総数}/\text{全職員数}) \times 100$	○	68.8	69.7	64.3		この指標が低くなることは、水道事業者として直営での施設の維持管理が難しくなることにつながる。
	3106	水道業務経年数度(年/人)	全職員の水道業務経年数/全職員数	○	18.9	19.1	18.1		業務は経験によってその遂行能力にも差があるので、組織全体として見れば、十分経験を積んだ職員がいることが望ましい。
	水道文化・技術の継承と発展	3107	技術開発職員率(%)	$(\text{技術開発業務従事職員数}/\text{全職員数}) \times 100$	↷	0.00	0.00	0.00	
3108		技術開発費率(%)	$(\text{技術開発費}/\text{給水収益}) \times 100$	↷	0.00	0.00	0.00		水道技術開発に対する投資の度合いを示す指標。
3109		職員一人当たり配水量(m ³ /人)	年間配水量/全職員数	↑	290,000	290,000	322,000		水道サービス全般の効率性を示す指標の一つ。
3110		職員一人当たりメータ数(個/人)	水道メータ総数/全職員数	↑	959	982	1,266		同上
3111		職員一人当たりメータ数(個/人)	水道メータ総数/全職員数	↑	959	982	1,266		同上

持続(いつまでも安心できる水を安定して供給)

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味
					23年度	24年度	25年度		
水道文化・技術の継承と発展	3111	公傷率(%)	[(公傷で休務した延べ人・日数)/(全職員数×年間公務日数)]×100	↓	0.000	0.000	0.000		水道事業の安全衛生管理に係る指標。
	3112	直接飲用率(%)	(直接飲用回答数/直接飲用アンケート回答数)×100	↑	93.3	93.3	83.3		アンケートで水道水を直接飲用していると答えた回答数の割合。水道水のイメージを問うものであり、ボトルウォーターを併用したり浄水器の使用を問うものではない。
	3201	水道事業に係る情報の提供度(部/件)	広報誌配布部数/給水件数	↑	10.2	11.9	11.7		事業への理解や透明性の確保等を目的として行っている広報の活動状況を示す指標。
	3202	モニタ割合(人/1,000人)	(モニタ人数/給水人口)×1,000	↑	0.054	0.055	0.044		消費者との双方向コミュニケーションを推進している割合を示す指標。
	3203	アンケート情報収集割合(人/1,000人)	(アンケート回答人数/給水人口)×1,000	↑	0.05	0.05	0.25		消費者のニーズの収集実行度を示すものの。
	3204	水道施設見学者割合(人/1,000人)	(見学者数/給水人口)×1,000	↑	0.0	0.0	0.0		消費者との双方向コミュニケーションを推進している割合を示すものの。
	3205	水道サービスに対する苦情割合(件/1,000件)	(水道サービス苦情件数/給水件数)×1,000	↓	0.10	0.05	0.05		給水件数に対する消費者対応、検針関係、料金関係、工事関係、断水・濁水関係などに対応する年間苦情割合であり、消費者の満足度を示す指標の一つ。
	3206	水質に対する苦情割合(件/1,000件)	(水質苦情件数/給水件数)×1,000	↓	0.04	0.09	0.04		消費者の水質への満足度を示す指標の一つ。この指標の値が高ければ、より良質な水道水の給水に向けて、水源水質改善の取り組みや高度浄水処理等の施設整備が求められる。
	3207	水道料金に対する苦情割合(件/1,000件)	(年間の水道料金に対する苦情件数/給水件数)×1,000	↓	0.061	0.026	0.000		消費者の水道料金に対する満足度を示す指標の一つ。
	3208	監査請求数(件)	年間監査請求件数	↓	0	0	0		年間監査請求件数とは、年間の法令に基づき水道事業に関して監査請求された件数をいう。
3209	情報開示請求数(件)	年間情報開示請求件数	○	2	5	3		年間情報開示請求件数とは、年間の法令に基づき水道事業に関して情報開示請求された件数をいう。	
3210	職員一人当たり受付件数(件/人)	受付件数/全職員数	↑	459	388	409		受付とは、給水申込、給水工事申込、検査、給水開始、中止、廃止、振替申込、精算など消費者が給水を受けることに関し水道事業体に通知しなければならない案件をいう。	
地球温暖化防止・環境保全などの推進	4001	配水量1㎡当たり電力消費量(kWh/㎡)	総電力量/年間配水量	↓	0.04	0.04	0.04		総電力量とは、年間の取水、貯水から給水に至るまで、及び営業所、事務所など水道事業に係る各施設において使用した電力の総量で、水道事業すべての事務所で使用する電力とする。電力は事故時の確保が重要であるので、単に効率だけではなく環境、リスクの分散から、効率が悪くても二重化することもある。
	4002	配水量1㎡当たり消費エネルギー(MJ/㎡)	全施設での総エネルギー消費量/年間配水量	↓	0.13	0.13	0.13		地球環境保全への取り組みが求められるなか、省エネルギーへの取り組みが強化されている。本指標であるエネルギー原単位は、省エネルギー対策に対し具体的な削減目標など環境負荷低減を図るために取られる有効な施策を選定するのに活用が可能である。

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味
					23年度	24年度	25年度		
環境（環境保全への貢献）	地球温暖化防止・環境保全などの推進	4003	再生可能エネルギー利用率(%)	(再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量)×100	↑	0.0	0.0	0.0	水道事業体における再生可能エネルギー利用の割合を表しており、環境負荷低減に対する取り組み度合いを示す指標、環境保全度を示す指標の一つ。 再生可能エネルギー設備の電力使用量とは、太陽光発電・風力発電など水道事業体が保有する再生可能エネルギー設備により発電され、かつ使用された年間電力量。
		4004	浄水発生土の有効利用率(%)	(有効利用土量/浄水発生土量)×100	↑	-	-	-	浄水受水のため発生土なし。 浄水処理過程における発生土の有効利用であり、環境保全への取り組み度合いを示す指標、環境保全度を示す指標の一つ。
		4005	建設副産物のリサイクル率(%)	(リサイクルされた建設副産物量/建設副産物排出量)×100	↑	22.3	71.6	85.6	水道事業における工事等において、発生する建設副産物の有効利用であり、環境保全への取り組み度合いを示す指標、環境保全性を示す指標の一つ。 リサイクルされた建設副産物とは、建設工事に伴って副次的に得られる物品。 例えば建設発生土などのこと。
		4006	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量(g・CO ₂ /m ³)	総二酸化炭素(CO ₂)排出量/年間配水量×10 ⁶	↓	19	16	22	水道事業において温室効果ガス排出量の抑制により環境対策への一つの要素としている。
	健全な水循環	4101	地下水率(%)	(地下水揚水量/水源利用水量)×100	↻	0.0	0.0	0.0	地下水揚水量とは、年間の井戸から水道原水として汲み上げた量をいう。 地下水は、コストも安く安定しているので利用価値が大きい。しかし、過剰揚水は地盤沈下につながる。
管理（水道システムの適正な実行・業務運営）	適正な実行・業務運営	5001	給水圧不適正率(%)	[適正な範囲になかった圧力測定箇所・日数/(圧力測定箇所総数×年間日数)]×100	↓	0.00	0.00	0.00	適正な範囲とは、水道施設設計指針に定められている給水圧の範囲0.15MPa～0.74MPaにあるか、又は当該水道事業体の規程、条例等に定められた範囲にあることをいう。 圧力は給水サービスの重要なファクタである。
		5002	配水池清掃実施率(%)	[最近5年間に清掃した配水池容量/(配水池総容量/5)]×100	↑	195	168	312	配水池の管理状況を表すもの。 併せて配水池の点検も行うことが望ましい。
		5003	年間ポンプ平均稼働率(%)	[ポンプ運転時間の総計/(ポンプ総台数×年間日数×24)]×100	○	11.2	12.7	13.0	年間に水道施設の主要設備であるポンプがどの程度稼働しているのかを示しており、ポンプ施設の余裕度を測定する指標である。
		5004	検針誤り割合(件/1,000件)	(誤検針件数/検針総件数)×1,000	↓	0.01	0.01	0.02	誤りとは、水道メータ指針の読み間違い、検針戸票の入れ間違いなど検針に関する一切の誤りをいう。ただし、水道メータの事故、故障による誤検針はこれに入れない。
		5005	料金請求誤り割合(件/1,000件)	(誤料金請求件数/料金請求総件数)×1,000	↓	0.08	0.08	0.08	誤りとは、料金請求額の間違い、請求先の間違いなど料金請求に関する一切の誤りをいう。ただし、計算機の故障は含まないが、ソフトウェアの不具合による誤請求は含む。
		5006	料金未納率(%)	(年度末未納料金総額/総料金収入額)×100	↓	9.4	9.5	10.1	年度末未納料金総額とは、年度末における水道料金に限り、その年度の未納金の総額をいう。 総料金収入額とは、年間の水道料金に限り、その年度の未納額も含んで収入となるべきであった金額の総額。
		5007	給水停止割合(件/1,000件)	(給水停止件数/給水件数)×1,000	↓	31.8	22.2	23.8	給水停止件数とは、水道料金が未納となって、給水停止した年間件数をいう。

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味
					23年度	24年度	25年度		
管理（水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理）	適正な実行・業務運営	5008	検針委託率(%)	(委託した水道メータ数/水道メータ数)×100	↑	100.0	100.0	100.0	委託した水道メータ数とは、業者に検針を委託した水道メータの総数をいう。
		5009	浄水場第三者委託率(%)	(第三者委託した浄水場能力/全浄水場能力)×100	○	0.0	0.0	0.0	第三者委託した浄水場能力とは、年度当初の法に基づき第三者委託している浄水場の能力をいう。
		5101	浄水場事故割合(10年間の件数/箇所)	10年間の浄水場停止事故件数/浄水場総数	↓	0.0	0.0	0.0	浄水場停止事故とは、必要とされる水量浄水場停止事故とは、必要とされる水量の一部でも送水できなかった場合をいう。浄水場の事故は多いが、施設の二重化やバックアップ機能が働いて、浄水、送水には影響がでないようになっていることが一般である。しかし、事故により停止すると影響が大きい。
		5102	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率(%)	[(ダクタイル鋳鉄管延長+鋼管延長)/管路総延長]×100	↑	76.2	76.2	76.3	導・送・配水管路の母材の強度に視点を当てた指標で、維持管理上の容易性を示すもの。
		5103	管路の事故割合(件/100km)	(管路の事故件数/管路総延長)×100	↓	2.2	2.4	2.1	管路の健全性を示すもの。
		5104	鉄製管路の事故割合(件/100km)	(鉄製管路の事故件数/鉄製管路総延長)×100	↓	1.1	0.9	1.3	鉄製管路の健全性を示すもの。
		5105	非鉄製管路の事故割合(件/100km)	(非鉄製管路の事故件数/非鉄製管路総延長)×100	↓	6.0	7.6	5.0	非鉄製管路の健全性を示すもの。
		5106	給水管の事故割合(件/1,000件)	(給水管の事故件数/給水管件数)×1,000	↓	2.6	2.7	2.5	配水管分岐から水道メーターまでの給水管の健全性を示すもの。
		5107	漏水率(%)	(年間漏水量/年間配水量)×100	↓	9.3	7.1	6.5	漏水量は直接測定が不可能なので推定によらざるを得ない。
		5108	給水件数当たり漏水量(m ³ /年/件)	年間漏水量/給水件数	↓	25.6	25.5	17.6	漏水量は直接測定が不可能なので推定によらざるを得ない。この指標は漏水が給水管で多いということに視点を当てたものである。
		5109	断水・濁水時間(時間)	(断水・濁水時間×断水・濁水区域給水人口)/給水人口	↓	データなし	データなし	データなし	断水・濁水時間と断水・濁水区域人口のデータを把握していない。断水は濁水によっても起こるが、ここでいう断水とは事前に予測できない場合に限る。
		5110	設備点検実施率(%)	(電気・計装・機械設備等の点検回数/電気・計装・機械設備の法定点検回数)×100	↑	438	438	438	過去1年間に水道施設の主要設備の点検が、機器数に対してどの程度実施されたかを表しており、管理の適正度を示す指標。この指標は通常100%以上でなければならない。
		5111	管路点検率(%)	(点検した管路延長/管路総延長)×100	↑	54	54	53	管路に対する年間の点検率であり、管路の健全性確保に対する執行度合いを示すもの。
		5112	バルブ設置密度(基/km)	バルブ設置数/管路総延長	↑	14.6	14.5	14.6	配水操作の柔軟性や管路の維持管理の容易性を示すもの。
		5113	消火栓点検率(%)	(点検した消火栓数/消火栓数)×100	↑	100.0	100.0	100.0	消火栓に対する年間の点検率であり、消防水利機能の健全性確保に対する執行度合いを示すもの。
		5114	消火栓設置密度(基/km)	消火栓数/配水管延長	↑	2.3	2.3	2.3	管路施設の消防能力、救命ライフラインとしての危機対応能力の度合いを示すもの。
		5115	貯水槽水道指導率(%)	(貯水槽水道指導件数/貯水槽水道総数)×100	↑	3.6	3.5	3.2	水質の安全性のため、貯水槽に対しても十分管理を行き届かせる必要がある。このため水道事業者がどの程度関与しているかこの指標は示している。

分類	番号	業務指標	定義	業務評価	福島市			備考	指標の意味
					23年度	24年度	25年度		
国際（我が国の経験の海外移転による国際貢献）	技術の移転	6001	国際技術等協力度度 (人・週)	人的技術等協力者数 ×滞在週数	↑	0	0	0	人的技術等協力者とは、年間の海外に水道技術及びそれに関連する事務、経営管理を含む公的な派遣をされた人数をいう。
	国際機関、諸国との交流	6101	国際交流数(件)	年間的交流件数	↑	0	0	0	交流とは、水道事業の発展のため情報交換、会議、会合、研修をいう。 物資の交換はこの交流とはしない。

参 考 資 料

水道料金変遷表	120
加入金変遷表	122
摺上川ダム	123

参 考 資 料

水 道 料 金

料金体系	用途別 改定年月日	家 庭 用			団 体 用			営 業 用			
		基本 水量	基 本 料 金	超 過 料 金	基本 水量	基 本 料 金	超 過 料 金	基本 水量	基 本 料 金	超 過 料 金	
用 途 別	大正 14. 4. 1	17m ³	1.20	0.05	17m ³	1.20	0.05	17m ³	1.20	0.05	
	10m ³	昭和 5. 7. 1		0.90	0.05		0.90	0.05		0.90	0.05
		20. 4. 1		1.50	0.06		1.50	0.06		1.50	0.06
		21. 4. 1		3.75	0.15		3.75	0.15		3.75	0.15
		21. 10. 1		7.50	0.30	10m ³	7.50	0.30	10m ³	7.50	0.30
		22. 4. 1		12.00	0.50		12.00	0.50		12.00	0.50
		22. 12. 1		20.00	1.00		20.00	1.00		20.00	1.00
		23. 4. 1		30.00	2.00		30.00	2.00		30.00	2.00
		24. 4. 1		50.00	6.50		100.00	6.50		160.00	10.00
		25. 4. 1		70.00	9.00		140.00	9.00		220.00	14.00
		25. 7. 1		70.00	9.00		150.00	10.00		220.00	14.00
	20m ³	28. 10. 1		100.00	12.00	20m ³	215.00	13.00	20m ³	300.00	18.00
		36. 4. 1		130.00	16.00		280.00	17.00		380.00	22.00
		39. 1. 1		175.00	23.00		370.00	24.00		460.00	29.00
		43. 4. 1		230.00	31.00		480.00	32.00		600.00	39.00

料金体系	区 分 改定年月日	基 本 料 金（一般用及び公衆浴場用に適用）								
		口 径 13mm	口 径 20mm	口 径 25mm	口 径 30mm	口 径 40mm	口 径 50mm	口 径 75mm	口 径 100mm	口 径 150mm
口 径 別	昭和 47. 11. 1	230	280	310	1,100	2,300	3,400	7,600	12,300	25,600
	51. 4. 1	350	430	470	2,000	4,100	6,100	13,700	22,400	46,000
	52. 4. 1	450	550	600	2,700	5,500	8,000	18,000	29,000	59,000
	56. 4. 1	650	800	880	3,500	7,000	10,000	23,000	38,000	79,000
	60. 4. 1	740	1,300	1,700	3,700	7,400	10,000	25,000	40,000	83,000
	平成 7. 10. 1	1,050	2,200	2,900	5,000	10,500	14,000	34,000	55,000	115,000
	17. 4. 1	1,250	2,500	3,450	5,150	10,500	14,100	34,300	55,900	115,700
22. 4. 1	1,250	2,500	3,450	5,150	10,500	14,100	34,300	55,900	115,700	

※平成元年4月1日消費税の導入により、基本料金の合計額に3%を加算（1円未満は切り捨て）。
 ※経過措置 平成7年10月1日から平成9年3月31日まで口径13mmから25mmまでの使用者に限り1ヵ月の使用。
 ※平成9年4月1日消費税の改正により、基本料金、水量料金の合計額に5%を加算（1円未満は切り捨て）。

変 遷 表

(単位：円)

湯 屋 用			工 業 用			共 用 栓		
基本 水量	基 本 料 金	超 過 料 金	基本 水量	基 本 料 金	超 過 料 金	基本 水量	基 本 料 金	超 過 料 金
100m ³	5.00	0.04	200m ³	8.00	0.04	- m ³	0.40	-
	5.00	0.04		8.00	0.04	5 m ³	0.40	0.04
	6.90	0.05		10.00	0.05		0.50	0.05
	17.25	0.12		25.00	0.12		1.25	0.12
	35.00	0.30		50.00	0.30		2.50	0.20
	60.00	0.50		80.00	0.50		4.00	0.30
	100.00	1.00		140.00	1.00		7.00	0.50
	150.00	2.00		210.00	2.00		10.00	1.00
20m ³	700.00	4.00	100m ³	500.00	6.50	1世帯 5人 まで	55.00	1人増毎 13.00
	980.00	5.50		700.00	9.00		30.00	1人増毎 7.00
	1,000.00	5.50		900.00	11.00		50.00	1人増毎 13.00
	1,300.00	9.00		1,000.00	12.00		75.00	1人増毎 18.00
	1,800.00	11.00	150m ³	1,950.00	12.00	10m ³	100.00	13.00
	2,400.00	16.00		2,625.00	23.00		130.00	18.00
	3,200.00	21.00		3,450.00	31.00		170.00	24.00

(単位：円)

水 量 料 金									
一 般 用							公 衆 浴 場 用		共 用
m ³ 1~10	m ³ 11~20	m ³ 21~30	m ³ 31~50	m ³ 51~100	m ³ 101~200	m ³ 201~	m ³ 1~200	m ³ 201~	m ³ 1
13	40	51					12	26	20
20	60	80	90	100	110	120	15	35	30
25	75	100	115	130	144	156	18	45	35
35	110	145	170	195	215	235	25	65	50
50	135	190		235	265		35	80	70
90	135	200		265			35	80	廃止
105	152	212		267			35	80	廃止
91	138	198		253			35	80	-

水量 1 m³ ~ 3 m³までの水量料金について無料。

加 入 金 変 遷 表

口径 \ 改定年月日	昭和47年11月1日（新設）	昭和52年4月1日（新設）
13 mm	20,000 円	60,000 円
20 mm	50,000	150,000
25 mm	80,000	240,000
30 mm	110,000	350,000
40 mm	220,000	720,000
50 mm	320,000	1,260,000
75 mm	730,000	管理者の定める額 (3,100,000)
100 mm	1,200,000	管理者の定める額 (5,200,000)
150 mm	管理者の定める額 (2,500,000)	管理者の定める額 (11,000,000)

※平成元年4月1日 消費税の導入により上記額に3%加算

※平成9年4月1日 消費税の改正により上記額に5%加算

※平成26年4月1日 消費税の改正により上記額に8%加算

摺上川ダム

- 1 位 置
阿武隈川水系摺上川 福島市飯坂町茂庭地内
- 2 事業費
約1,955億円
- 3 工 期
昭和57年度～平成17年度

摺上川ダム及び貯水池の諸元

ダ	ム	名	摺上川ダム	
河	川	名	阿武隈川水系摺上川	
目 的			洪水調整、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水、工業用水、発電	
ダ ム	形 式	中央コア型ロックフィルダム		
	提 高	105.0m		
	提 項 長	718.6m		
	提 体 積	8,300,000m ³ （フィル提体）		
	提 項 標 高	標高 311.5m		
	放 流 設 備	常用洪水吐	オリフィス3.0m×3.0m 2門	
		非常用洪水吐	自由越流形式	
	その他放流設備	利水及び貯水位低下用放流設備		
貯 水 池	集 水 面 積	160km ²		
	湛 水 面 積	4.6km ²		
	設 計 洪 水 位	標高 308.5m		
	洪水時最高水位	標高 306.5m		
	平常時最高水位	標高 296.5m		
	洪水貯留準備推移	標高 295.0m		
	最 低 水 位	標高 245.0m		
	総 貯 水 容 量	153,000,000m ³		
	堆 砂 容 量	5,000,000m ³		

第 58 号

平成26年12月 9 日

発行所 福 島 市 水 道 局

発行人 福島市水道事業管理者

富 田 光

印刷所 六陽印刷株式会社